Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP5200

ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- プリンタを設置するには
- コンピュータと接続するには
- 印刷できるようにするには

設置時にお読みください（紙マニュアル／CD-ROM）

- プリンタの簡単なメンテナンス方法を知るには

かんたんメンテナンスガイド（紙マニュアル）

- 基本的な使いかたを知るには
- 困ったときには

ユーザーズガイド（本書）（CD-ROM）

Macintosh の取扱説明書

Macintosh の取扱説明書は、付属の CD-ROM 内の［プリンタドライバ MacOS9］フォルダまたは［プリンタドライバ MacOSX］フォルダに収められています。

オンラインマニュアル　Macintosh 用プリンタドライバの使用方法を説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

目次

第 2 章　給紙／排紙のしかた

第 3 章　Windows の印刷環境を設定するには

第 5 章　日常のメンテナンス

第 6 章　オプション品について

第７章　困ったときには

第８章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP5200 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]
  　　[設定]

- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>＋（キー名称）

  例：（トナー交換）

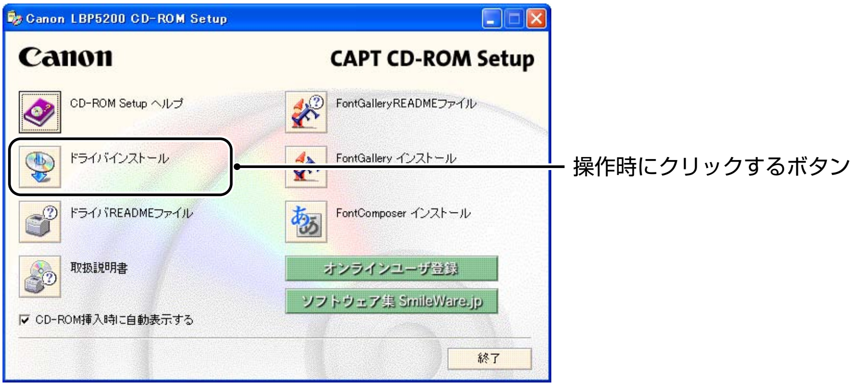
画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、◯（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

4 ［ドライバインストール］をクリックします。



略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、TrueType、漢字 Talk は米国 Apple Computer Inc. の商標です。

IBM、PowerPC は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨・有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

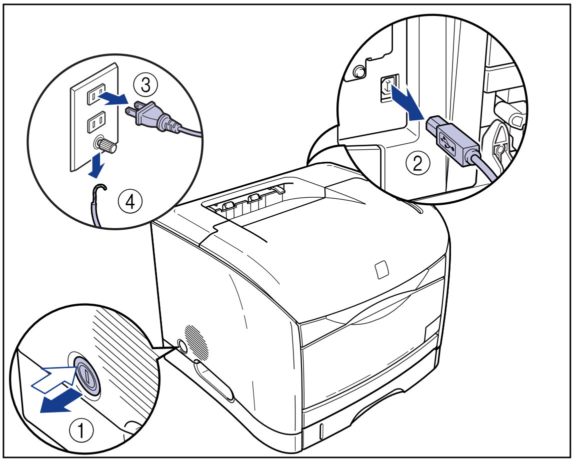
安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  ・アクセサリーなどの金属物
  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器



注意

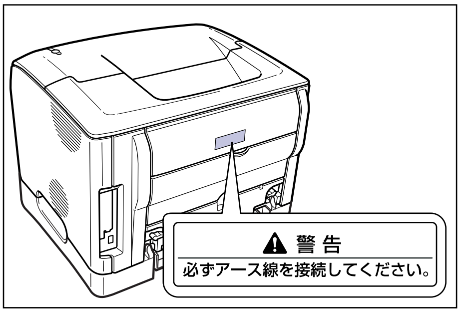
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因となることがあります。（→ プリンタを移動する：P.5-37）

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してよいもの]
  - ・電源コンセントのアース線端子
  - ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

[アース線を接続してはいけないもの]

・水道管…配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。

・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

⚠ 警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取りはずしてください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

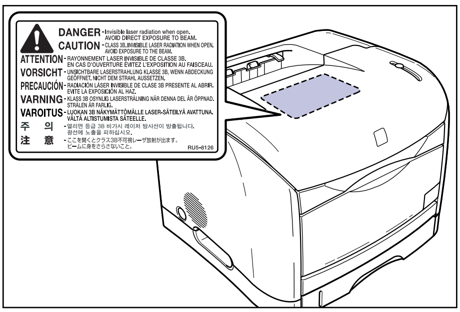
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は直ちに電源をオフにし、USBケーブルを接続している場合は、USBケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSBケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 拡張ボードの取り扱いには注意してください。拡張ボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。



  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

  ・この製品はIEC60825-1:1993においてクラス1レーザ製品であることを確認しています。

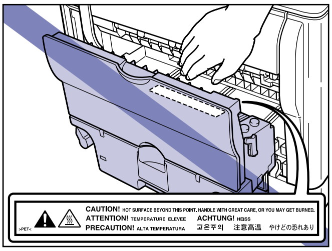
保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのドラムカートリッジやトナーカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理などで内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。



- 紙づまり処理やドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりした用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火してやけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

お使いになる前に

1

CHAPTER

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

■ **高品位フルカラープリント**
印字機構に600dpiのカラーレーザープリンタエンジンを搭載。さらに階調制御により、9600dpi相当×600dpiの高画質プリントを実現しました。また、キャリブレーション処理により常に安定した画像を提供します。

■ **ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載**
Windows OS および Mac OS に対応したキヤノン最新のハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」(Canon Advanced Printing Technology) をカラー機で初めて搭載。このシステムは従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をパソコンで一括処理するため、パソコンの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、重いデータでもプリンタ側のメモリの追加なしに処理できます。

■ **コンパクト設計**
LBP5200はカラー機でありながら非常にコンパクトな設計でデスクサイドでお使い頂けます。

■ **USB 2.0 High Speed 標準搭載**
最高480Mbpsの高速I/F USB 2.0 High Speedへの対応により高速転送を実現しています。

■ **イージーメンテナンス**
LBP5200は通常別々の消耗品である「中間転写体」「感光ドラム」「廃トナーボックス」が一体化されたドラムカートリッジ（キヤノン純正品）を採用することにより、消耗品交換点数を削減しています。
また、トナーカートリッジなどの主要な消耗品の交換を前面から行える、フロントオペレーションが可能になっています。

■ **省電力設計 & ウォームアップレス**
「オンデマンド定着方式」の採用により省エネとクイックスタートを実現しました。このキヤノン独自の技術は定着ヒータを印刷時のみ瞬間的に加熱する方法で、ウォームアップ時間はありません。いつでもスタンバイ状態ですぐ印刷を開始できます。またスタンバイ時は定着器のほうでほとんど電力を消費しない省電力設計です。

■ **さまざまなマテリアルに対応**
普通紙、厚紙、はがき、封筒、OHPフィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）などさまざまな用紙に対応しています。

■ **ネットワーク対応プリンタ**

Windows をお使いの場合、オプションのネットワークボードを装着することで、Ethernet のネットワークプリンタとして使用できます。

■ **簡単操作のカラーコントロール**

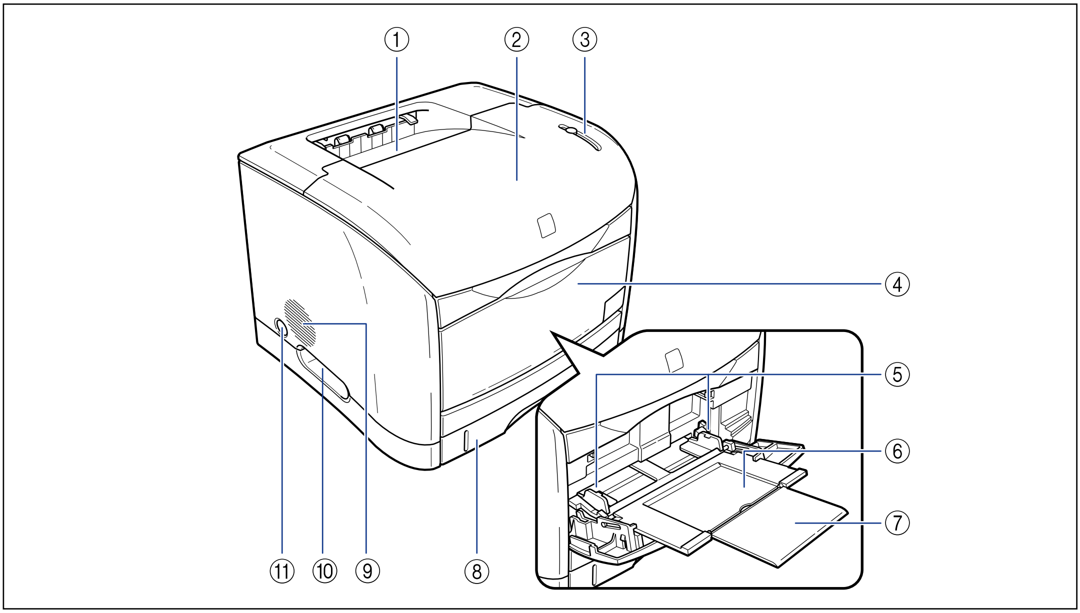
サムネイルを使ったユーザーインターフェースにより直感的でわかりやすい色調整を実現しています。

各部の名称とはたらき

本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

注意 本プリンタには通気口（吸気口、排気口）がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口（吸気口、排気口）をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

本体前面



① 排紙トレイ
印刷された用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。(➞P.2-12)

② 上カバー
トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(➞P.5-2、P.5-15)

③ ランプ＆トナー交換キー
プリンタの状態を示すランプとトナーカートリッジ交換時に使用するキーです。(➞P.1-6)

④ 手差しトレイ
用紙を手差しトレイから給紙するときに、ここを開けて用紙をセットします。(➞P.2-25)

⑤ 用紙ガイド
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限ガイドが付いており、このガイドの下まで用紙をセットできます。(➞P.2-28)

⑥ **補助トレイ**
手差しトレイに用紙をセットするときに引き出します。必ずこの補助トレイを引き出してから用紙をセットしてください。

⑦ **延長トレイ**
A4 サイズの用紙などの長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

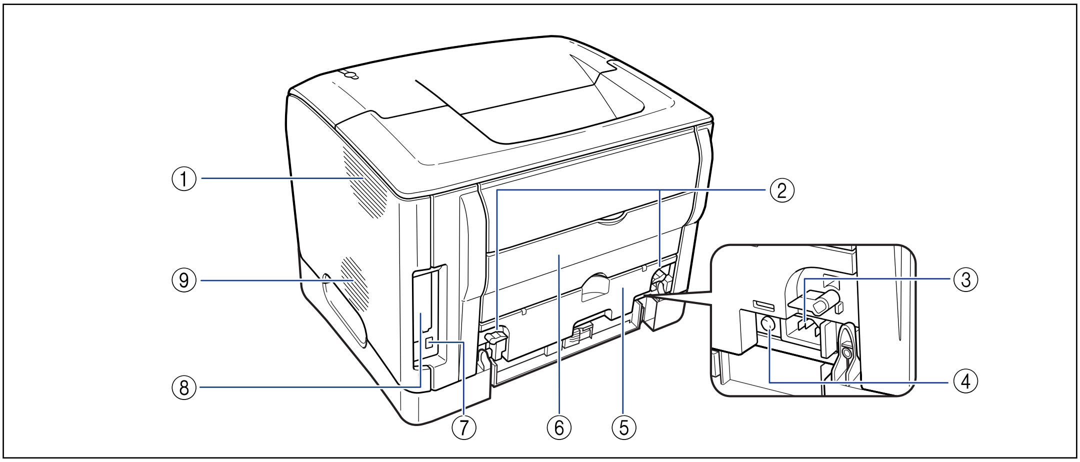
⑧ **給紙カセット**
普通紙（64g/m^2）で最大 250 枚までの用紙をセットすることができます。（→P.2-9）

⑨ **吸気口**
プリンタ内部冷却用の吸気口です。

⑩ **運搬用取っ手**
プリンタを持ち運ぶときは、ここに手を掛けてしっかりと持ちます。（→P.5-37）

⑪ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。

本体背面



① **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

② **ロック解除レバー**
定着器を交換するときや、定着器内の紙づまりを除去するときに、このレバーを回して定着器を取り外します。（→P.7-21）

③ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

④ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

⑤ **定着器**
トナーを用紙に定着させる装置です。

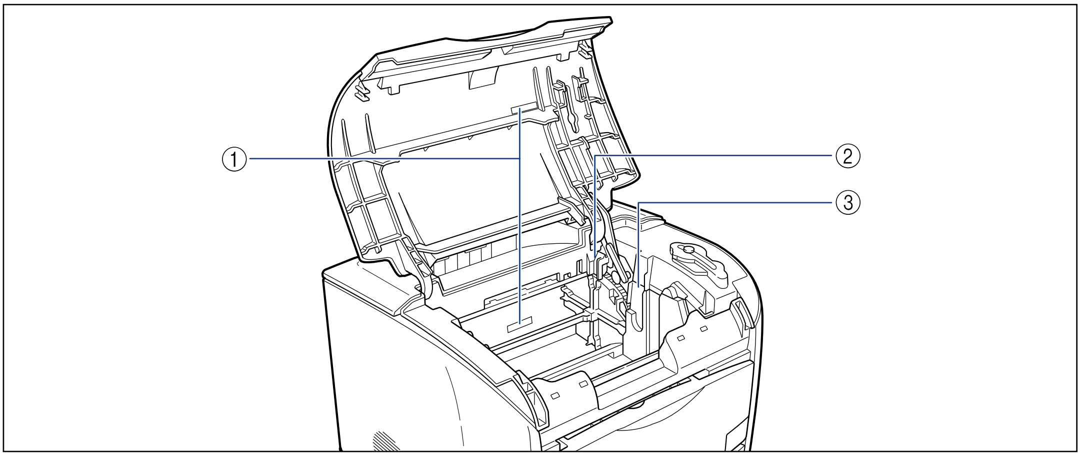
⑥ **サブ排紙トレイ**
印刷された用紙が上向き（フェースアップ）で排紙されます。（→P.2-12）

⑦ **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。コンピュータなどの USB ポートに接続します。（→P.1-14）

⑧ **拡張ボードスロット**
オプションの内蔵型ネットワークボードを取り付けます。（→P.6-3）

⑨ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

本体内部



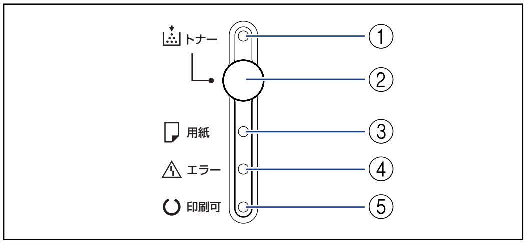
① **シリアルナンバー表示ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。はがさないようにしてください。

② **トナーカートリッジスロット**
トナーカートリッジをセットするスロットです。

③ **ドラムカートリッジスロット**
ドラムカートリッジをセットするスロットです。

ランプとトナー交換キーについて

メモ　プリンタ状態の詳しい情報は、お使いのコンピュータからプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）で確認することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（➞P.4-69）を参照してください。プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第 4 章　便利な印刷機能」を参照してください。



① **トナーランプ（赤色）**
点灯：「トナーカートリッジ交換モード」に入っている状態。（➞P.5-5）
点滅：トナーカートリッジの交換が必要な状態。トナーカートリッジが正しく取り付けられていない状態。（➞P.5-2）

② **トナー交換キー**
トナーカートリッジ交換時に使用します。
本プリンタのトナーカートリッジを交換するためには、「トナーカートリッジ交換モード」にする必要があります。この、「トナーカートリッジ交換モード」にするときや、戻すときに、トナー交換キーを 2 秒間押します。「トナーカートリッジ交換モード」に入ると「トナーランプ」が点灯します。

③ 用紙ランプ（赤色）

点滅：用紙なしの状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。

④ エラーランプ（赤色）

点灯：サービスコールが発生している状態。
点滅：サービスコール以外のエラーが発生していて印刷できない状態。

⑤ 印刷可ランプ（青色）

点灯：印刷可能な状態。
点滅：印刷中、ウォームアップ中、キャリブレーション中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。

電源コード、アース線を接続する

1

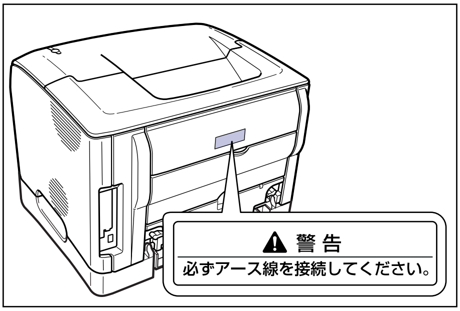
お使いになる前に

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（→P.xiii）を参照してください。

アース線を接続する

警告

- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

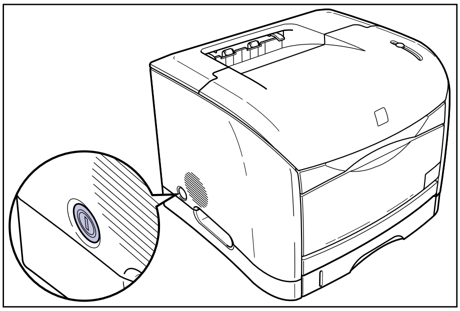
重要

アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。

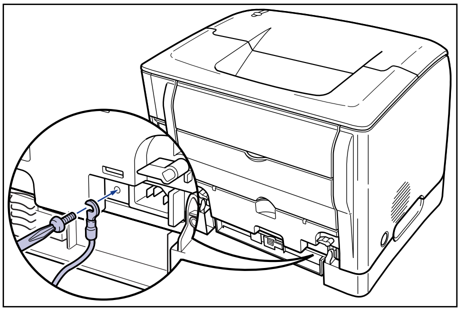
メモ　アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチが押し込まれていない状態がオフです。

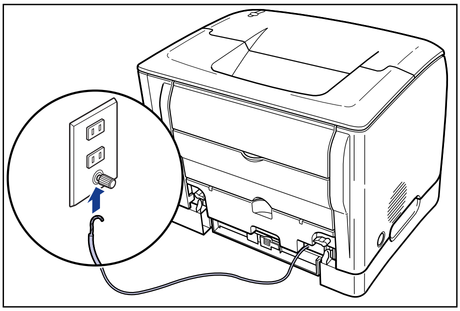


2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

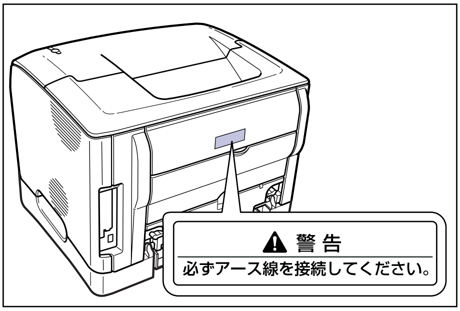


重要　アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

3 アース線を専用のアース線端子へ接続します。



⚠警告 アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。



電源コードを接続する

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

⚠注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

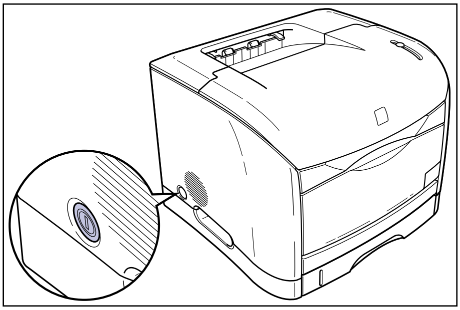
重要

- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。

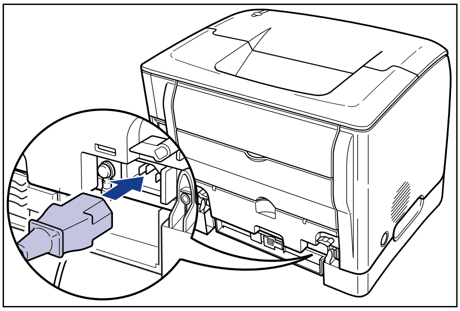
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

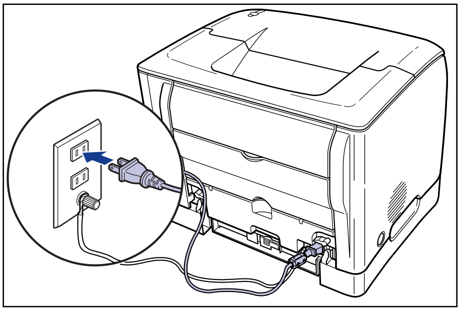
電源スイッチが押し込まれていない状態がオフです。



2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。



3 電源プラグを電源コンセントへ接続します。



電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体左側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

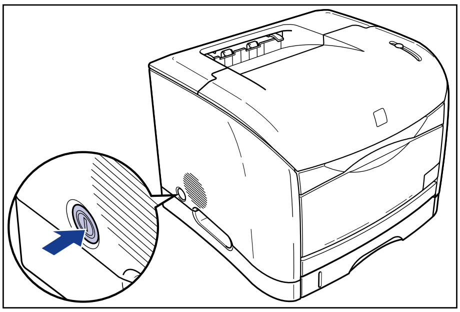
電源をオンにする

本プリンタを使用するには、電源スイッチを押して、オンにします。本体やオプション品の状態チェック（自己診断）を実行したあと、印刷可能な状態になります。

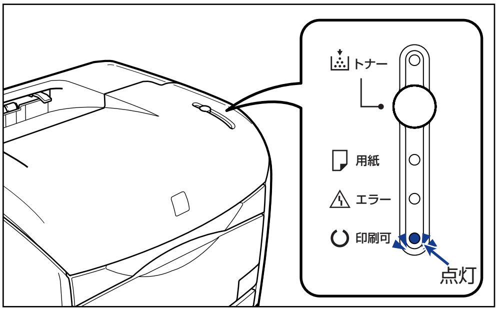
重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 3 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（➞P.7-1）を参照してください。

1 **プリンタの電源スイッチを押します。**

電源スイッチを押し込んだ状態がオンです。



プリンタのランプが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。
自己診断の結果に異常がなければ、印刷可ランプ（青色）が点灯し、印刷可能な状態になります。



電源をオフにする

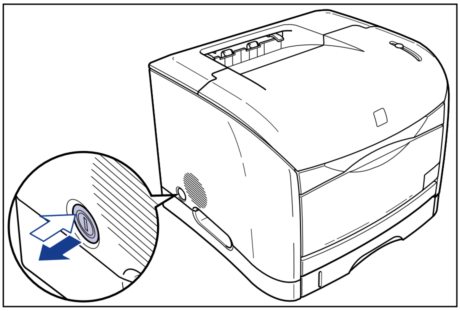
本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要

- ネットワークに接続している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- プリンタの電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、出力し終わるまで待ってから電源をオフにしてください。
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・印刷中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中

1 プリンタの電源スイッチを押します。

電源スイッチが押し込まれていない状態がオフです。



重要　本体左側面にある電源スイッチが押し込まれていない状態では、消費電力は 0W になります。

コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータやネットワークに接続します。

本プリンタは標準で USB コネクタを装備していますので、USB ケーブルでコンピュータに接続します。また、Windows をお使いの場合、オプションのネットワークボードを装着すると、LAN ケーブルで直接ネットワークに接続することができます。

USB ケーブルで接続する場合

USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。

警告

- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

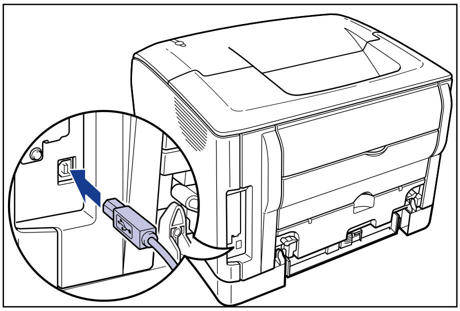
重要

- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・コンピュータの電源を入れた直後の OS 起動中
  - ・印刷中
- コンピュータおよびプリンタの電源がオンになっている状態でUSBケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

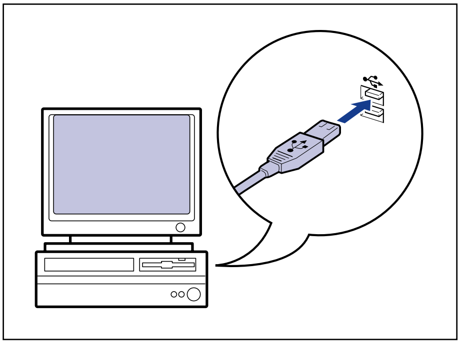
メモ

- 本プリンタのUSBインタフェースは、接続するコンピュータのOSによって以下のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ・Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Windows 2000/XP/Server 2003：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS 9、X（10.3.2 以前）：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS X（10.3.3以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタをUSBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているコンピュータをご使用ください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

1 USBケーブルのBタイプ(四角い)側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。



2 USBケーブルのAタイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。



メモ

- Windowsの場合は、USBケーブルの接続後に、プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、以下のいずれかの方法で本プリンタのソフトウェアをインストールしてください。詳しくは、「CAPTソフトウェアをインストールする」(→P.3-4)を参照してください。
  - ・[キャンセル]をクリックして、CD-ROM Setupからインストールする
  - ・プラグ・アンド・プレイでインストールする
- お使いのコンピュータに対応したUSBケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入した販売店にお問い合わせください。

LAN ケーブルで接続する場合（Windows のみ）

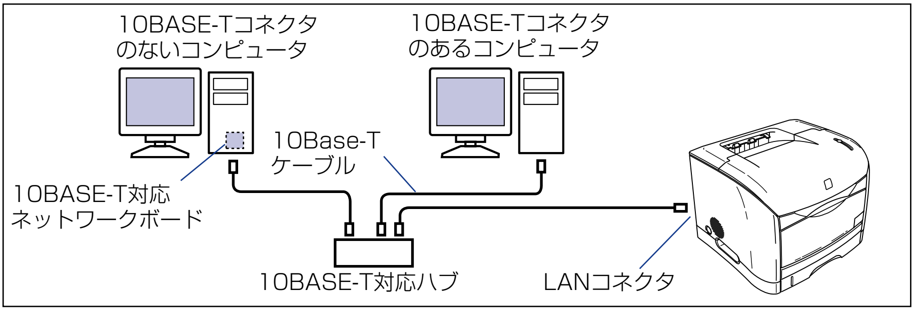
オプションのネットワークボード（AXIS 1611）を装着した場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

メモ
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード（AXIS 1611）の取り付け（Windows のみ）」（→P.6-3）を参照してください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワーク OS の設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業、プリントサーバの設定などが必要です。これらの作業についてはネットワーク OS に付属の取扱説明書や AXIS 1611 に付属の取扱説明書を参照してください。

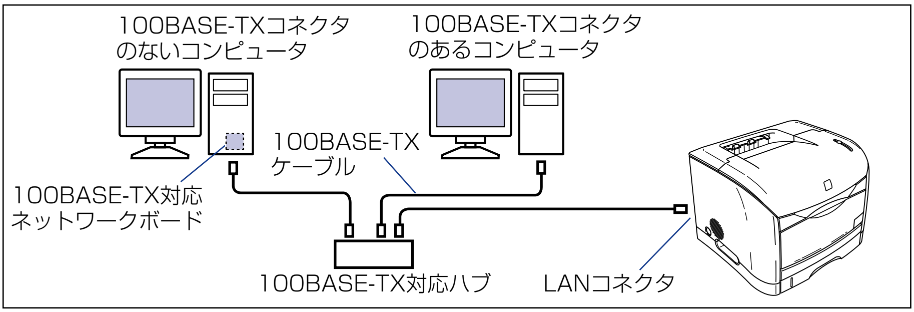
■ ネットワークの環境について

オプションのネットワークボードは、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

- 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合



- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合



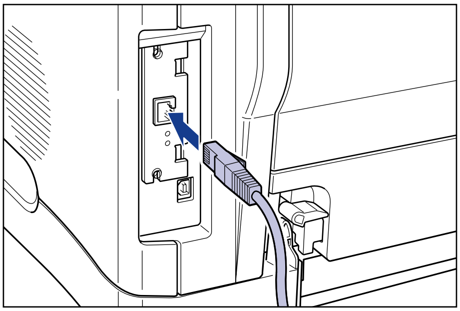
重要
- 本プリンタのネットワークボードは、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。

メモ

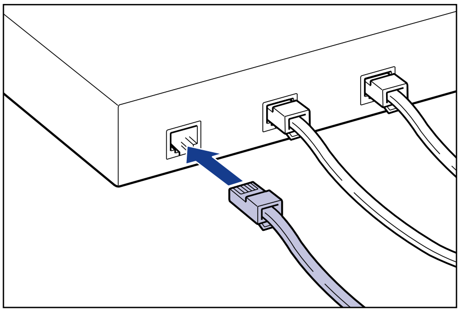
100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」(巻末参照)へお問い合わせください。

1 ネットワークボードの LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。



2 LAN ケーブルの反対側をハブに接続します。



給紙／排紙のしかた

2
CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙のしかた、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 印刷速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
  ・はがき、封筒：カラー印刷 約 2.5ppm、モノクロ印刷 約 4ppm
- 幅が A4 サイズ（210.0mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的にモノクロ印刷時、約 4ppm まで遅くなることもあります。）

用紙サイズ

本プリンタは次の用紙サイズを使用できます。表中の○はセット可能、×はセット不可能です。

用紙サイズ	サイズ	給紙元	
		手差しトレイ	カセット 1
A5	148.5mm × 210.0mm	○	○
B5	182.0mm × 257.0mm	○	○
A4	210.0mm × 297.0mm	○	○
レター	215.9mm × 279.4mm	○	○
エグゼクティブ	184.2mm × 266.7mm	○	○
リーガル	215.9mm × 355.6mm	○	○
はがき	100.0mm × 148.5mm	○	×
封筒　洋形４号	105.0mm × 235.0mm	○	×
封筒　洋形２号	114.0mm × 162.0mm	○	×
ユーザ定義用紙 幅：76.2 ～ 215.9mm 高さ：127.0 ～ 355.6mm	―	○	×

用紙タイプ

本プリンタは次の用紙タイプを使用できます。表中の○はセット可能、×はセット不可能です。

用紙タイプ	プリンタドライバの設定	給紙元	
		手差しトレイ	カセット 1
普通紙（64 ～ 105g/m^2）	普通紙	○	○
厚紙（106 ～ 135g/m^2）	厚紙	○	×
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	OHP フィルム *1	○	×
ラベル用紙	普通紙 *2	○	×
はがき	厚紙 *3	○	×
封筒	封筒 *3	○	×

*1 OHP フィルムは Windows からのみ印刷可能です。

*2 ラベル用紙の用紙タイプの設定は、通常［普通紙］に設定してください。［普通紙］に設定して印刷したときに定着性が悪い場合は、［厚紙］に設定してください。［厚紙］に設定しても定着性が向上しない場合は、以下の設定を行ってください。
- Windows の場合：
  ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［特殊印字処理］を［特殊設定 7］に設定する
- Macintosh の場合：
  ［仕上げ］パネルの［特殊印字処理］を［特殊設定 7］に設定する

*3 はがきや封筒の場合は、用紙サイズの設定をすると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。用紙サイズの設定は以下のプルダウンメニューで行います。
- Windows の場合：
  ［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］
- Mac OS 9 の場合：
  ［基本設定］パネルの［出力用紙サイズ］
- Mac OS X の場合：
  ［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］（Mac OS X 10.4 以降の場合は［用紙処理］パネルの［出力用紙サイズ］でも設定できます）

■ セット可能枚数

用紙タイプ	給紙元	
	手差しトレイ	カセット 1
普通紙（64g/m^2）	約 125 枚	約 250 枚
厚紙（135g/m^2）	約 80 枚	—
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	約 60 枚	—
ラベル用紙	約 50 枚	—
はがき	約 10 枚	—
封筒	約 10 枚	—

■ 普通紙について

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 64 ～ 105g/m^{2}の普通紙を使用できます。

普通紙は、手差しトレイと給紙カセットの両方にセットできます。

■ 厚紙について

本プリンタでは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm、重さ 106 ～ 135g/m^{2}の厚紙を使用できます。厚紙は印刷面を上にして手差しトレイにセットします。

重要 厚紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ OHP フィルムについて

本プリンタでは、A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。OHP フィルムは手差しトレイにセットします。

重要
- OHP フィルムはモノクロ印刷時のみ使用可能です。
- OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 OHP フィルム A4」を使用してください。
- OHP フィルムどうしが離れにくい場合があるので、一枚ずつよくさばいてから使用してください。
- OHP フィルムに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ OHP フィルムは Windows からのみ印刷可能です。

■ ラベル用紙について

本プリンタでは、A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして手差しトレイにセットします。

重要
- ラベル用紙は、キヤノン推奨のラベル用紙をご使用ください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ･ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ･台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ･糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ はがきについて

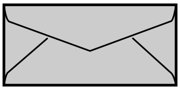
本プリンタでは、郵便はがきのみを使用できます。はがきは印刷面を上にして手差しトレイにセットします。

重要
- 郵便はがき以外への印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になることがありますので、郵便はがき以外は使用しないでください。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがきを使用することはできません。
- はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

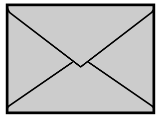
■ 封筒について

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号または洋形２号で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面（貼り合わせのない面）を上にして手差しトレイにセットします。

洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）



※短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ

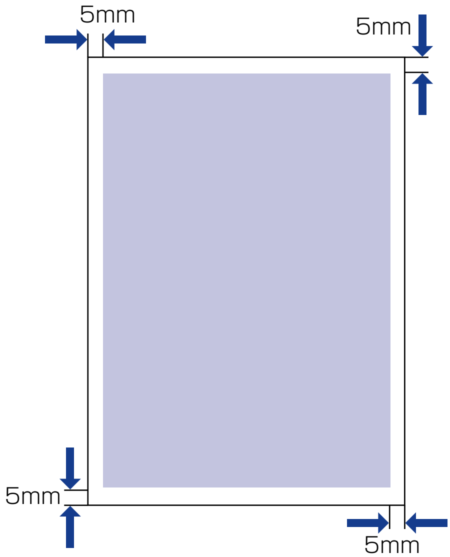
封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

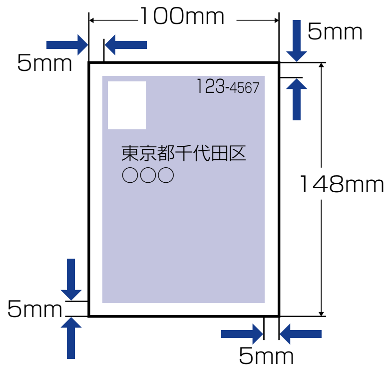
印刷できる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

■ **普通紙／厚紙／ OHP フィルム／ラベル用紙／はがき**

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

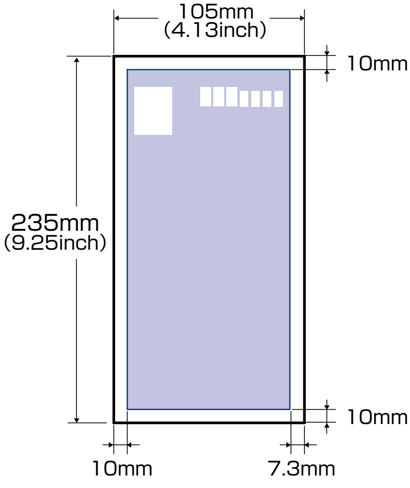




■ **封筒**

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）



使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
  - ・バリのある用紙
  - ・しわのある用紙
  - ・角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ・定着器の熱（約 185 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発生するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。

用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使用してください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙部について

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。

給紙部の種類

本プリンタには、次の給紙部があります。

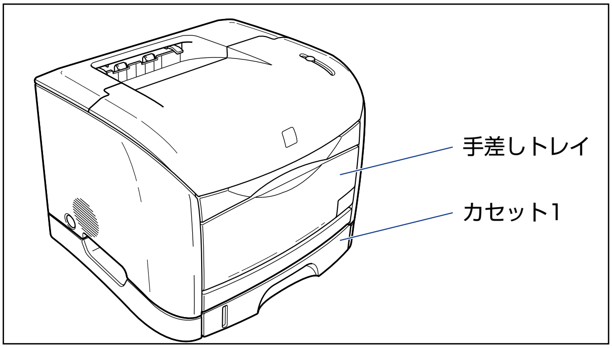
■ **給紙部／給紙枚数**

手差しトレイ　125 枚（$64g/m^2$）

カセット 1　　250 枚（$64g/m^2$）

■ **最大給紙枚数**

375 枚（$64g/m^2$）



給紙部の積載枚数

用紙タイプ	給紙元	
	手差しトレイ	カセット 1
普通紙（64g/m^2）	約 125 枚	250 枚
厚紙（135g/m^2）	約 80 枚	―
OHP フィルム（モノクロ印刷時のみ使用可能）	約 60 枚	―
ラベル用紙	約 50 枚	―
はがき	約 10 枚	―
封筒	約 10 枚	―

給紙部の選択

給紙部の選択は、プリンタドライバの［給紙］ページで行います。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1　**［給紙］ページを表示して、給紙部の設定を行います。**

プリンタドライバの［給紙］ページの表示方法は、「印刷条件を設定する」（➞P.4-10）を参照してください。



設定項目	設定値	説明
給紙方法	全ページを同じ用紙に印刷	すべてのページを同じ給紙部から給紙します。ただし、[給紙部] が [自動] に設定されていて、[手差しで続けて印刷する] にチェックマークを付けた場合は、カセット 1 の用紙がなくなると手差しトレイから給紙します。
	最初と最後の用紙を指定して印刷	表紙を異なる用紙に印刷するときなど、ページごとに用紙を指定して印刷します。
	最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷	
	OHP フィルムの間に用紙をはさむ	OHP フィルムの間に用紙をはさんで印刷します。
給紙部	自動 手差し（トレイ） カセット 1	どの給紙部から給紙するかを設定します。[給紙方法] の設定によって表示される設定項目が変わります。
最初のページ		
2 枚目のページ		
その他のページ		
最後のページ		
中差し用紙	自動 カセット 1	
用紙タイプ	普通紙 厚紙 OHP フィルム 封筒	使用する用紙タイプを選択します。（➞P.2-3）
手差しから印刷する場合に一時停止する	—	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。
手差しで続けて印刷する	—	カセット 1 からの給紙中に用紙がなくなったとき、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

排紙先について

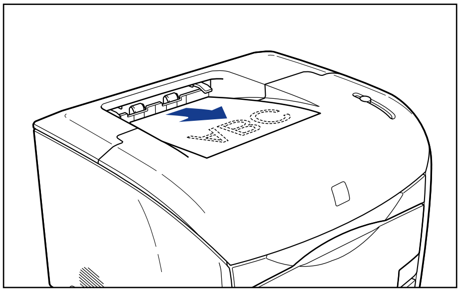
排紙先の種類

本プリンタには、本体上面の「排紙トレイ」と本体背面の「サブ排紙トレイ」の 2 つの排紙先があります。

⚠注意 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

■ 排紙トレイ

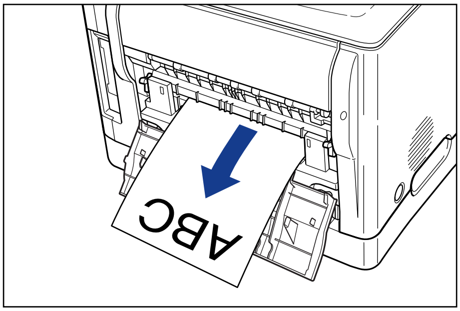
本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。



メモ 排紙トレイには、普通紙で約 125 枚（64g/m^{2}の用紙）まで積載することができます。

■ サブ排紙トレイ

本体背面のサブ排紙トレイに印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。サブ排紙トレイへの排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすい OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒などに印字するときに向いています。



重要 サブ排紙トレイに排紙された用紙は、排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。

排紙先の積載枚数

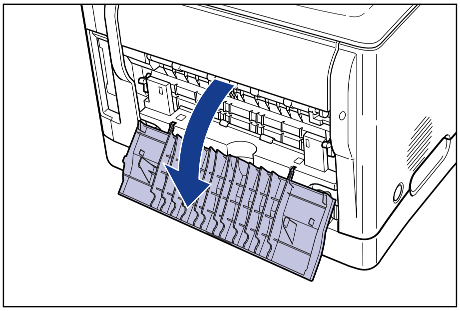
「排紙トレイ」と「サブ排紙トレイ」にはそれぞれ次の枚数の用紙が排紙できます。

用紙タイプ	給紙元	
	排紙トレイ	サブ排紙トレイ
普通紙（64g/m^2）	約 125 枚	1 枚
厚紙（135g/m^2）	約 50 枚	1 枚
OHP フィルム（モノクロ印刷のみ）	約 10 枚	1 枚
ラベル用紙	約 10 枚	1 枚
はがき	約 10 枚	1 枚
封筒	約 10 枚	1 枚

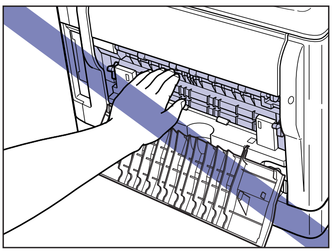
排紙先の選択

サブ排紙トレイに切り替える

排紙先をサブ排紙トレイに切り替えるときは、サブ排紙トレイを開けます。

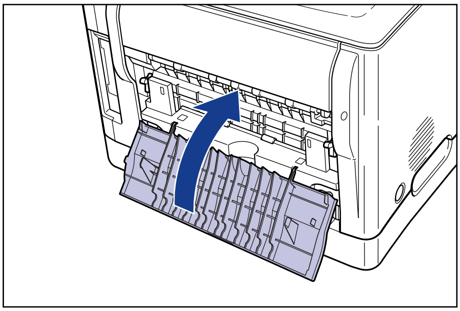


注意 サブ排紙トレイの内部には定着器があります。定着器周辺は、使用中に高温になりますので定着器周辺に触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。



排紙トレイに切り替える

排紙先を排紙トレイに切り替えるときは、サブ排紙トレイを閉めます。



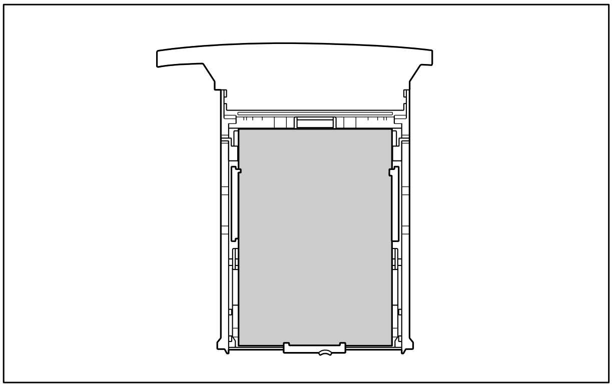
給紙カセットから印刷する

給紙カセット（カセット 1）には、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙を約 250 枚（64g/m^2 の用紙）までセットすることができます。給紙部の用紙がなくなると、用紙ランプ（赤色）が点滅しますので用紙をセットしてください。

給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットには次の手順で用紙をセットします。

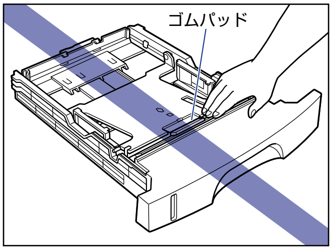
給紙カセットに用紙をセットするときは、必ず縦置きにセットしてください。



重要

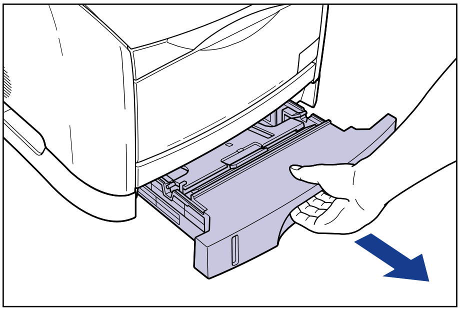
- ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。
- 印刷中に給紙カセットを抜き取らないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 普通紙（64 ～ 105g/m^2）以外の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2 の用紙）です。絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（→P.2-2）を参照してください。
- セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。

- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。



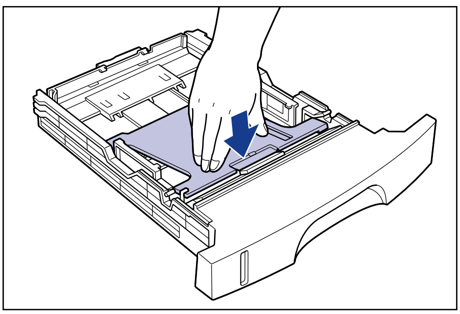
メモ　用紙サイズを変更する場合は、「給紙カセットの用紙サイズを変更する」（→P.2-20）を参照してください。

1 給紙カセットを引き出します。

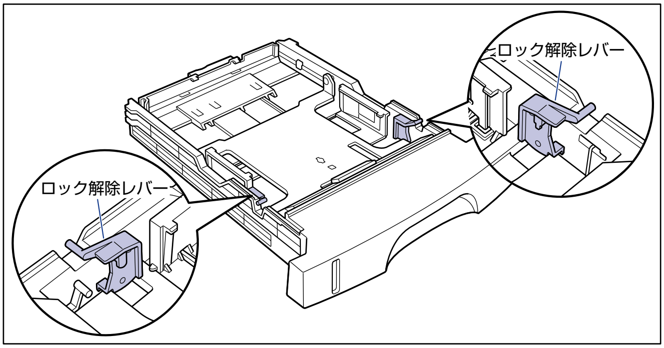


注意　用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

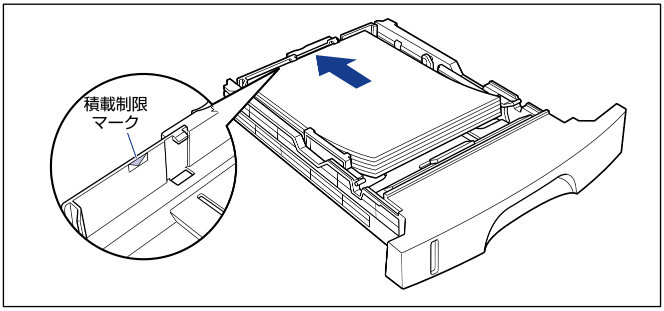
2 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。



⚠注意　給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセットの左右にあるロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。



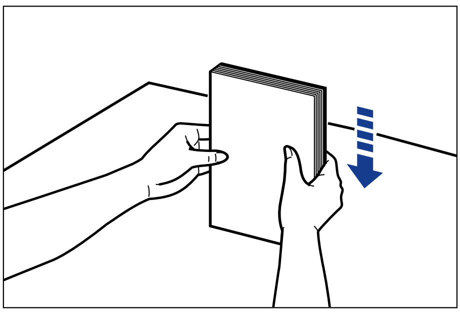
3 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。



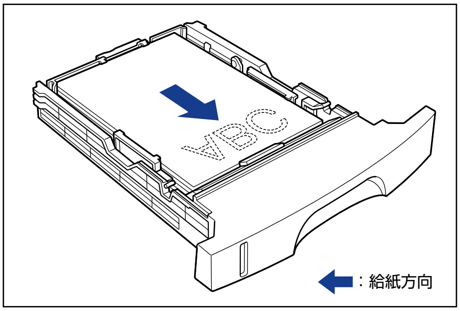
⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

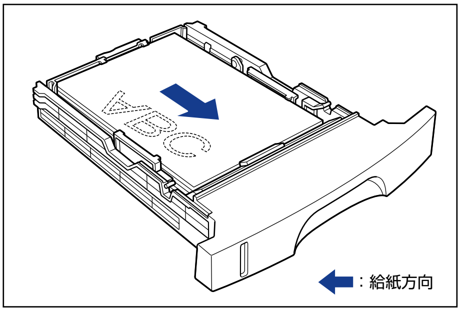
重要

- 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズに合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズに合っていないと、給紙不良の原因になります。
- 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2 の用紙）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。



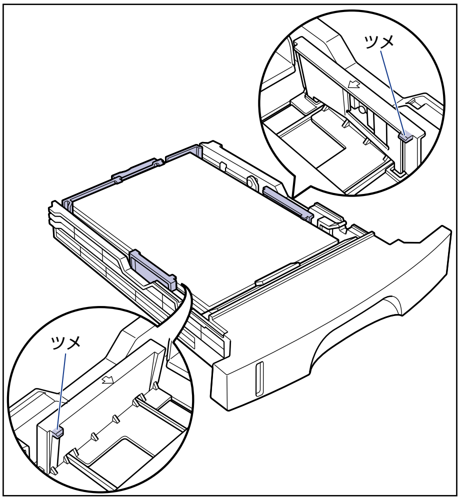
メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、以下のようにセットします。





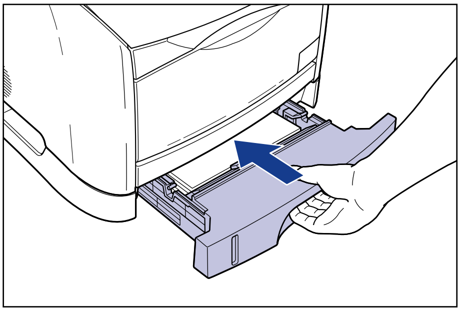
4 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙の左右を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。



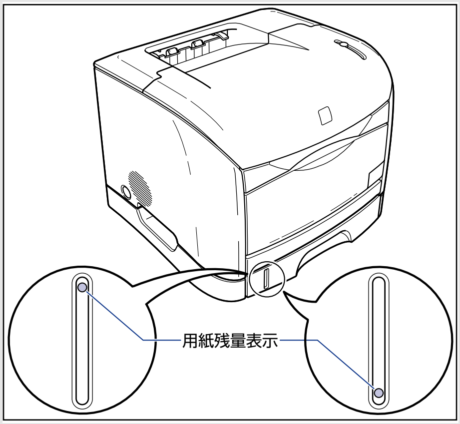
5 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。



●用紙残量表示について

給紙カセットには、セットされている用紙の量を示す用紙残量表示があります。用紙がいっぱいまで入っていると、用紙残量表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。



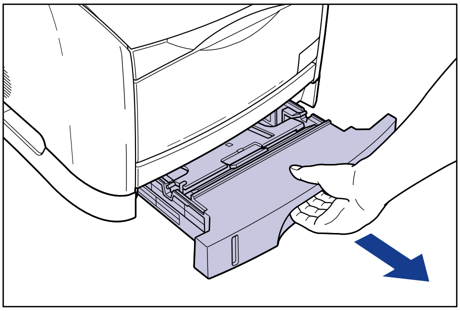
給紙カセットの用紙サイズを変更する

給紙カセットにセットする用紙サイズの変更は次の手順で行います。

給紙カセットにセットできる用紙サイズは、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズです。

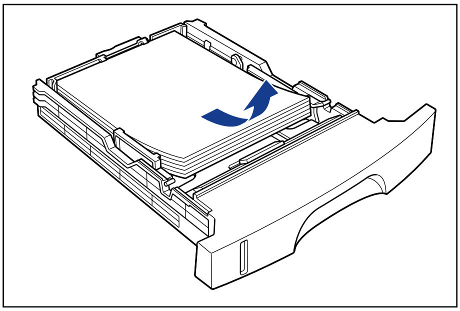
重要 必ず用紙ガイドがセットする用紙サイズに合っているかを確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズに合っていないと、給紙不良や誤作動の原因になります。

1 給紙カセットを引き出します。

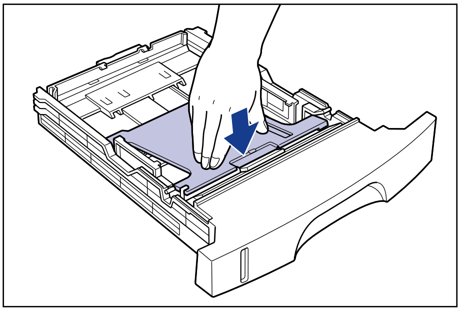


注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

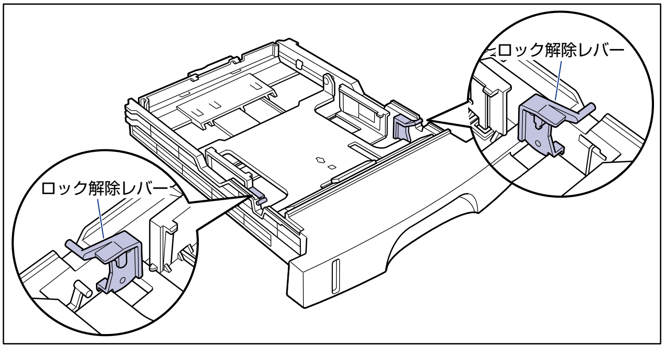
2 用紙が給紙カセットに入っている場合は、用紙を取り除きます。



3 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。

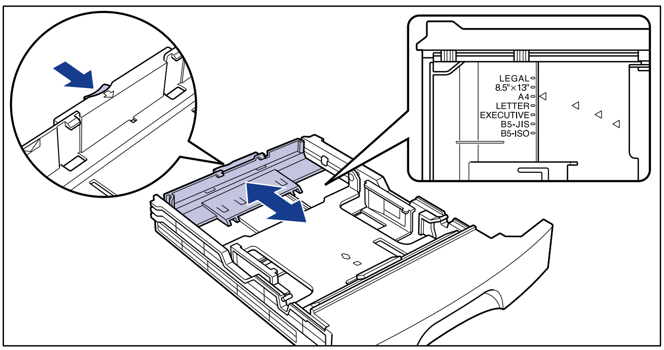


⚠注意　給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセットの左右にあるロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。



4 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動します。

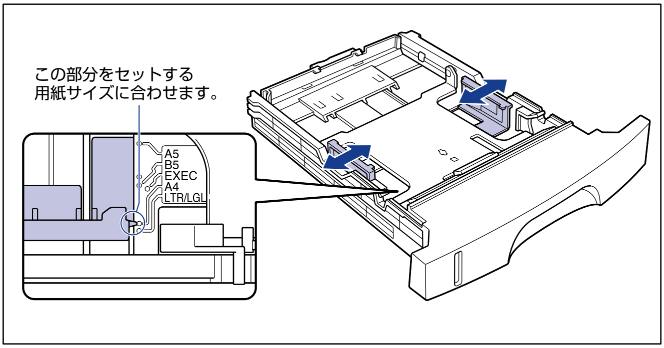
用紙ガイドに記載されている用紙サイズと◁ を合わせます。



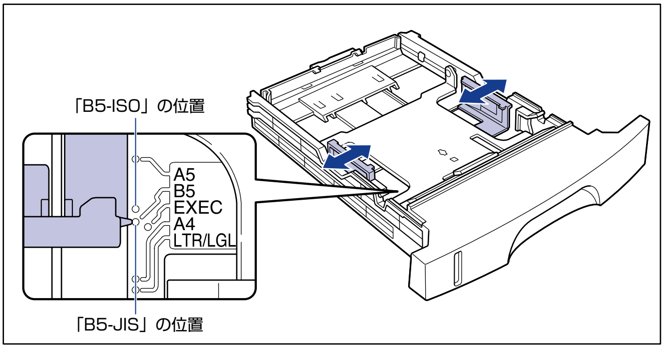
重要　B5 サイズ（182mm × 257mm）を使用する場合は、用紙ガイドを「B5-JIS」に合わせてください。「B5-ISO」の位置は使用しません。また、「8.5" × 13"」の位置も使用しません。

5 側面の用紙ガイドをセットする用紙サイズの位置に合わせます。

用紙ガイドを動かすときは、左右の用紙ガイドを持ってください。



重要　B5 サイズ（182mm × 257mm）を使用する場合は、用紙ガイドを図の位置（「B5-JIS」の位置）に合わせてください。「B5-ISO」の位置は使用しません。



6 用紙をセットして、給紙カセットをプリンタにセットします。

用紙のセットのしかたは、「給紙カセットに用紙をセットする」（➞ 前項目）を参照してください。

7 以降の手順でセットした用紙サイズの登録を行います。

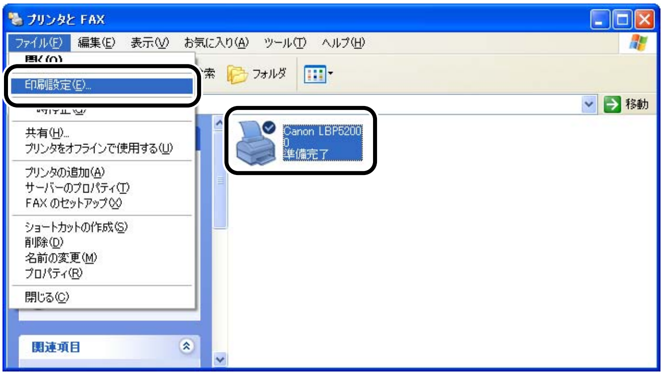
本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、セットした用紙サイズを登録する必要があります。

8 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。



9 ［Canon LBP5200］アイコンを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）、［プロパティ］（Windows 98/Me の場合）を選択します。

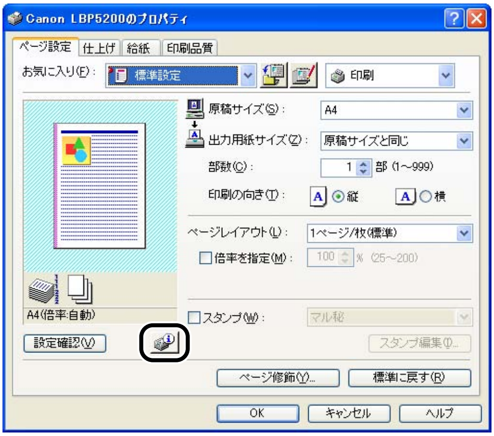


プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2

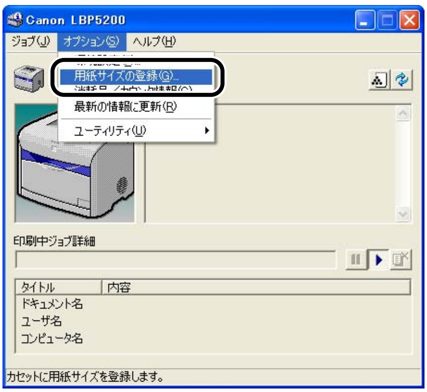
給紙／排紙のしかた

10 [ページ設定] ページを表示して、[]（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします。



プリンタステータスウィンドウが表示されます。

11 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［用紙サイズの登録］を選択します。



［用紙サイズの登録］ダイアログボックスが表示されます。

12 [カセット 1] のリストから給紙カセットにセットした用紙サイズを選択し、[OK] をクリックします。



手差しトレイから印刷する

手差しトレイには横幅が 76.2 ～ 215.9mm、長さが 127.0 ～ 355.6mm の範囲の用紙を約 125 枚（64g/m^2 の用紙）までセットできます。OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。

用紙の種類によってセット方法が異なりますので、それぞれの手順を参照してください。

- 普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙（→ 普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙に印刷する場合：P.2-28）
- はがき（→ はがきに印刷する場合：P.2-35）
- 封筒（→ 封筒に印刷する場合：P.2-41）

重要 手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。

メモ 手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

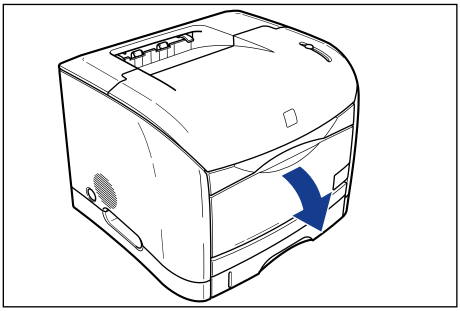
手差しトレイの開けかた／閉めかた

手差しトレイの開けかた

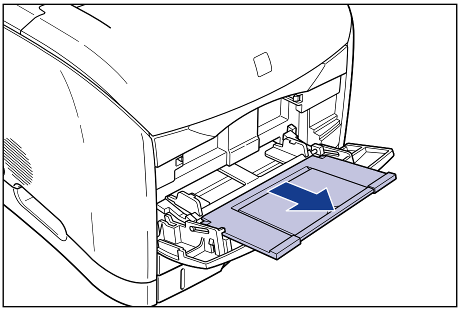
手差しトレイは、次の手順で開けます。

1 **手差しトレイを開けます。**

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

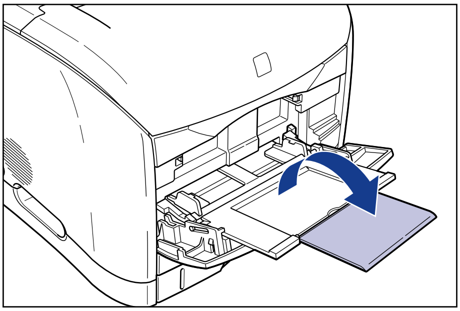


2 補助トレイを引き出します。



重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

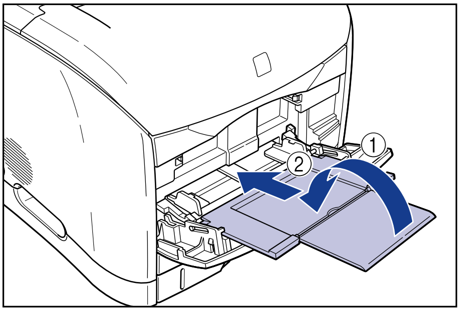
3 A4 などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。



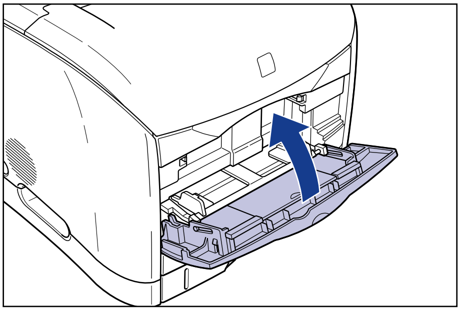
手差しトレイの閉めかた

手差しトレイは、次の手順で閉めます。手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

1 セットされている用紙を取り除き、延長トレイを閉め、補助トレイをしまいます。



2 手差しトレイを閉めます。



普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙に印刷する場合

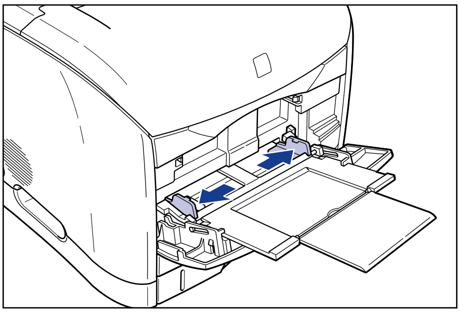
手差しトレイに普通紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙をセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- OHP フィルムはモノクロ印刷時のみ使用可能です。
- OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 OHP フィルム A4」を使用してください。
- OHPフィルムどうしが離れにくい場合があるので、手差しトレイにセットする前に1枚ずつよくさばいてから使用してください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- 厚紙や OHP フィルム、ラベル用紙に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

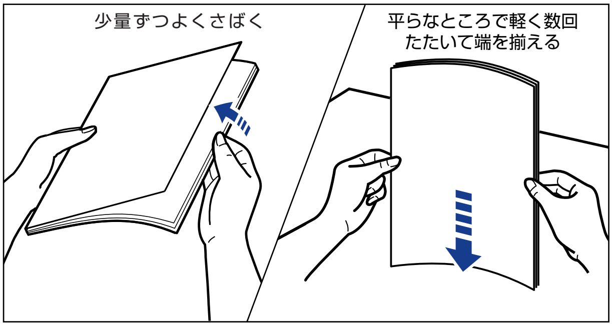
1 **手差しトレイを開け、補助トレイを引き出します。**

手差しトレイの開けかたは、「手差しトレイの開けかた」（➞P.2-25）を参照してください。

2 **用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。**



3 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

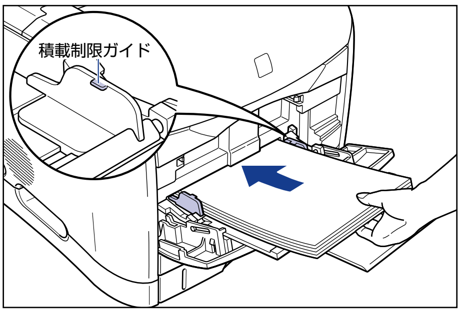


⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

4 用紙の印刷する面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

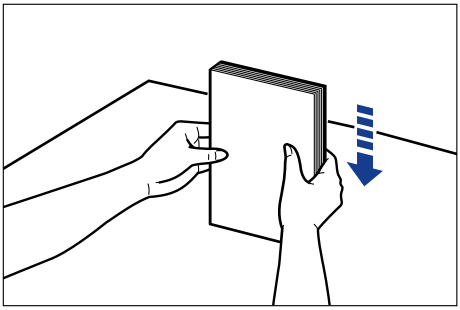
用紙束は積載制限ガイドの下を通してください。



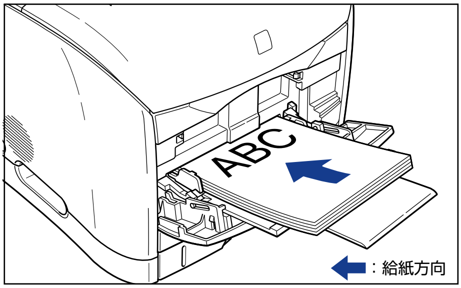
⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

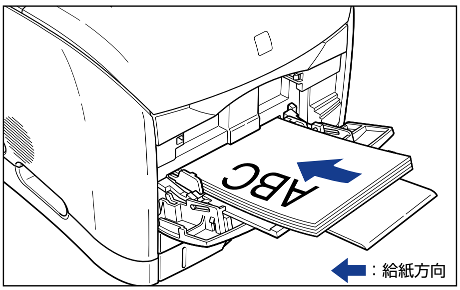
重要
- 手差しトレイには、次の枚数までセットできます。
  - ·普通紙　：約 125 枚（64g/m^2）
  - ·厚紙　：約 80 枚（128g/m^2）
  - ·OHP フィルム　：約 60 枚
  - ·ラベル用紙　：約 50 枚
- 積載制限ガイドと用紙との間に十分すき間があることを確認してください。すき間がない場合は、用紙を少し減らします。

- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所で良く揃えてからセットしてください。

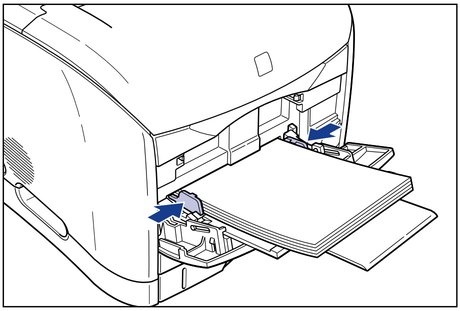


メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、以下のようにセットします。



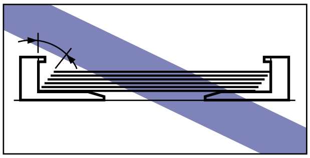


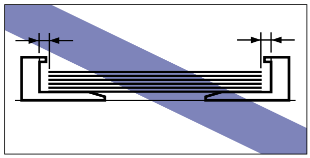
5 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

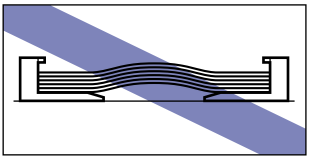


重要

- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



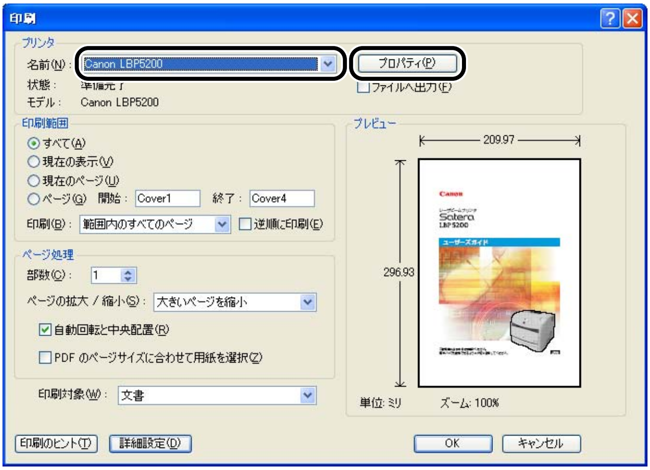




- 未開封のOHPフィルムは、温度範囲：0～35℃、湿度範囲：35～85％で保管してください。
- 使いかけのOHPフィルムは放置せず、必ず元のパッケージに入れて保管してください。
- 印刷中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

続けて、プリンタドライバの設定を行います。

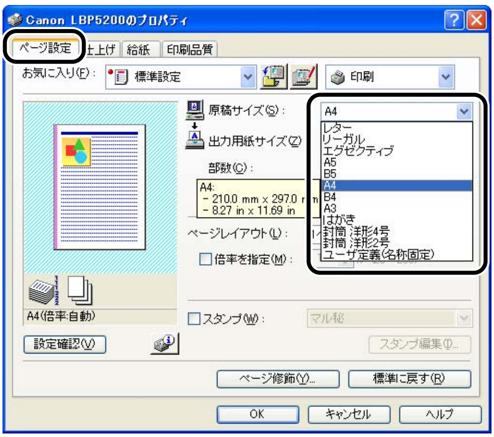
6 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

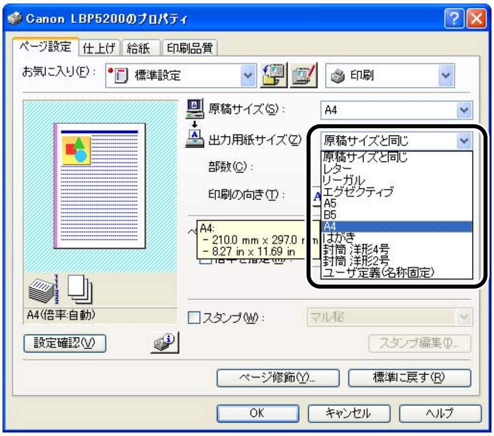
7 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



8 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

OHP フィルム、ラベル用紙は［A4］または［レター］を選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。



重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

9 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択します。

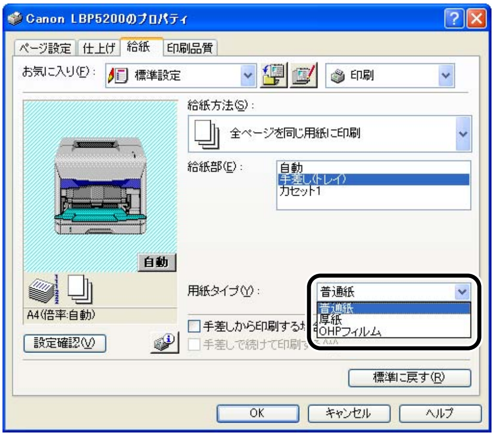
［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。



メモ ［給紙方法］から［OHP フィルムの間に用紙をはさむ］を選択すると、OHP フィルムの間に用紙をはさむことができます。

10 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙とラベル用紙の場合は［普通紙］、厚紙の場合は［厚紙］、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］を選択してください。

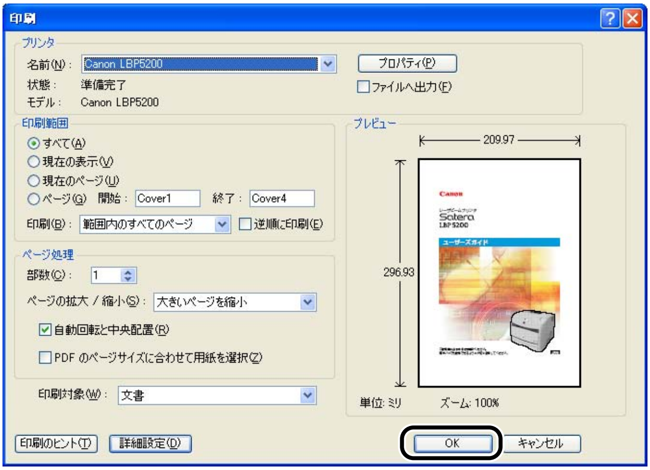


重要 ラベル用紙の用紙タイプの設定は、通常［普通紙］に設定してください。［普通紙］に設定して印刷したときに定着性が悪い場合は、［厚紙］に設定してください。［厚紙］に設定しても定着性が向上しない場合は、［特殊印字処理］（［仕上げ］ページ➞［仕上げ詳細］）を［特殊設定 7］に設定してください。

11 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



12 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。



はがきに印刷する場合

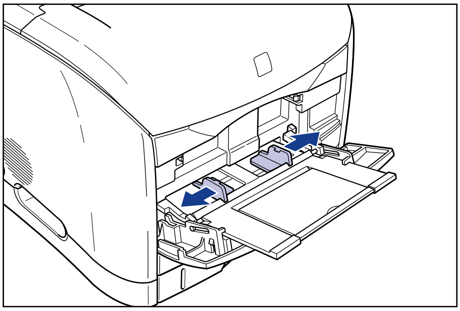
手差しトレイには、郵便はがきをセットできます。はがきを手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要
- 郵便はがき以外への印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になることがありますので、郵便はがき以外は使用しないでください。
- インクジェット用の郵便はがきを使用することはできません。
- はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

1 手差しトレイを開け、補助トレイを引き出します。

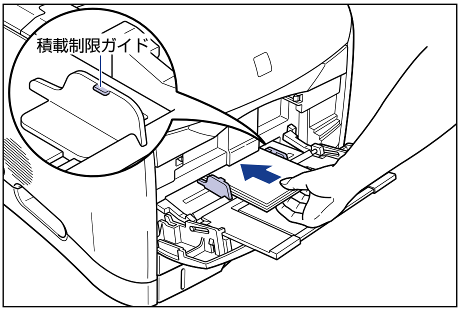
手差しトレイの開けかたは、「手差しトレイの開けかた」（→P.2-25）を参照してください。

2 用紙ガイドの幅をはがきの幅より少し広めにセットします。



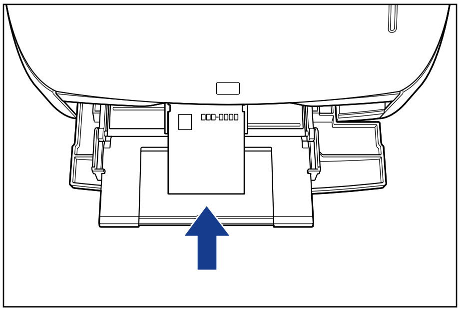
3 はがきの印刷する面を上にして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

はがきの束は積載制限ガイドの下を通してください。



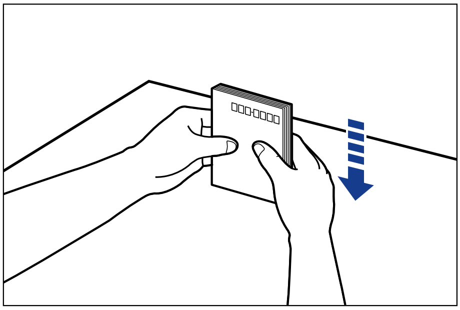
⚠注意　はがきを補給するときは、はがきの端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- はがきは、約 10 枚までセットできます。
- はがきをセットする場合は、必ず縦置きで、はがきの表面（印刷する面）を上に向け、はがきの上端がプリンタを上面から見て奥側になるようにセットします。

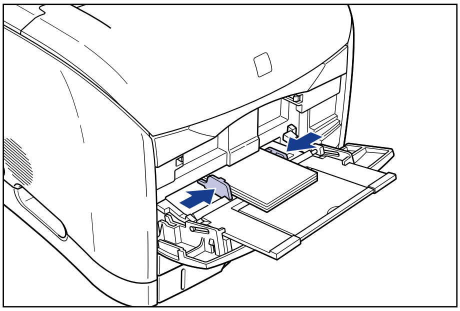


- 積載制限ガイドとはがきとの間に十分すき間があることを確認してください。すき間がない場合は、はがきを少し減らします。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。

- 裁断状態の悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

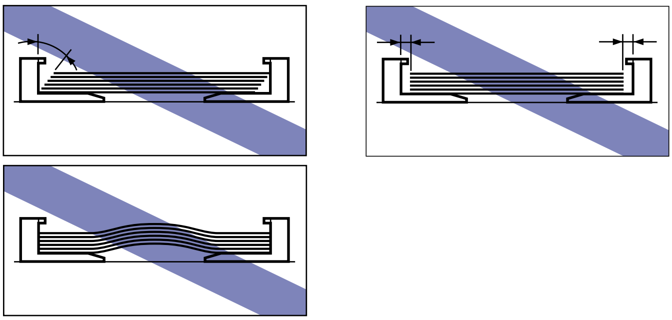


4 用紙ガイドを、はがきの左右にぴったりと合わせます。



重要

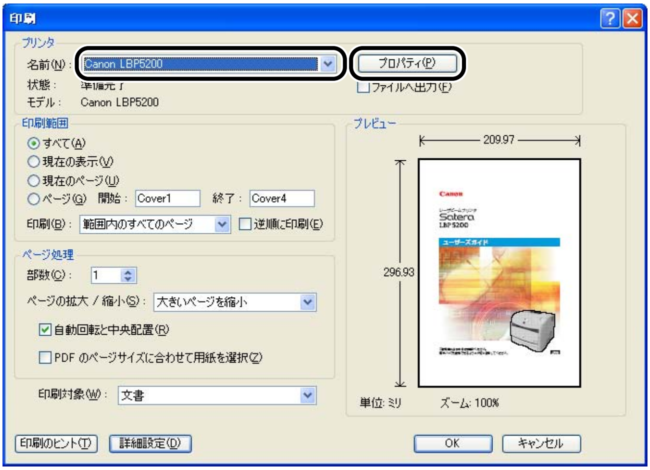
- 必ず用紙ガイドをはがきの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



- 印刷中は、手差しトレイのはがきに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

続けて、プリンタドライバの設定を行います。

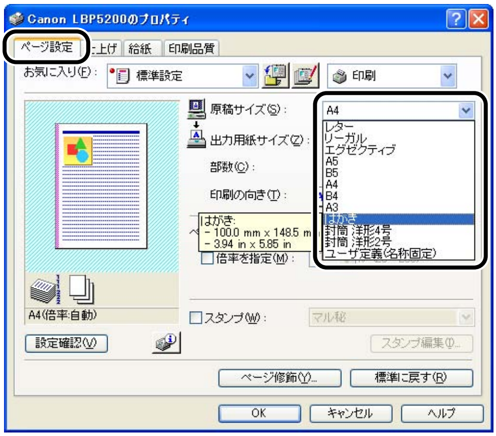
5 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。



プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

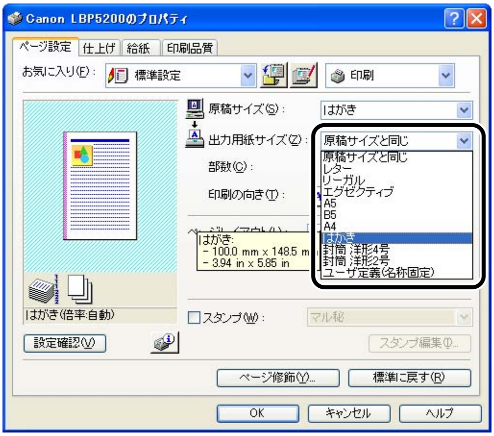
6 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



メモ　原稿サイズを［はがき］に設定すると、メッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。

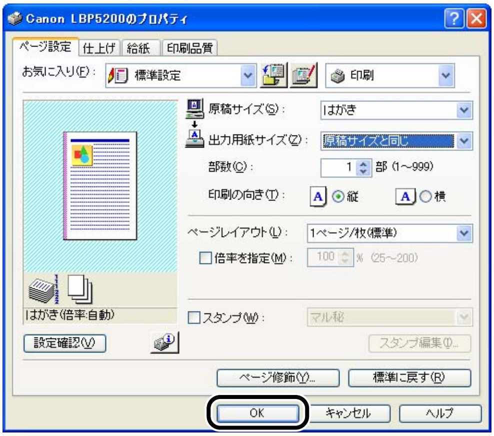
7 必要に応じて［出力用紙サイズ］で［はがき］を選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

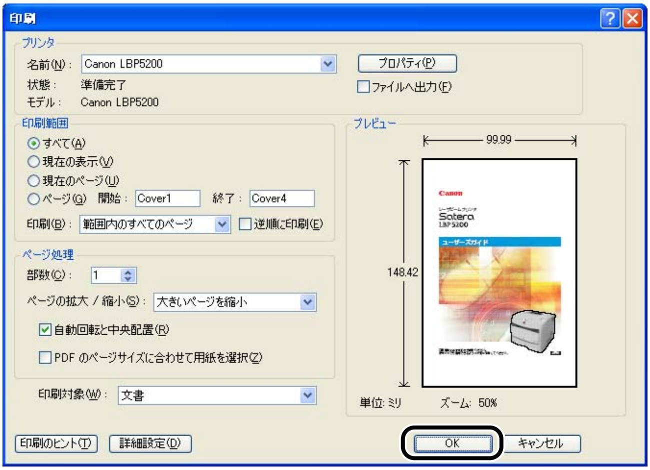


重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

8 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



9 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



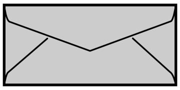
封筒に印刷する場合

手差しトレイには、洋形 4 号、洋形 2 号の封筒をセットできます。封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

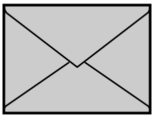
重要

- 本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号､洋形 ２号で次のような構造のものに限ります。

洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）



洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）



※短辺にふたが付いているものは使用できません。

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、 印刷速度が遅くなります。

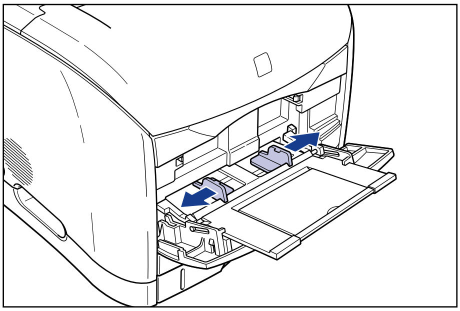
メモ

封筒に印刷した場合、 しわがよる場合があります。

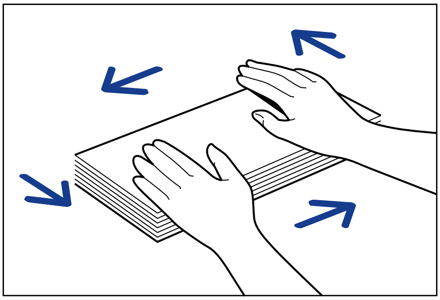
1 手差しトレイを開け、補助トレイを引き出します。

手差しトレイの開けかたは、「手差しトレイの開けかた」（→P.2-25）を参照してください。

2 用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

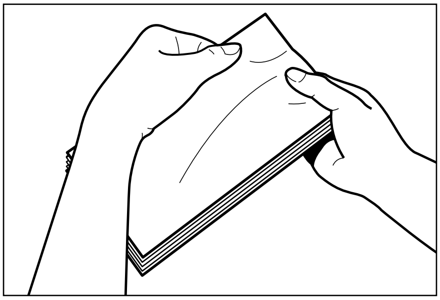


3 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

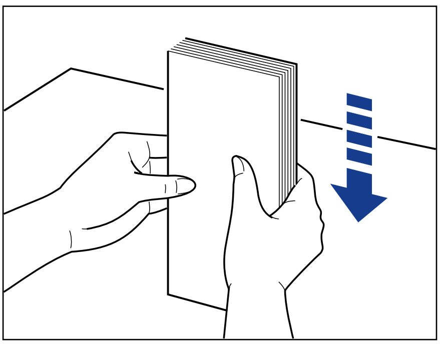


注意 封筒を補給するときは、封筒の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

4 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

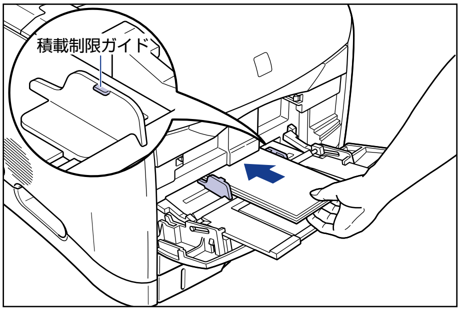


5 封筒を平らな場所で揃えます。



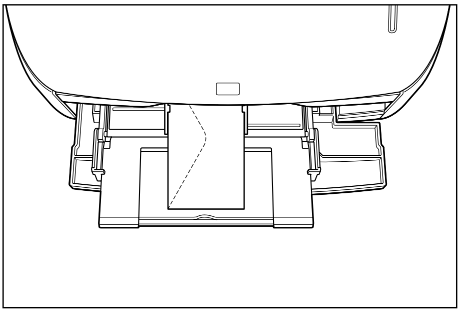
6 封筒の宛名を書く面を上に、ふたを閉じて左側になるようにセットし、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

封筒の束は積載制限ガイドの下を通してください。

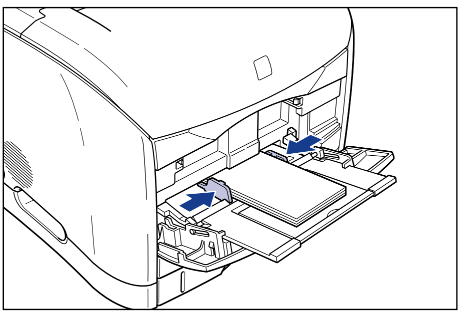


⚠注意　封筒を補給するときは、封筒の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 封筒は、約10枚までセットできます。
- 積載制限ガイドと封筒との間に十分すき間があることを確認してください。すき間がない場合は、封筒を少し減らします。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。
- ふたが左側になるようにセットしてください。

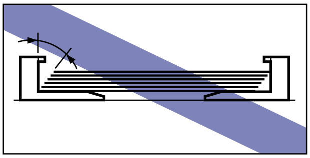


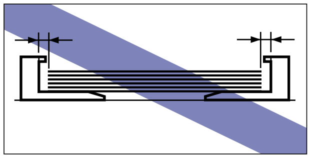
7 用紙ガイドを、封筒の左右にぴったりと合わせます。

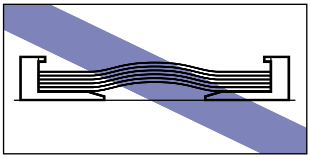


重要

- 用紙ガイドと封筒の間にすき間があいたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。



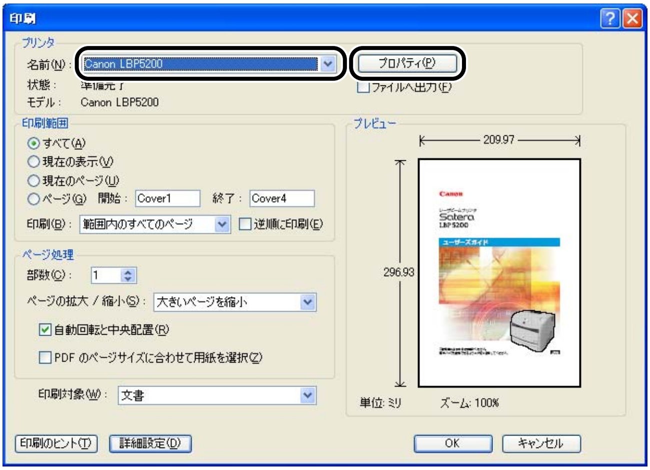




- 印刷中は、手差しトレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

続けて、プリンタドライバの設定を行います。

8 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

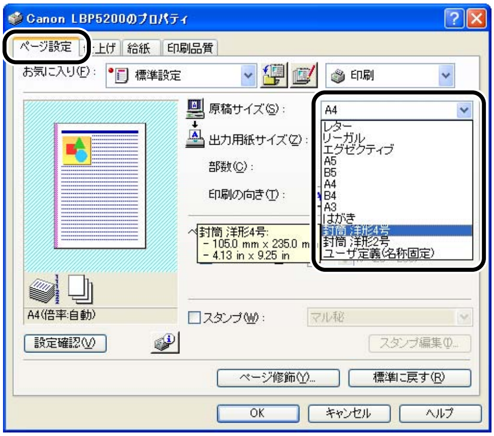


プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

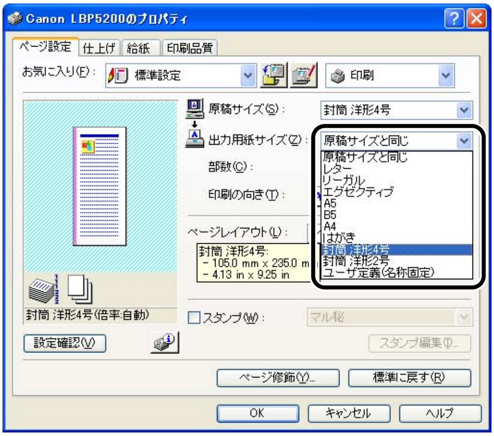
9 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。



メモ　原稿サイズを［封筒 洋形 4 号］または［封筒 洋形 2 号］に設定すると、メッセージが表示され自動的に用紙タイプが［封筒］に変更されます。

10 必要に応じて［出力用紙サイズ］で［封筒 洋形４号］または［封筒 洋形２号］を選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

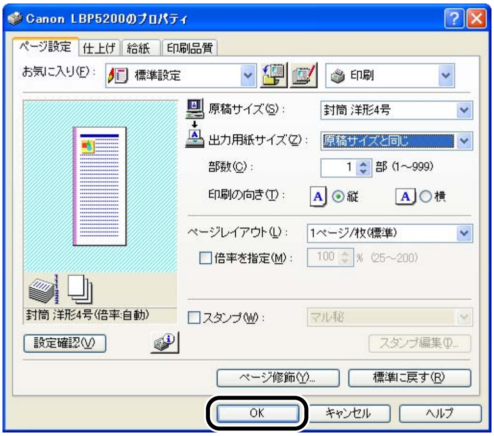


重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

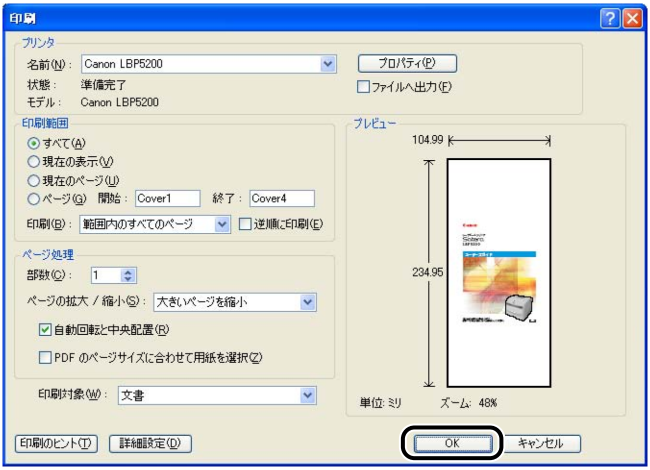
2

給紙／排紙のしかた

11 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。



12 [OK] をクリックして、印刷を実行します。



Windows の印刷環境を設定するには

3
CHAPTER

この章では、コンピュータにプリンタドライバをインストールする手順、ネットワーク環境で使用するための設定について説明しています。
Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

印刷するときに必要な作業

メモ　Macintoshをお使いの場合は、オンラインマニュアル「第2章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。プリンタドライバのインストール方法はご使用の環境によって異なります。

- プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続して、印刷する場合（➞P.3-4）
- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータをLANで接続し、印刷する場合についてはネットワークOSに付属の取扱説明書やAXIS 1611に付属の取扱説明書を参照してください。

■ コンピュータでプリンタの共有機能を使用する（➞P.3-54）

コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、本プリンタをネットワーク上のコンピュータから使用する場合に、コンピュータの設定やクライアントへプリンタドライバをインストールします。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷設定をする

プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ 印刷を実行する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版（32 ビットプロセッサバージョンのみ）

重要　日本語以外の OS には対応していません。

・動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium 300MHz以上	Pentium 300MHz以上
メモリ（RAM）*	64MB以上	Windows 2000：64MB以上 Windows XP/Server 2003：128MB以上
ハードディスク	20MB以上	15MB以上

（IBM-PC互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium III 600MHz以上	Pentium III 600MHz以上
メモリ（RAM）	64MB以上	Windows 2000：128MB以上 Windows XP/Server 2003：256MB以上

■ インタフェース環境

USB 接続時

- Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- Windows 2000/XP/Server 2003：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

ネットワーク接続時（接続するにはオプションのネットワークボードが必要です。）

- コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
- プロトコル：TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI（Windows XP/Server 2003 は TCP/IP のみ）

メモ

- サウンドをお使いになる場合は、PC 音源（および PCM 音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PC スピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタをお使いのコンピュータに USB ケーブルで直接接続するときの、ソフトウェアのインストール方法を説明します。

- Windows 98/Me の場合（→P.3-4）
- Windows 2000 の場合（→P.3-20）
- Windows XP/Server 2003 の場合（→P.3-34）

重要

- CAPT ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ

- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN で接続するときの、ソフトウェアのインストール方法は AXIS 1611 に付属の取扱説明書を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。
- コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、ネットワーク上のコンピュータから印刷するときの、ソフトウェアのインストール方法は、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」（→P.3-54）を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

Windows 98/Me の場合

ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されていないことを確認します。

重要

- インストールの手順の途中（手順 10→P.3-7）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 コンピュータの電源を入れ、Windows 98/Me を起動します。

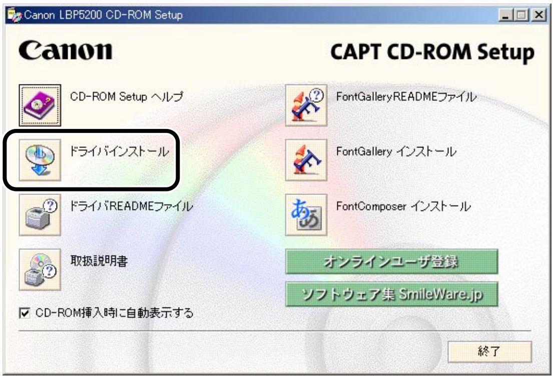
3 付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要 CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥CNAC3MNU.exe」と入力し、[OK] をクリックします。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

4 [ドライバインストール] をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 言語を確認し、[はい] をクリックします。



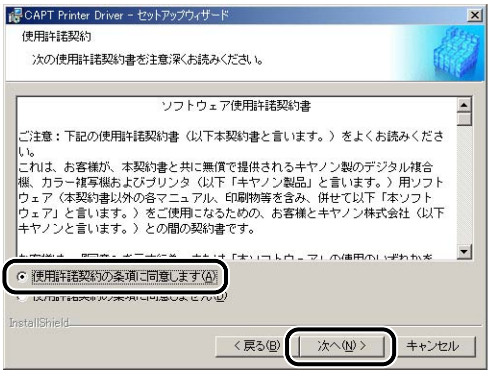
インストールの準備のあと、CAPT (Canon Advanced Printing Technology) ソフトウェアのインストーラが起動し、[セットアップウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

6 ［次へ］をクリックします。

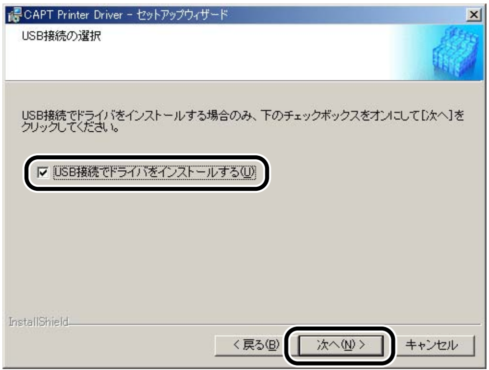


［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

7 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

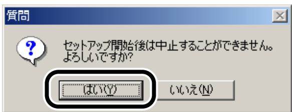


8 ［USB 接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

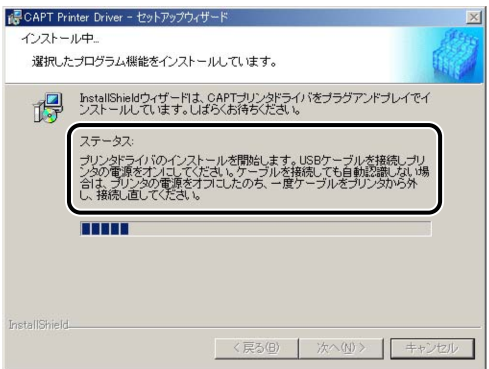


お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

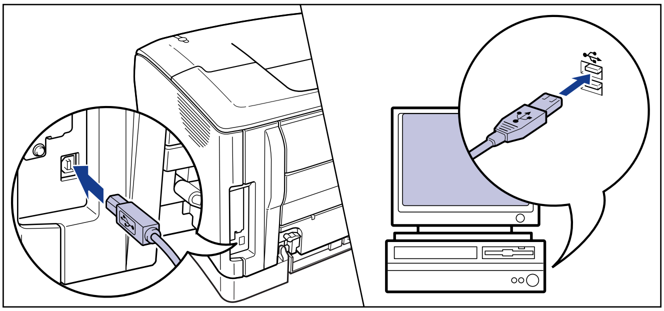
9 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。



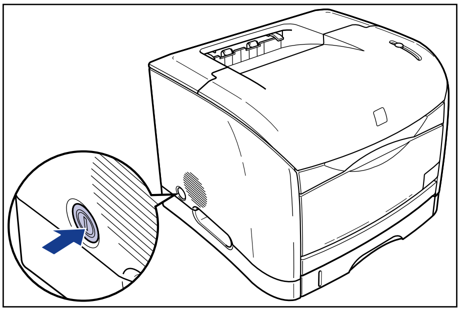
10 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。



プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。



電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



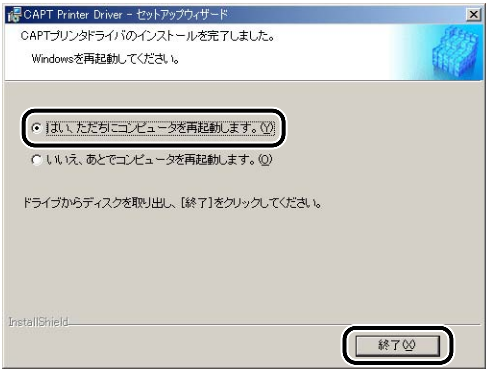
USB クラスドライバおよびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル（Windowsのみ）」（→P.7-40）を参照してください。

11 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



12 インストール完了の画面が表示されますので、［はい、ただちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［終了］をクリックします。



Windows が再起動します。

USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 98/Me を起動します。

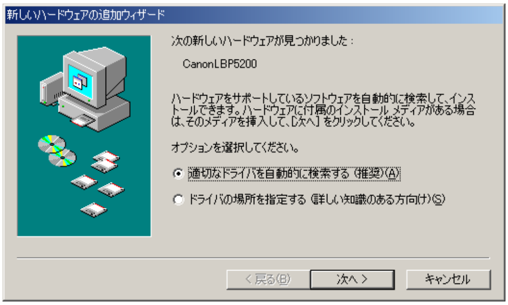
［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

● Windows Me の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 2 へ進みます。



次のダイアログボックスが表示された場合は、手順９へ進みます。



● Windows 98 の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順２へ進みます。



次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順９へ進みます。



2 ［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。



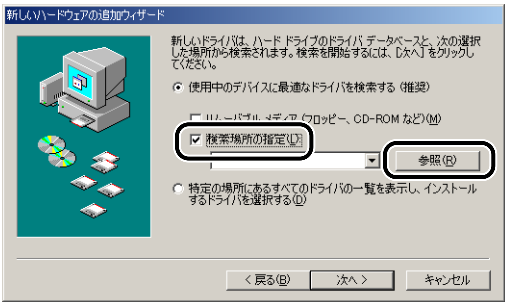
検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

3 付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

4 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。



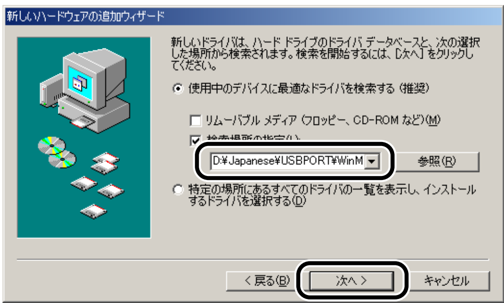
5 ［D:¥Japanese¥USBPORT¥WinMe］を選択し、［OK］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［D:¥Japanese¥USBPORT¥Win98］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



6 ［検索場所の指定］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。



7 ［次へ］をクリックします。



USB クラスドライバのインストールがはじまります。

8 ［完了］をクリックします。



プリンタを自動で検知します。しばらくお待ちください。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。Windows 98 の場合は［次へ］をクリックします。



9 ［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。



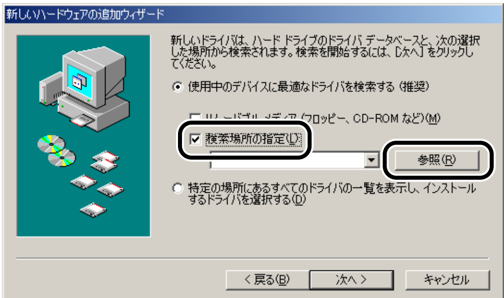
検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

10 付属のCD-ROM「LBP5200 User Software」がCD-ROMドライブに入っていない場合は、付属のCD-ROM「LBP5200 User Software」をCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

11 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

Windows 98の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROMドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

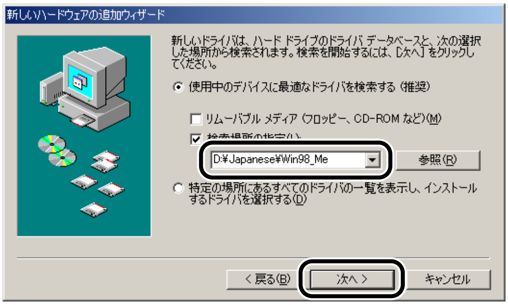


12 ［D:¥Japanese¥Win98_Me］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



13 [検索場所の指定] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

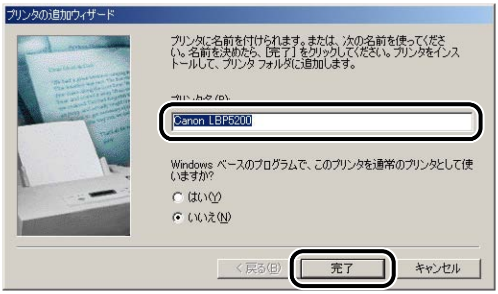


14 [次へ] をクリックします。



15 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力します。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、[Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？] が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。



16 [完了] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

17 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。



18 [完了] をクリックします。



USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

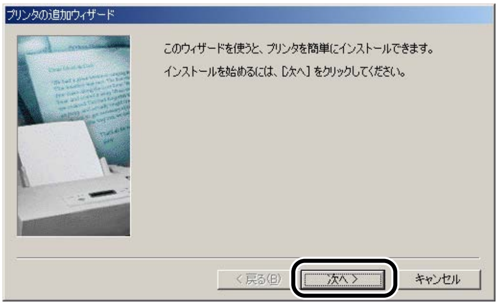
メモ　[プリンタの追加ウィザード] からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

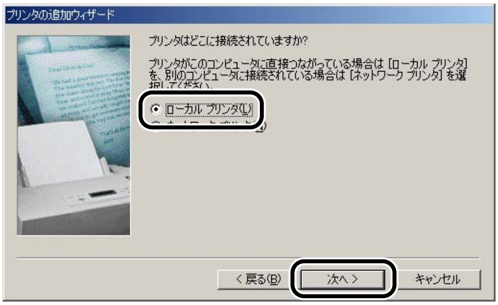
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスは、以下の方法でも表示できます。
- [マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックします（Windows Me の場合）。
- [マイコンピュータ] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックします（Windows 98 の場合）。

2 ［次へ］をクリックします。

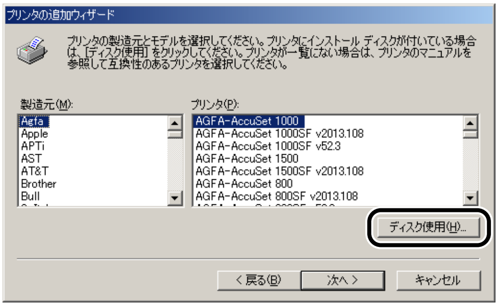


3 ［ローカルプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。



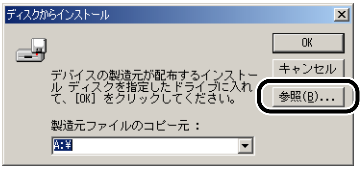
メモ　ネットワークの設定を行っていないときは、この画面は表示されません。

4 ［ディスク使用］をクリックします。



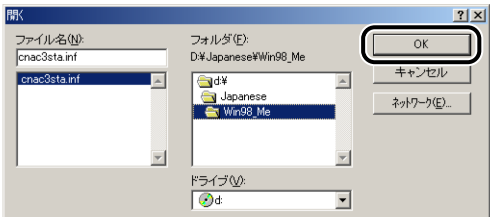
5 付属のCD-ROM「LBP5200 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。



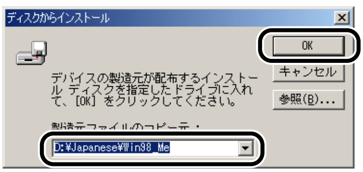
6 ［D:¥Japanese¥Win98_Me］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



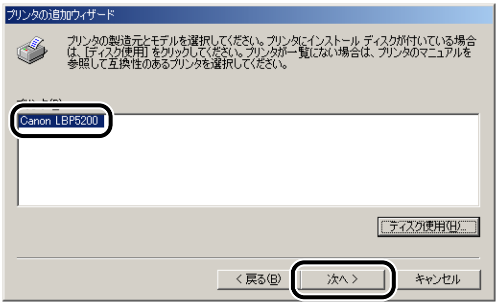
7 ［製造元ファイルのコピー元］（Windows 98は［配布ファイルのコピー元］）の表示内容を確認し、［OK］をクリックします。

例えば、CD-ROMドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win98_Me］と表示されます。

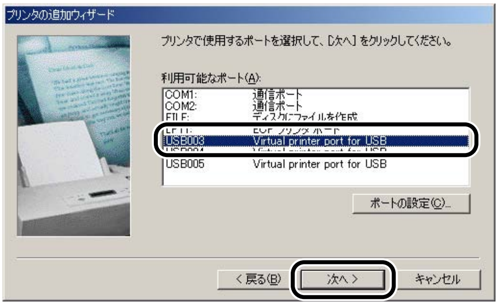


［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LBP5200」が表示されます。

8 ［プリンタ］で本プリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

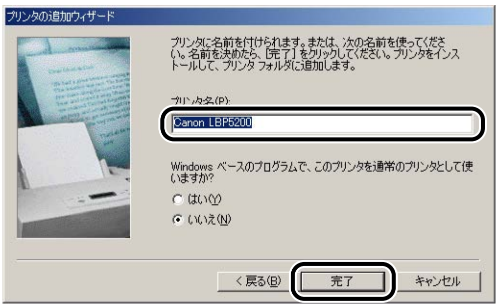


9 本プリンタを接続する USB ポートを選択し、［次へ］をクリックします。



10 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、［Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？］が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。



11 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

12 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

13 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

CD-ROM Setup からインストールする

1 プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。

重要
- インストールの手順の途中（手順 11→P.3-23）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 コンピュータの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

3 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ
プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

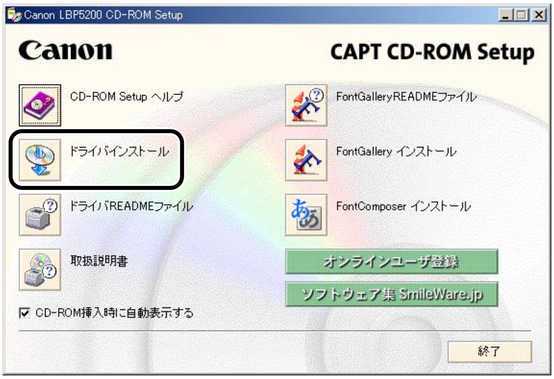
4 付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要
CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥CNAC3MNU.exe」と入力し、[OK] をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

5 ［ドライバインストール］をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 言語を確認し、［はい］をクリックします。



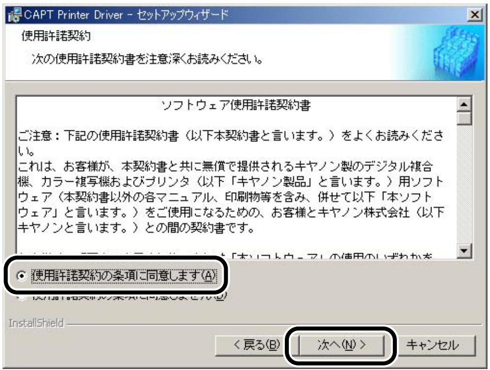
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

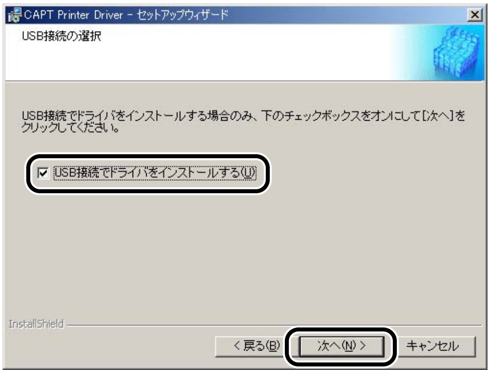


［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

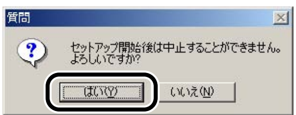
8 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



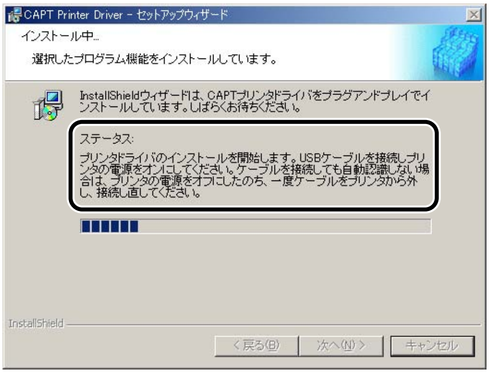
9 ［USB接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。



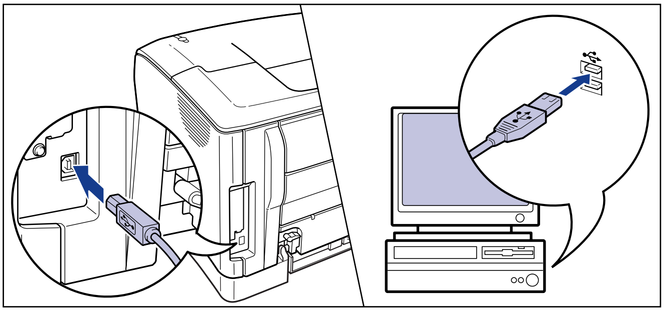
10 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。



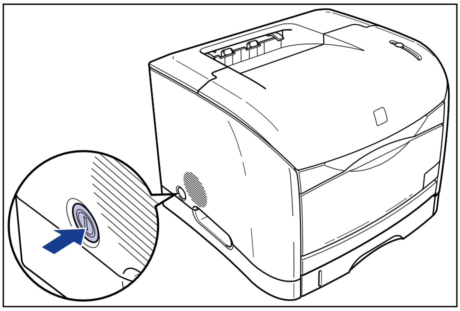
11 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。



プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続します。



電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



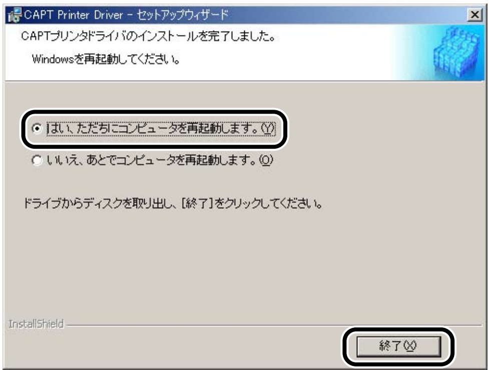
USBクラスドライバ（OS標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル（Windowsのみ）」（→P.7-40）を参照してください。

12 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



13 インストール完了の画面が表示されますので、［はい、ただちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［終了］をクリックします。



Windows が再起動します。

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

---

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 ［次へ］をクリックします。

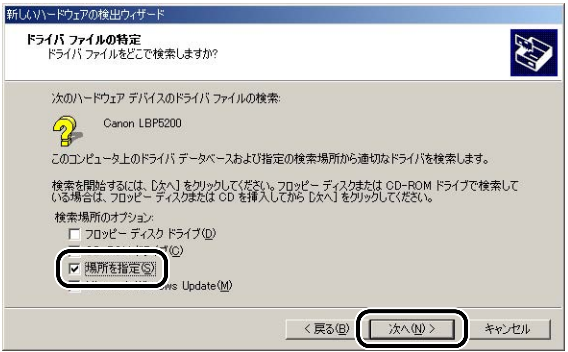


4 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し、［次へ］をクリックします。



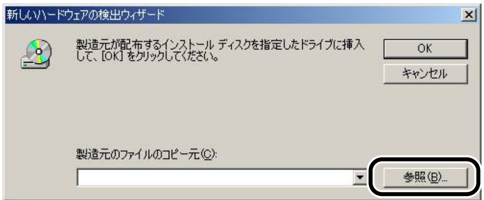
メモ　デバイスの名称が「不明」と表示されることがあります。

5 ［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［場所を指定］にチェックマークを付け、［次へ］をクリックします。



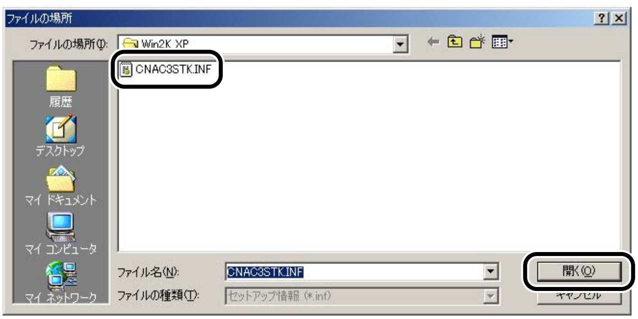
6 付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

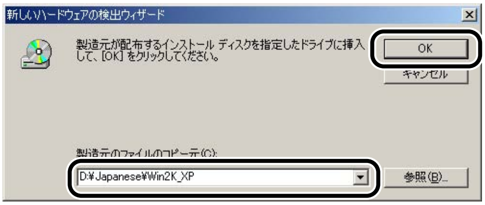


7 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAC3STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

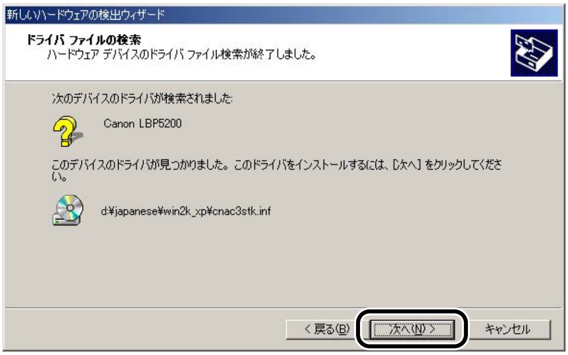


8 [製造元のファイルのコピー元] に参照するフォルダが表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

9 [次へ] をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。
続いて [新しいハードウェアの検索ウィザードの完了] が表示されます。

メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

10 [完了] をクリックします。



USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

［プリンタの追加ウィザード］からインストールする

重要 テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ ［プリンタの追加ウィザード］からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

重要 プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

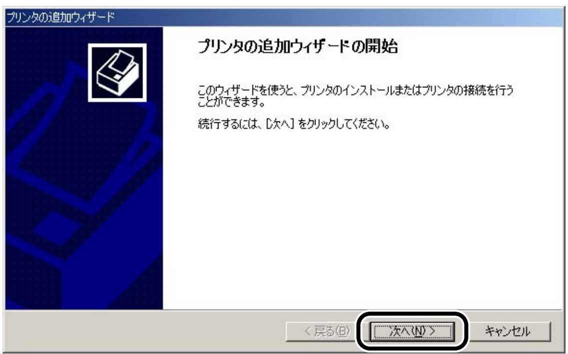
メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択して［プリンタ］フォルダを開き、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

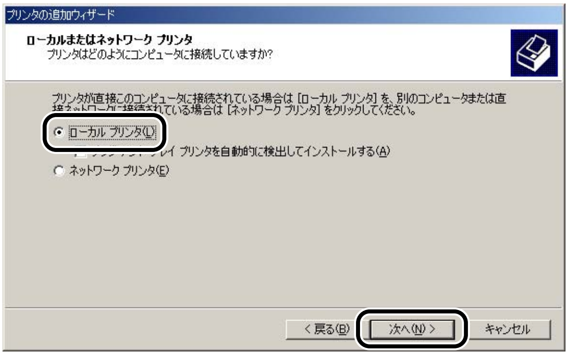
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

メモ ［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスは、［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［プリンタ］→［プリンタの追加］の順にダブルクリックして表示させることもできます。

4 ［次へ］をクリックします。

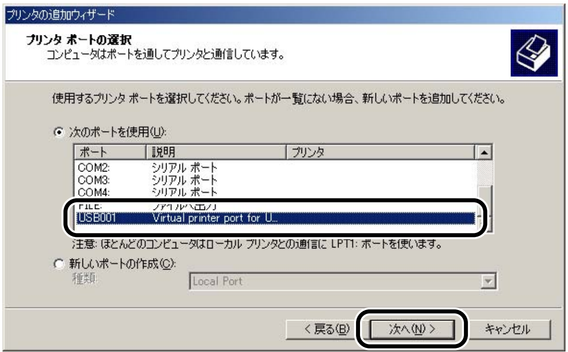


5 ［ローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

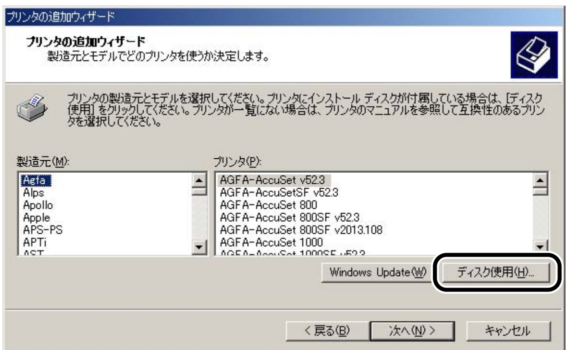


メモ　［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

6 本プリンタを接続するUSB ポートを選択し、［次へ］をクリックします。

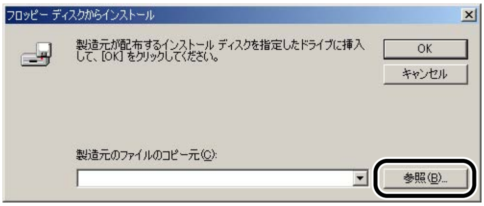


7 ［ディスク使用］をクリックします。



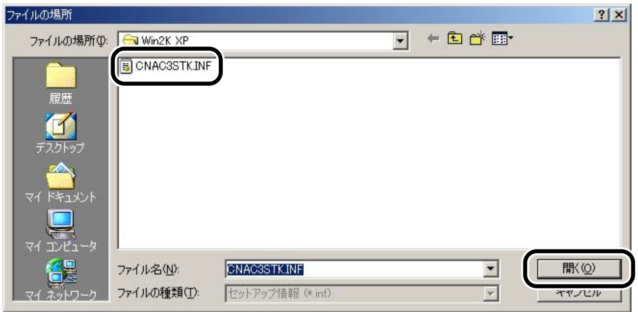
8 付属のCD-ROM「LBP5200 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。



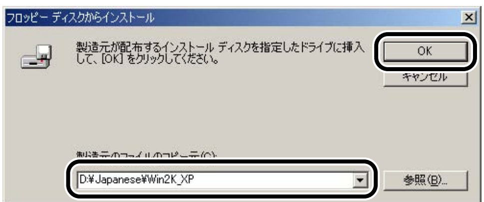
9 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAC3STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



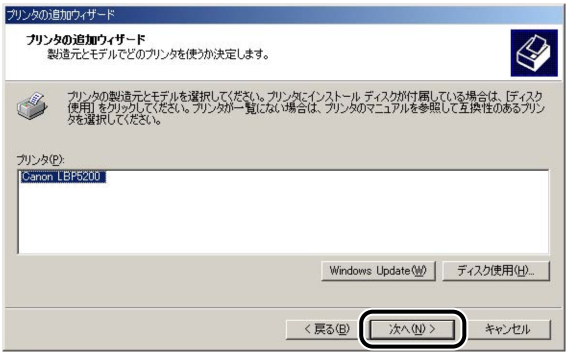
10 ［製造元のファイルのコピー元］の表示内容を確認し、［OK］をクリックします。

例えば、CD-ROMドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win2K_XP］と表示されます。



［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LBP5200」が表示されます。

11 ［次へ］をクリックします。

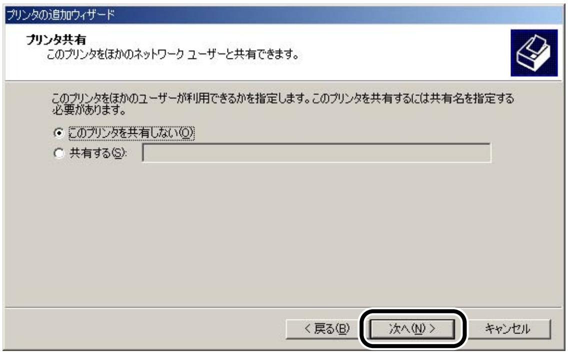


12 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力して［次へ］をクリックします。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。



13 ［次へ］をクリックします。

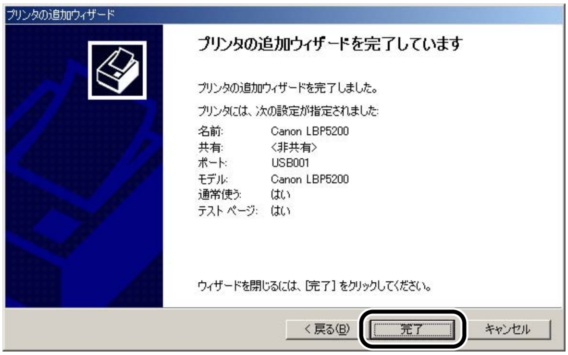


メモ　本プリンタをネットワークで共有する場合には、［共有する］を選択して［次へ］をクリックします。［場所］と［コメント］を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し［次へ］をクリックします。

14 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。



15 ［完了］をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

16 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows XP/Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 **プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。**

重要
- インストールの手順の途中（手順 11→P.3-37）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 **コンピュータの電源を入れ、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

3 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

メモ
プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

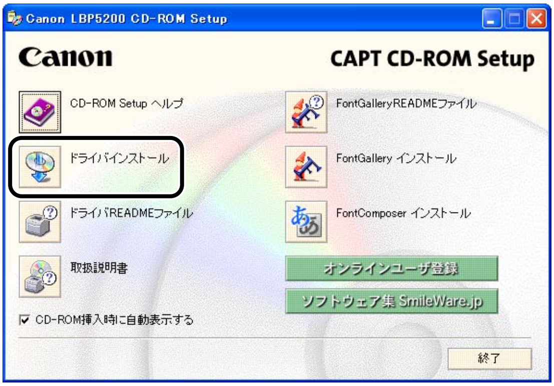
4 **付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要
CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAC3MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

5 ［ドライバインストール］をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 言語を確認し、［はい］をクリックします。



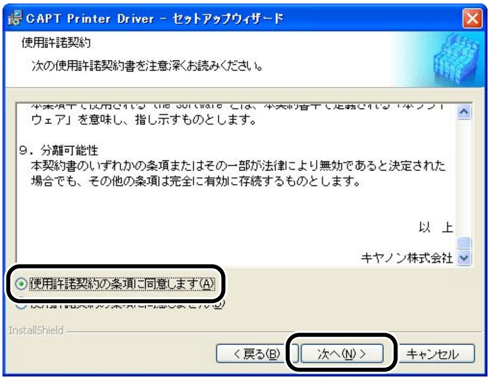
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

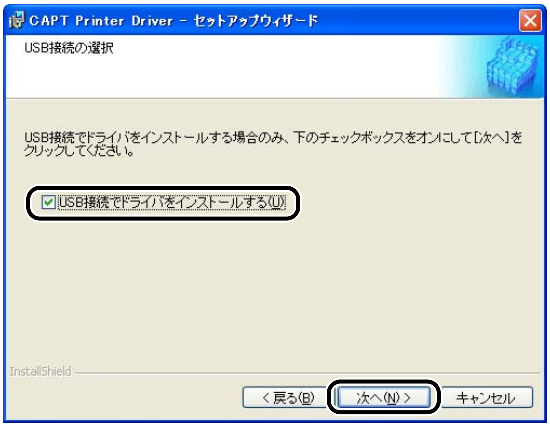


［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

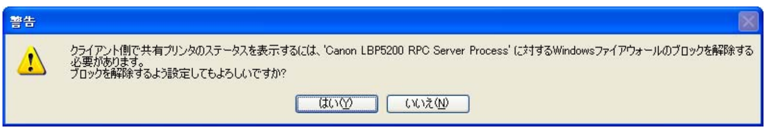
8 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



9 「USB 接続でドライバをインストールする」にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。



Windows XP Service Pack 2などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS を使用している場合、以下の画面が表示されますので、［はい］または［いいえ］をクリックします。

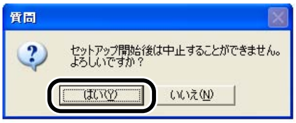


［はい］をクリックすると、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除することができます。インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合に選択してください。

［いいえ］をクリックすると Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されます。

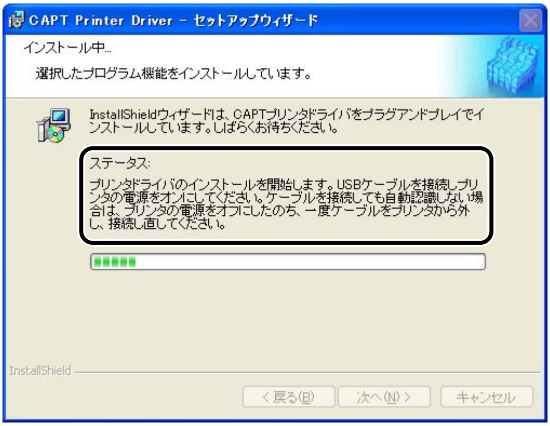
メモ　インストール後でも、付属の CD-ROM に収められている「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、Windows ファイアウォールの設定を変更することができます。詳しくは、「Windows ファイアウォール機能について」（→P.8-14）を参照してください。

10 **［セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？］というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。**

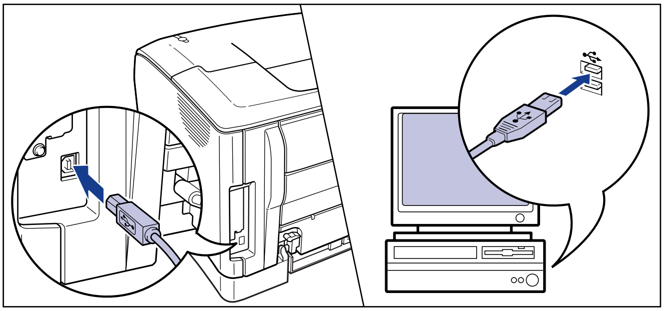


メモ　［ソフトウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

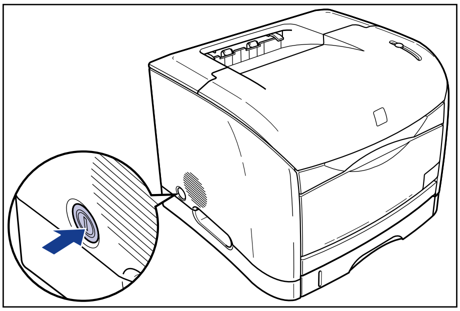
11 **次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。**



プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。



電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



USB クラスドライバ（OS 標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

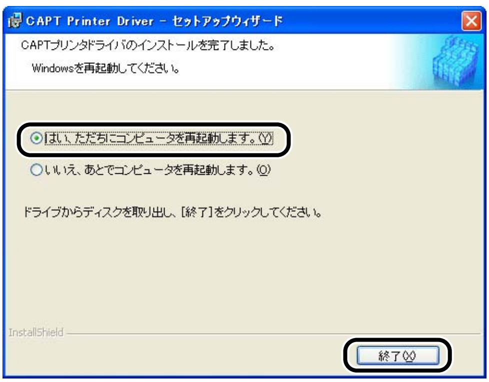
メモ

- USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（➞P.7-40）を参照してください。
- ［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

12 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。



13 インストール完了の画面が表示されますので、［はい、ただちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［終了］をクリックします。



Windows が再起動します。

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

重要 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

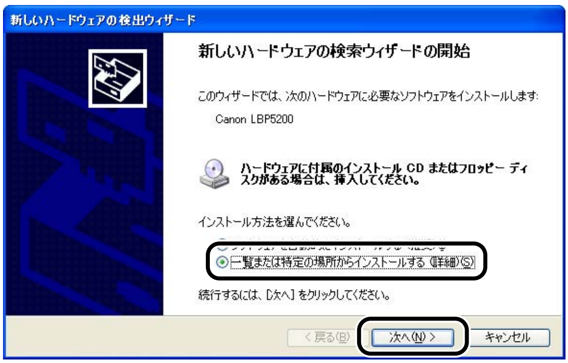
1 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択して［次へ］をクリックします。

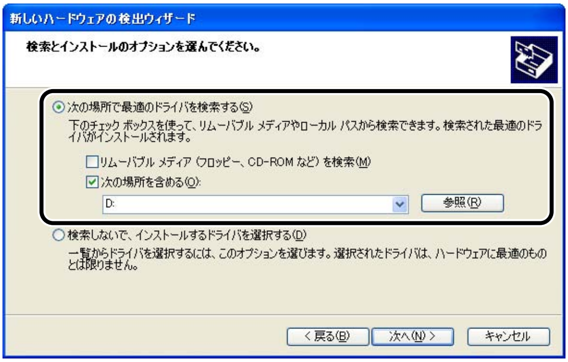
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。



3

Windowsの印刷環境を設定するには

4 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックマークを消し、［次の場所を含める］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

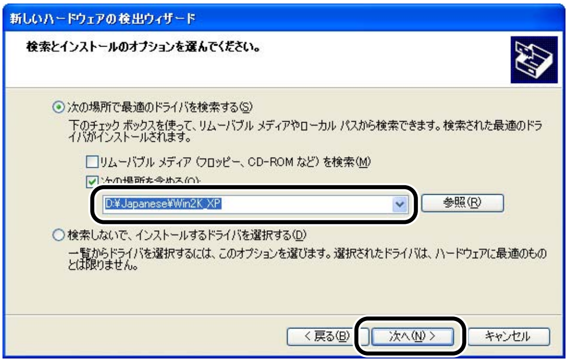


5 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



6 ［次の場所を含める］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。



インストール中の画面が表示されます。

続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

7 ［完了］をクリックします。



重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。(➞P.8-14)

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

重要 テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ [プリンタの追加ウィザード] からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

---

1 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

重要 プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

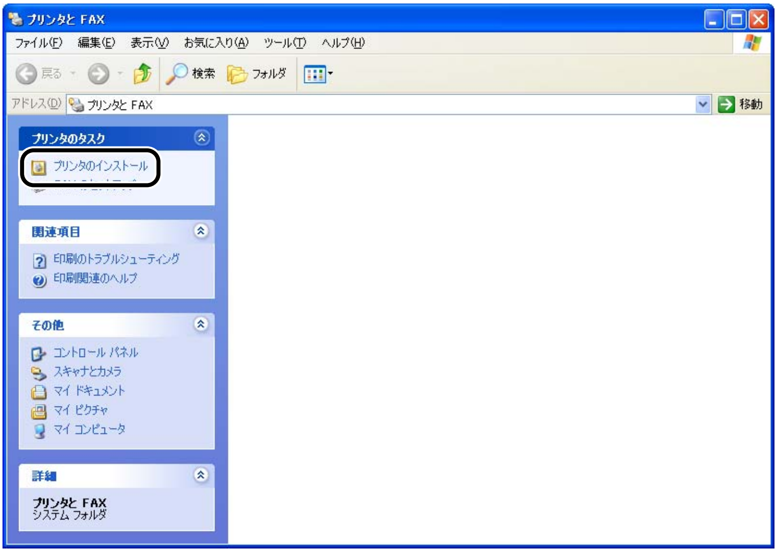
メモ プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 [プリンタと FAX] フォルダを表示します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合
[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合
[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。

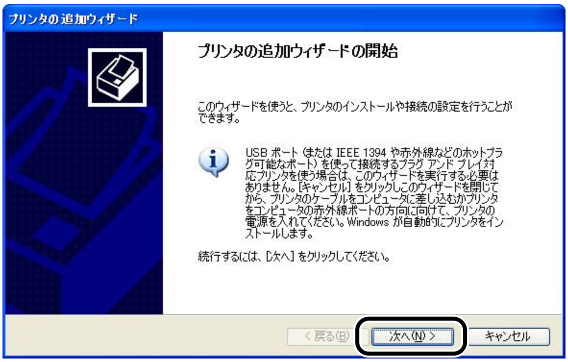
4 ［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

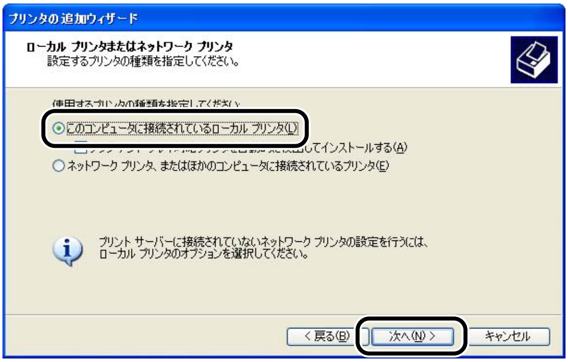


［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［次へ］をクリックします。

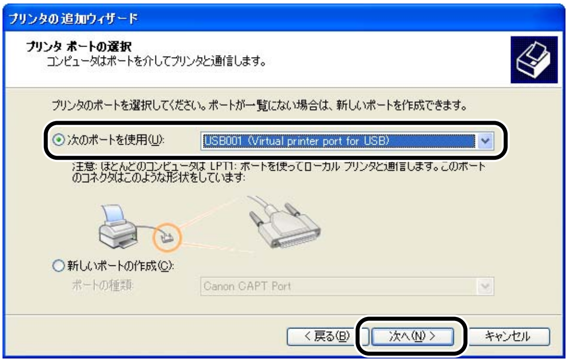


6 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

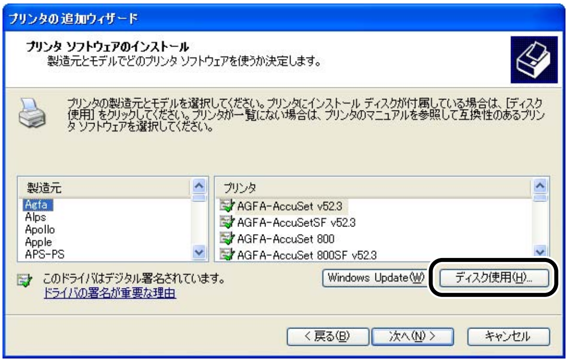


メモ　［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

7 ［次のポートを使用］が選択されていることを確認し、本プリンタを接続する USB ポートを選択して［次へ］をクリックします。

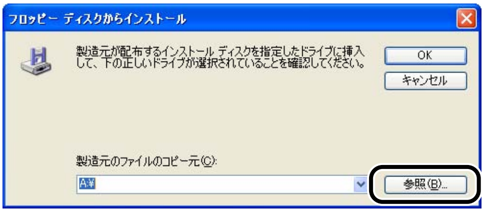


8 ［ディスク使用］をクリックします。



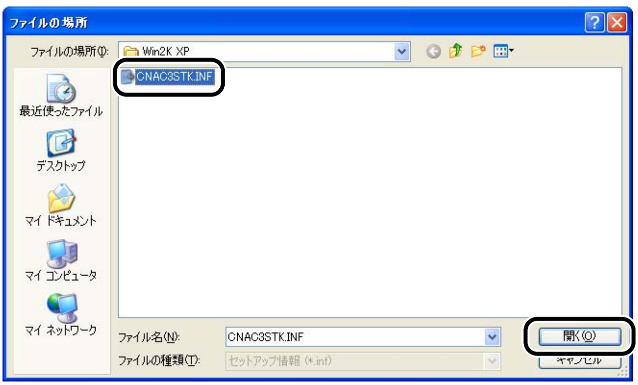
9 付属のCD-ROM「LBP5200 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。



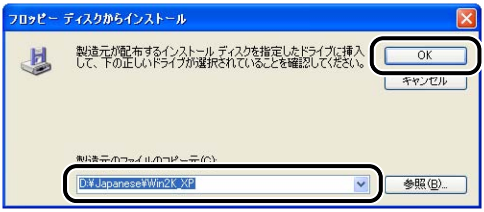
10 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAC3STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。



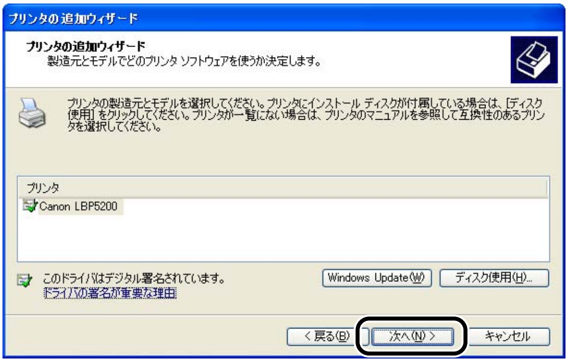
11 [製造元のファイルのコピー元] の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win2K_XP] と表示されます。



[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスに「Canon LBP5200」が表示されます。

12 [次へ] をクリックします。

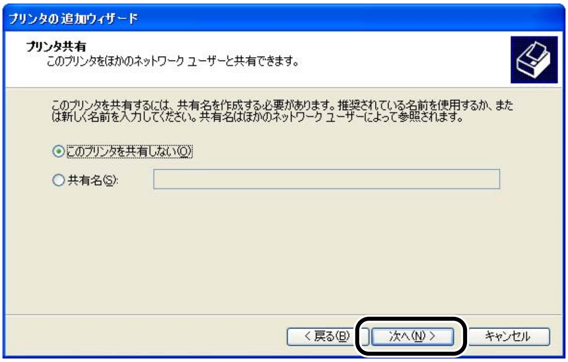


13 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名]に新しい名前を入力して[次へ]をクリックします。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい]または[いいえ]を選択します。



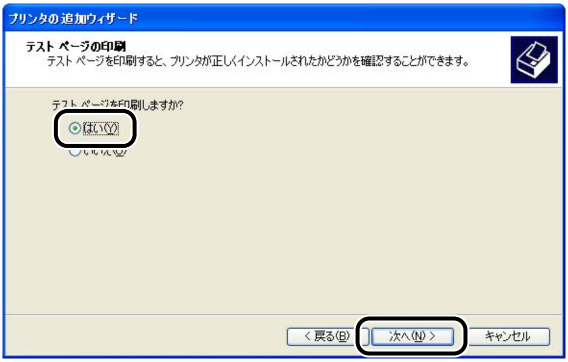
14 [次へ]をクリックします。



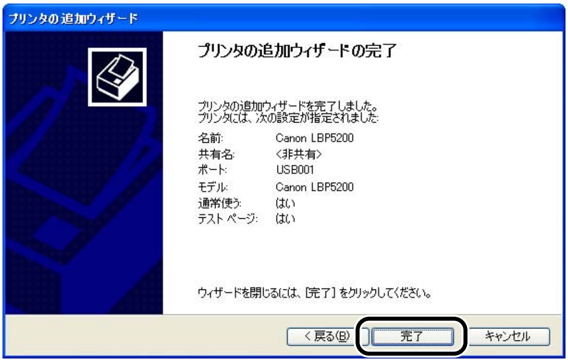
メモ

本プリンタをネットワークで共有する場合には、[共有名]を選択して[次へ]をクリックします。[場所]と[コメント]を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し[次へ]をクリックします。

15 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。



16 ［完了］をクリックします。



ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ　［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

17 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞P.8-14）

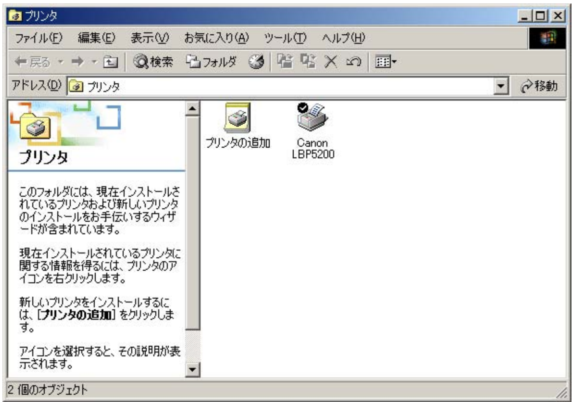
プリンタドライバのインストールが完了しました。

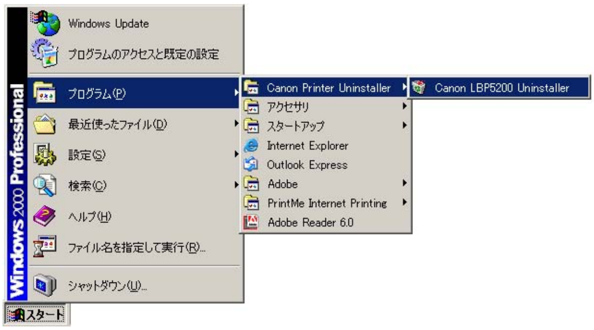
インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、以下のように本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

■ Windows 98/Me/2000 の場合

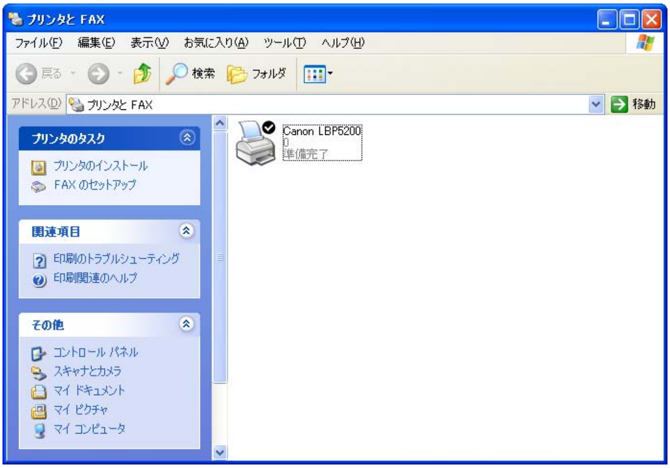
- [プリンタ] フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。
- [スタート] メニューの [プログラム] に [Canon Printer Uninstaller] が追加されます。

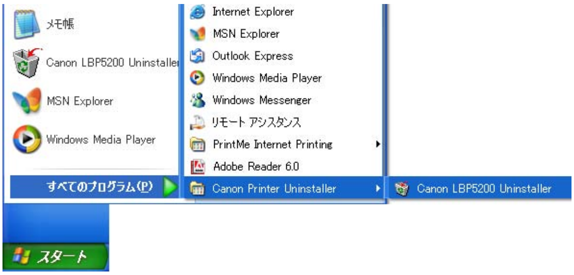




■ Windows XP/Server 2003の場合

- [プリンタとFAX] フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。
- [スタート] メニューの [すべてのプログラム] に [Canon Printer Uninstaller] が追加されます。





テストページの印刷方法

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずテスト印刷を行ってください。

メモ
- ここでは、 Windows XP Professional をお使いの場合の画面で説明します。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章便利な印刷機能」を参照してください。

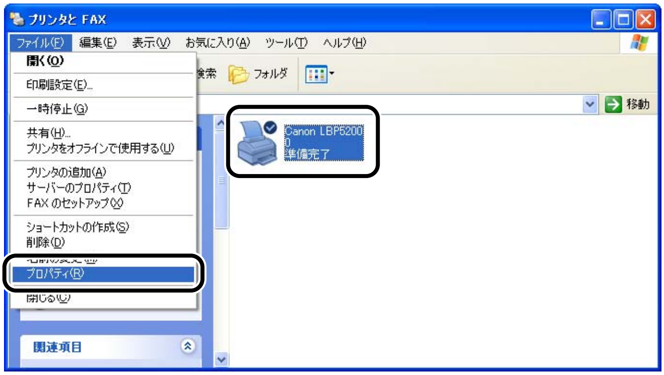
1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。



［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。



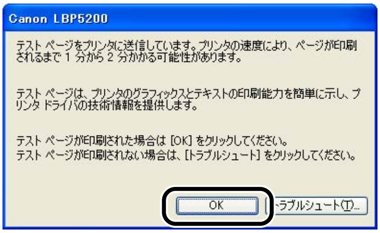
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［全般］ページの［テストページの印刷］（Windows2000/XP/Server 2003 の場合）、［印字テスト］（Windows98/Me の場合）をクリックします。



テストページの印刷が開始されます。

4 正しく印刷された場合は、[OK]または［はい］をクリックします。

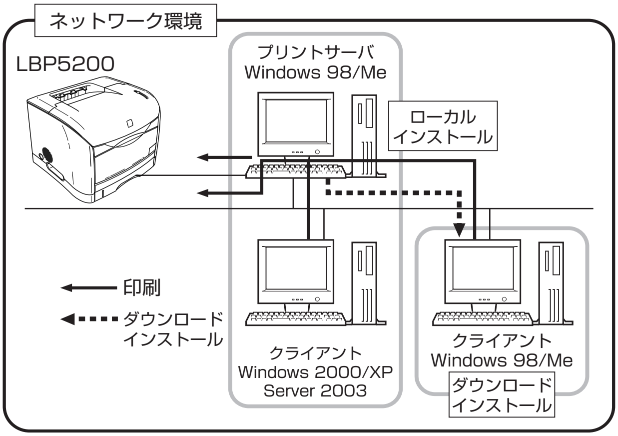


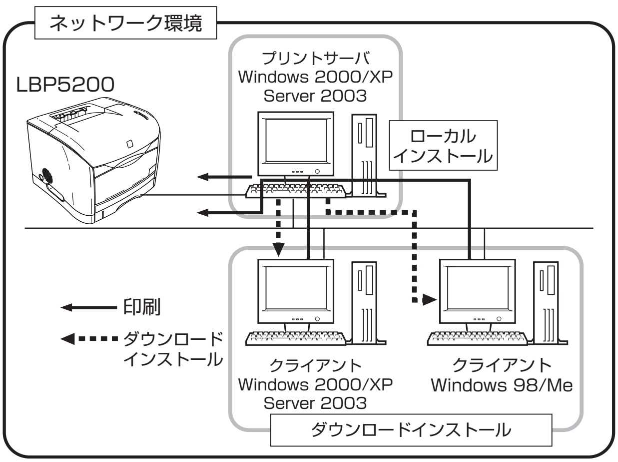
メモ　テストページが正しく印刷されなかった場合は、「第 7 章 困ったときには」を参照してください。

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する

プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有としてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータをプリントサーバ、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータをクライアントと呼びます。





プリントサーバ環境を使用する場合は次の設定を行ってください。

設定内容		参照先
1	**プリントサーバへのプリンタドライバをインストールする**	
	・プリンタとプリントサーバをUSBケーブルで接続している場合	→P.3-4
	・オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとプリントサーバをLANケーブルで接続している場合	ネットワークOSに付属の取扱説明書やAXIS1611に付属の取扱説明書
2	**プリントサーバの設定**	
	・Windows 98/Meの場合	→P.3-55
	・Windows 2000/XP/Server 2003 の場合	→P.3-59
3	**クライアントへのインストール**	→P.3-65

メモ　プリントサーバ、クライアントは共に、Windows 98/MeまたはWindows 2000/XP/Server 2003のOSが動作している必要があります。

プリントサーバの設定

Windows 98/Me の場合

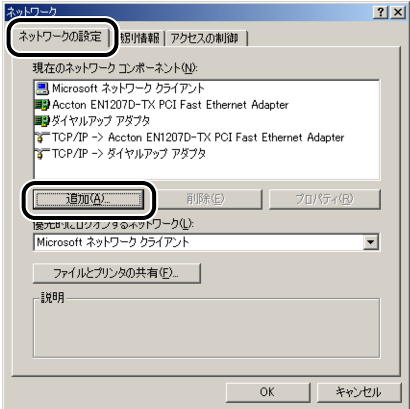
メモ　ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

■プリンタの共有設定の準備

1 **［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］アイコンの順にダブルクリックします。**

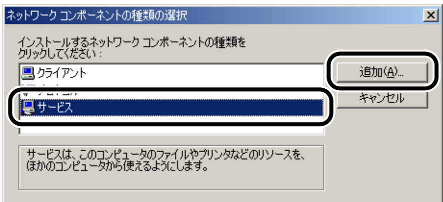
［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［ネットワークの設定］ページを表示して、［追加］をクリックします。

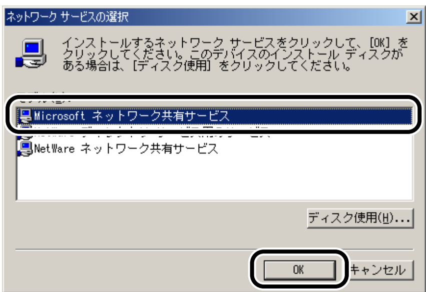


［ネットワークコンポーネントの選択］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［サービス］アイコンを選択し、［追加］をクリックします。

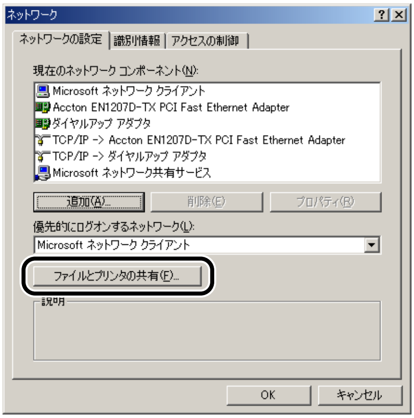


4 ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。



［ネットワークコンポーネントの種類の選択］ダイアログボックスが一度表示され、［ネットワーク］ダイアログボックスに戻ります。

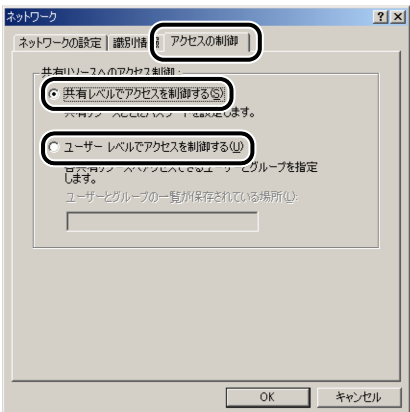
5 [ファイルとプリンタの共有] をクリックします。



6 [プリンタを共有できるようにする] が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。



7 [アクセスの制御] ページを表示して、[共有レベルでアクセスを制御する] または [ユーザーレベルでアクセスを制御する] のどちらかを選択します。



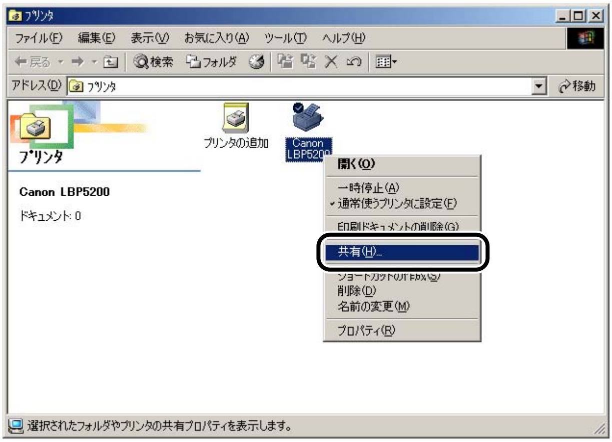
8 [OK] をクリックし、Windows を再起動します。

■プリンタの共有設定

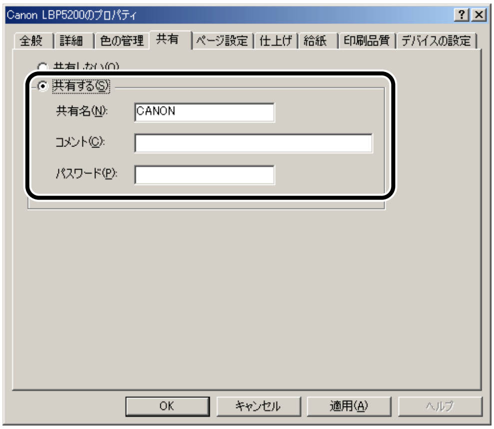
1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［共有］を選択します。



3 ［共有する］を選択します。必要に応じて［共有名］を変更し、［コメント］、［パスワード］を入力します。

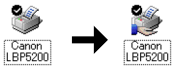


メモ

- 「ネットワークの設定」の手順7（→P.3-57）で、［ユーザーレベルでアクセス制御する］を選択している場合は、［追加］をクリックしてプリンタを使用するユーザを選択します。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 [OK] をクリックします。

プリンタアイコンが、プリンタ共有アイコンに変更されます。



Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

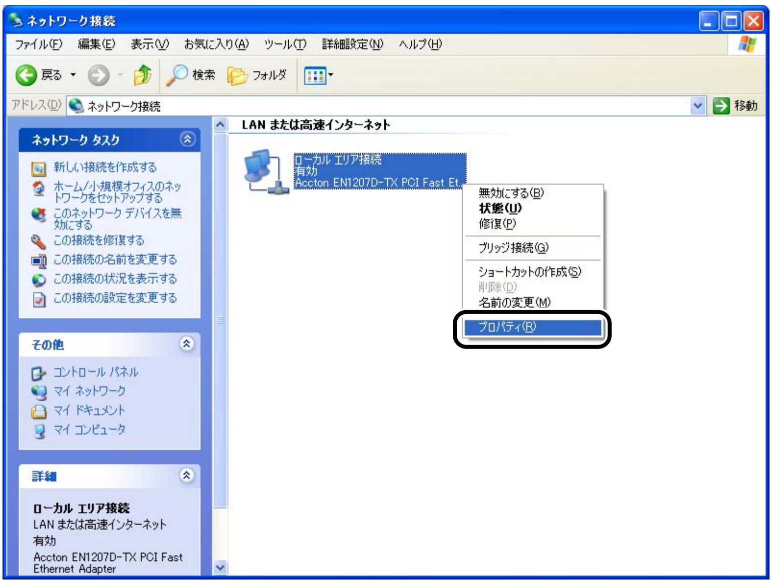
■プリンタの共有設定の準備

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] を選択し、手順 3 へ進みます。

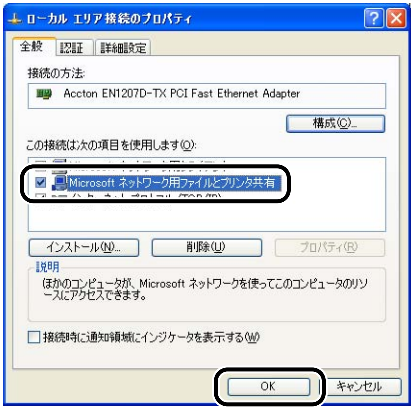
Windows 2000 の場合は、[ネットワークとダイヤルアップ接続] フォルダが表示されます。
Windows XP の場合は、[ネットワーク接続] フォルダが表示されます。

2 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。



［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。



■プリンタの共有設定

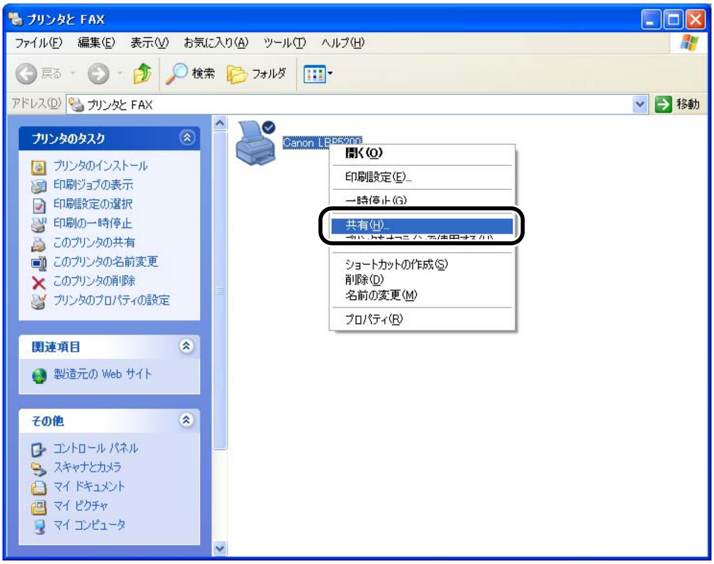
メモ　Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

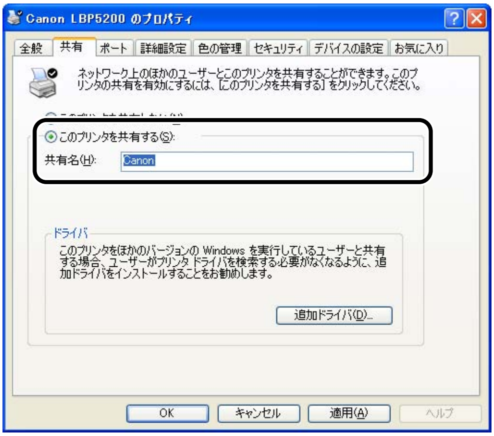
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。



3 ［このプリンタを共有する］を選択します。必要であれば共有名を変更します。

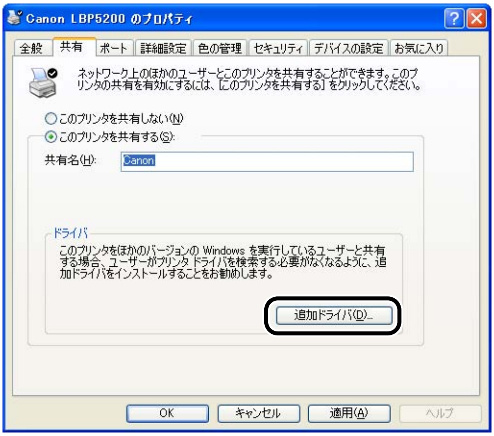
Windows 2000 の場合は［共有する］を選択します。



メモ
- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 クライアントでWindows 98/Meを使用しているユーザがいる場合は、[追加ドライバ]をクリックします。

クライアントでWindows 98/Meを使用しているユーザがいない場合は、[OK]をクリックします。プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更され、プリンタの共有設定が終了します。



[追加ドライバ]ダイアログボックスが表示されます。

5 [Windows 95、98、およびMe]にチェックマークを付け、[OK]をクリックします。

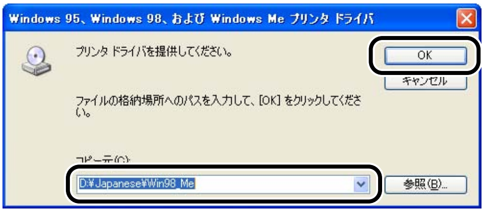
Windows 2000の場合は、[Windows 95または98]にチェックマークを付け、[OK]をクリックします。
Windows Server 2003の場合は、[Windows 95、Windows 98、またはWindows Millennium Edition]にチェックマークを付け、[OK]をクリックします。



6 付属のCD-ROM「LBP5200 User Software」をCD-ROMドライブにセットします。

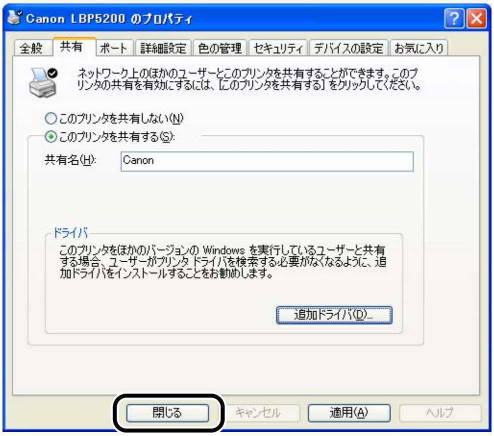
[ディスクの挿入]ダイアログボックスが表示された場合は、[OK]をクリックします。

7 [参照]をクリックし、CD-ROMドライブが[D:]のときは、[D:¥Japanese¥Win98_Me]を選択し、[OK]をクリックします。

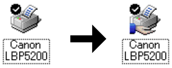


ファイルのコピーがはじまります。

8 [閉じる]をクリックします。



プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。



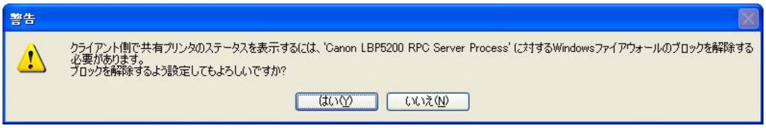
重要 プリンタの共有設定を解除するには、[共有]ページで[このプリンタを共有しない](Windows 2000 は[共有しない])を選択します。その際、Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSでプリンタの共有設定を解除した場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、Windowsファイアウォールに登録されている設定を削除する必要があります。(→P.8-14)

■Windows ファイアウォール機能の設定

Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOS をプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対するWindows ファイアウォールのブロックを解除する必要があります。

以下の方法で、Windows ファイアウォールのブロックが解除されていることを確認してください。

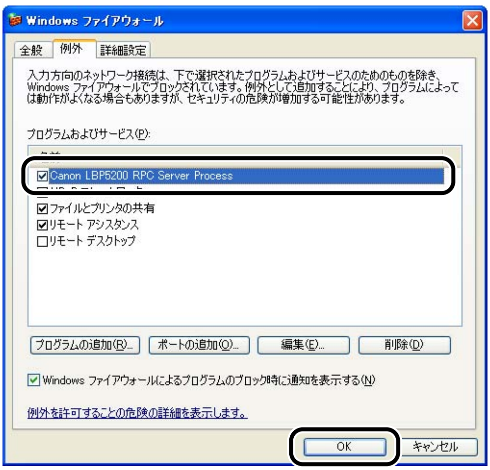
• CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールしたときに、[警告] ダイアログボックスが表示されます。



・[はい]を選択した場合は、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックは解除されています。

・[いいえ] を選択した場合は Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されていますので、以下の方法でブロックを解除してください。

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] ➞ [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。
2. [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページで、[Canon LBP5200 RPC Server Process] のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK] をクリックします。



• CD-ROM Setup 以外の方法で CAPT ソフトウェアをインストールした場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。(➞P.8-14)

クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストール方法には、ローカルインストールとダウンロードインストールがあります。

■ ローカルインストール（→P.3-66）

付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールします。

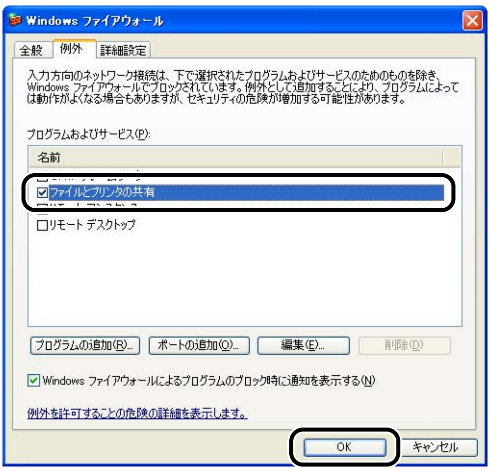
■ ダウンロードインストール

付属の CD-ROM を使わずに、プリントサーバからプリンタドライバをダウンロードしてインストールします。ダウンロードインストールには以下の 2 種類があります。

- ［プリンタの追加ウィザード］からインストールする（→P.3-71）
- ［エクスプローラ］からインストールする（→P.3-74）

重要

- Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ずAdministrators のメンバとしてログオンしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合、以下の設定を行ってください。クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。
  1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［Windows ファイアウォール］をクリックします。
  2. ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。



メモ

- クライアントは、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 のどちらでも利用できます。
- プリントサーバが Windows 98/Me の場合、Windows 2000/XP/Server 2003 へのダウンロードインストールはできません。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

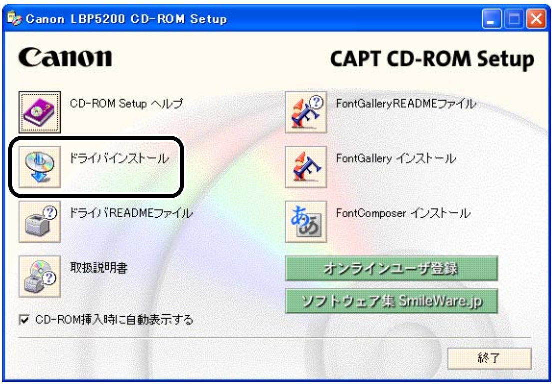
1 付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要　CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAC3MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

2 ［ドライバインストール］をクリックします。



言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

3 言語を確認し、［はい］をクリックします。



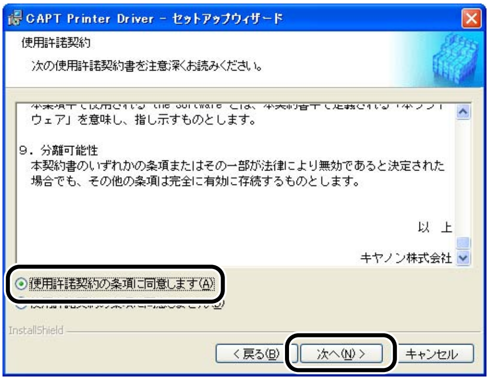
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。



［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

5 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。



6 [USB接続でドライバをインストールする]にチェックマークが付いている場合は、チェックマークを外してから、[次へ] をクリックします。



メモ　[USB 接続でドライバをインストールする] は選択しないでください。

7 [ポートの設定] の [ネットワーク] を選択して、[設定] をクリックします。



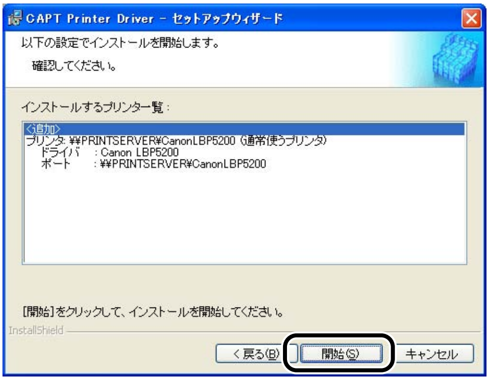
8 プリントサーバのディレクトリを選択して、[OK] をクリックします。



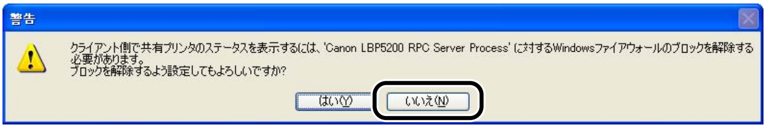
9 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



10 [開始] をクリックします。

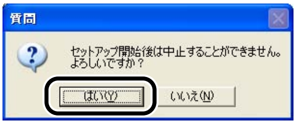


Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、［いいえ］をクリックします。



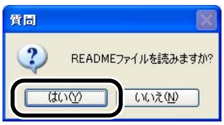
［はい］は、インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合にのみ選択してください。

11 「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

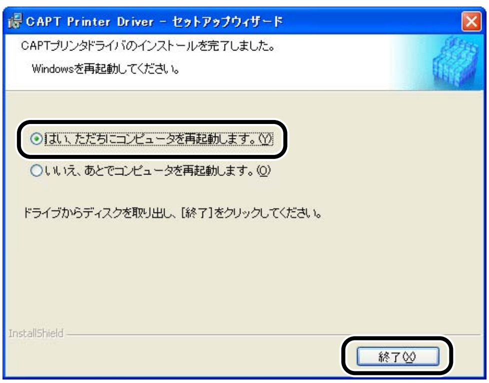


プリンタドライバのインストールが開始されます。

12 「READMEファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、READMEファイルの内容を確認したあと閉じます。



13 インストール完了の画面が表示されますので、［はい、ただちにコンピュータを再起動します。］を選択し、［終了］をクリックします。



Windowsが再起動します。

［プリンタの追加ウィザード］からインストールする

1 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

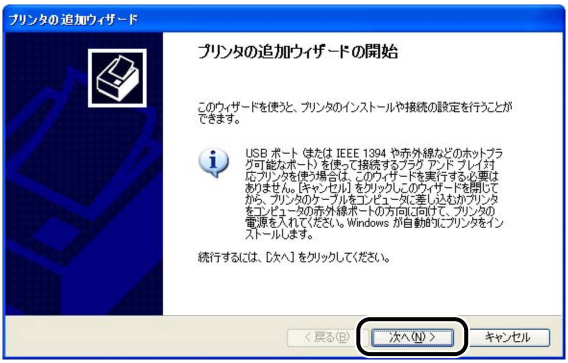
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 ［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
Windows XP Professional/Home Edition の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

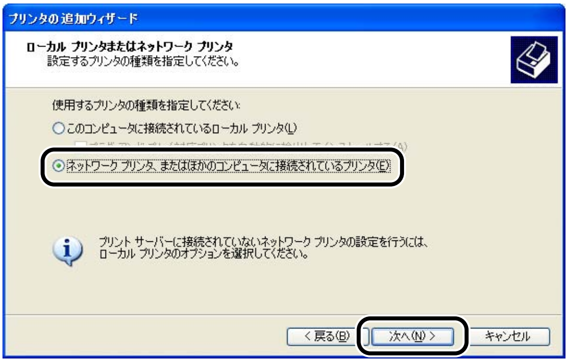
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。



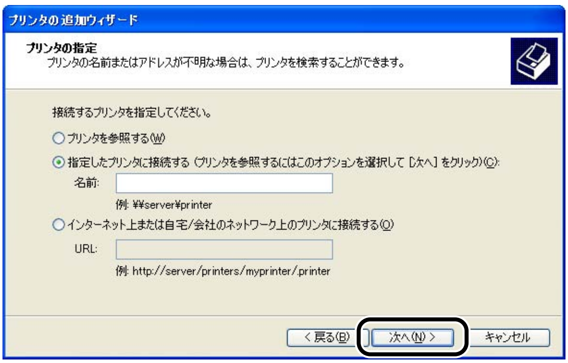
4 ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98/Me/2000の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

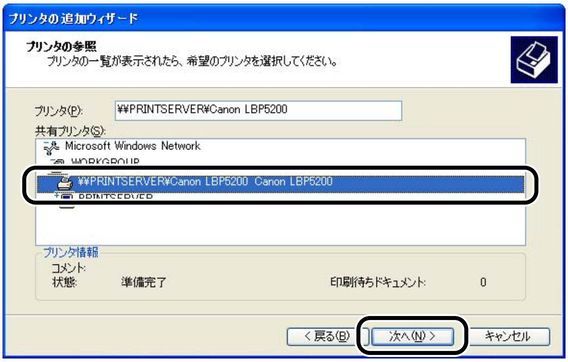


5 ［次へ］をクリックします。

Windows 98/Meの場合は、［参照］をクリックします。

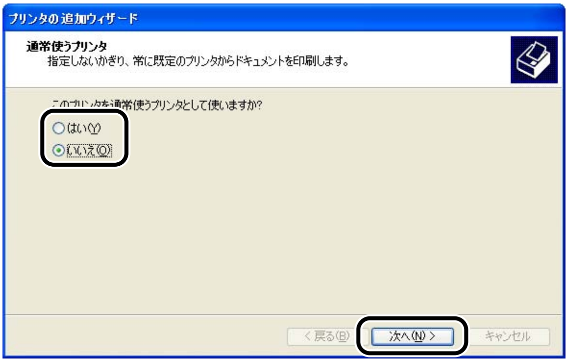


6 プリントサーバのディレクトリを選択して、[次へ] をクリックします。



Windows 98/Me の場合は、手順 8 へ進みます。

7 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。



8 ［完了］をクリックします。



メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

［エクスプローラ］からインストールする

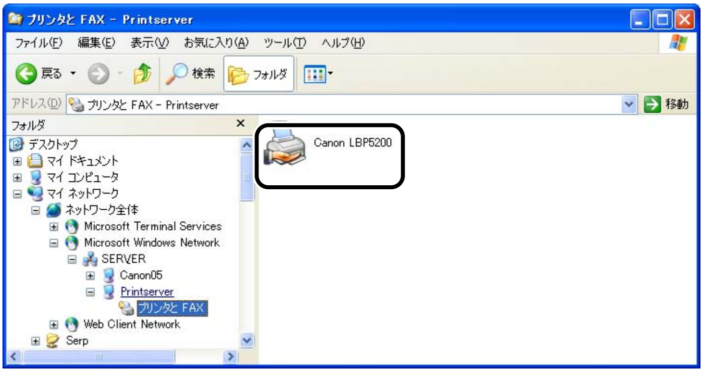
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を選択します。

Windows Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を選択します。
Windows 98 の場合は、［スタート］メニューから［プログラム］→［エクスプローラ］を選択します。

［エクスプローラ］ダイアログボックスが表示されます。

2 [マイ　ネットワーク]（Windows 98 の場合は [ネットワークコンピュータ]）からプリントサーバを選択し、本プリンタのアイコンをダブルクリックします。

または、本プリンタのアイコンを［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップします。



3 画面の指示に従って操作してください。

CAPT ソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

重要
- プリンタドライバが Administrators の権限で Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータを使用している場合、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページに本プリンタが登録されています。
  アンインストーラでCAPTソフトウェアのアンインストールを行なうことで、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページの本プリンタの設定も削除されます。

メモ
Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 **次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。**
- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

2 **[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Printer Uninstaller] → [Canon LBP5200 Uninstaller] を選択します。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、[スタート] メニューから [プログラム] → [Canon Printer Uninstaller] → [Canon LBP5200 Uninstaller] を選択します。

[プリンタの削除] ダイアログボックスが表示されます。

3 **本プリンタを選択します。**

4 [削除] をクリックします。



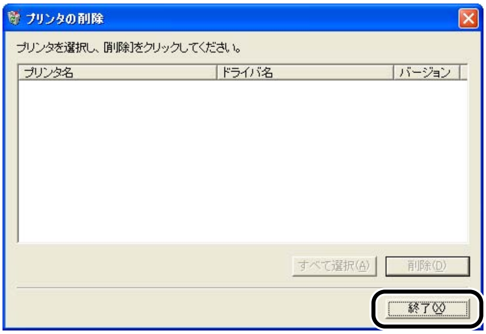
確認メッセージが表示されます。

5 [はい] をクリックします。



アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

6 [終了] をクリックします。



[プリンタの削除] ダイアログボックスが閉じます。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」(➞P.7-41) を参照してください。

Windows から印刷するには

4
CHAPTER

この章では、印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。
Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

印刷前のプリンタ情報設定

印刷前に、ペーパーフィーダの設定をしてください。

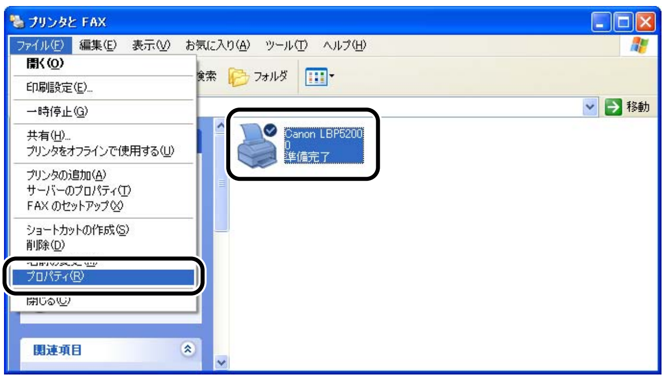
1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。



［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

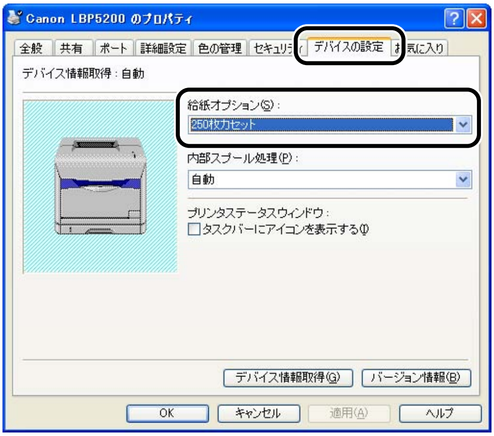
2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

3 **［デバイスの設定］ページを表示して、［給紙オプション］で［250 枚カセット］を選択します。**



メモ ［デバイス情報取得］をクリックして、ペーパーフィーダなどのデバイス情報を自動的に取得することもできます。

4 **［OK］をクリックします。**

アプリケーションソフトから印刷する

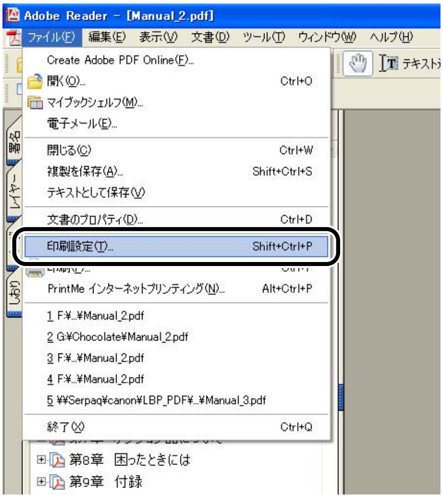
CAPT ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 **手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。（手差しトレイから印刷する →P.2-25、給紙カセットから印刷する →P.2-15）**

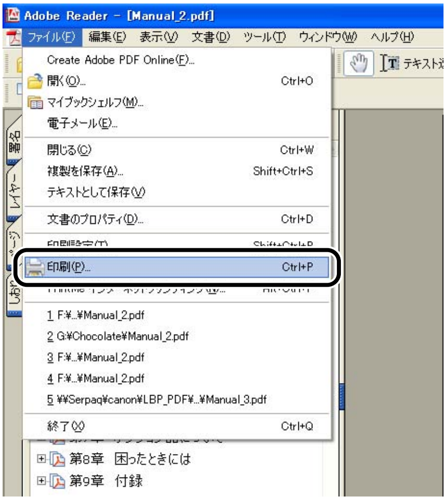
2 **印刷する PDF ファイルを Adobe Reader で開き、[ファイル] メニューから［印刷設定］を選択します。**



3 印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定して［OK］をクリックします。

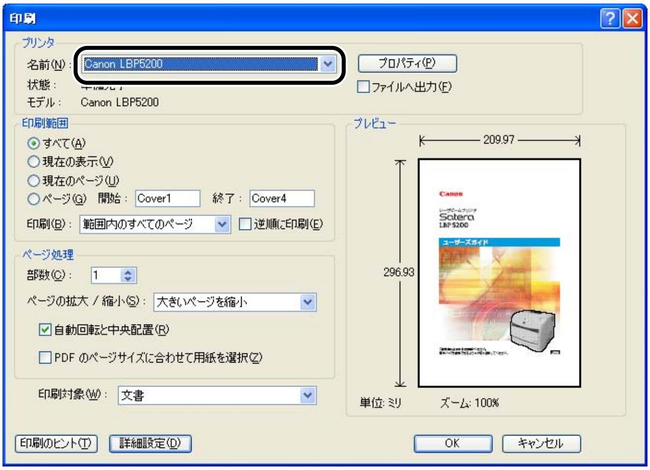


4 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。



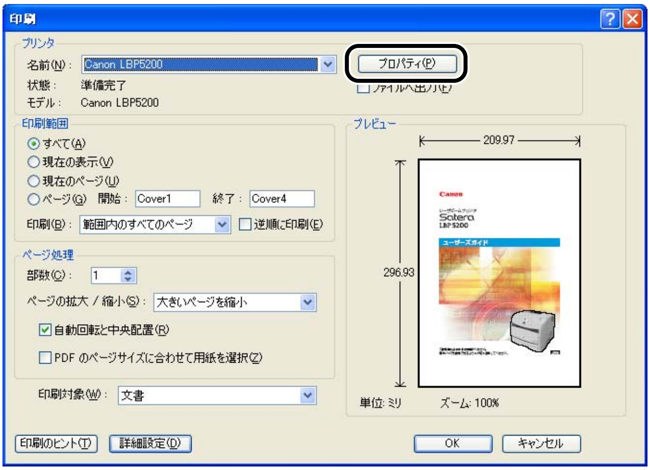
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、印刷条件を設定します。



メモ　ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 98/Me/2000 の場合は、［プリンタ］フォルダ）で変更することができます。

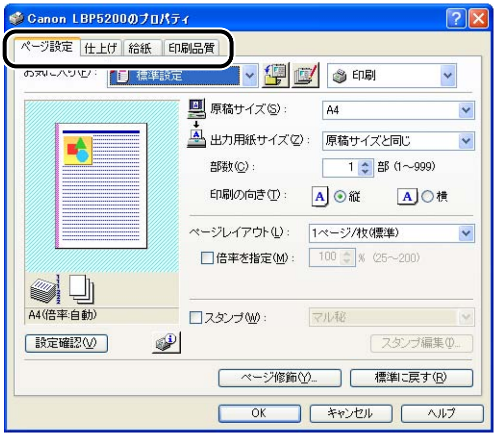
6 さらに詳しい印刷条件を設定したい場合は、［プロパティ］をクリックします。



［Canon LBP5200 のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　ドキュメントプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

7 ［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の各ページで印刷条件を設定します。

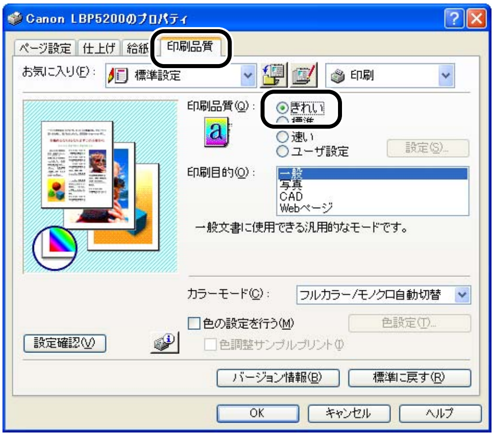


メモ

- ここで設定した内容は、現在開いているファイルに対してのみ有効です。ドキュメントプロパティの内容は、印刷するたびに確認してください。特に、［ページ設定］ページと［給紙］ページの内容を確認することをおすすめします。
- すべてのファイルに対しての初期設定は、以下のダイアログボックスで行うことができます。
  - ･Windows 98/Meの場合：［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを開いて行います。（➞［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する：P.4-12）
  - ･Windows 2000/XP/Server 2003の場合：［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを開いて行います。（➞［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する：P.4-17）

8 きれいに印刷をしたいときは、[印刷品質] ページを表示して、[印刷品質] で [きれい] を選択します。

[標準] を選択したときよりも印刷時間はかかりますが、きれいに印刷することができます。



9 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

10 [OK] をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ

- 正常に印刷できないときは、「第 7 章　困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」（➞P.4-21）では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

印刷条件を設定する

LBP5200 では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示させ、それぞれのダイアログボックスにある各ページの機能を設定します。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

Windows 98/Me の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

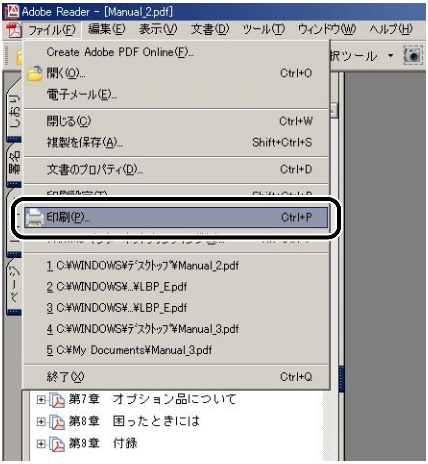
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタの各種設定をしたり、すべてのジョブに対しての初期設定を指定したりすることができます。

メモ プリンタの各種設定をする［デバイスの設定］ページは、「［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」（➞P.4-12）の手順でのみ表示可能です。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

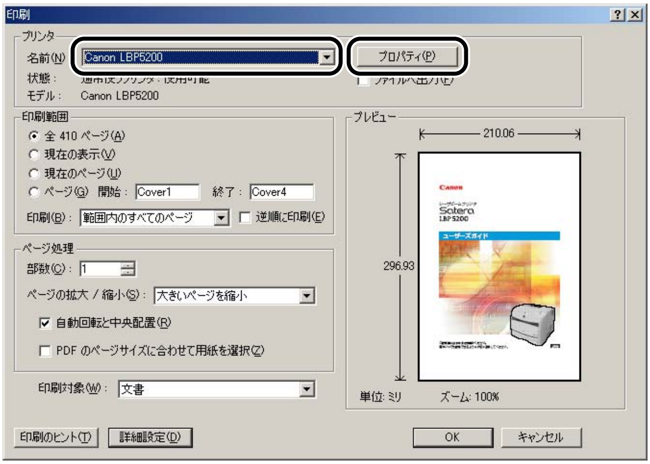
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。



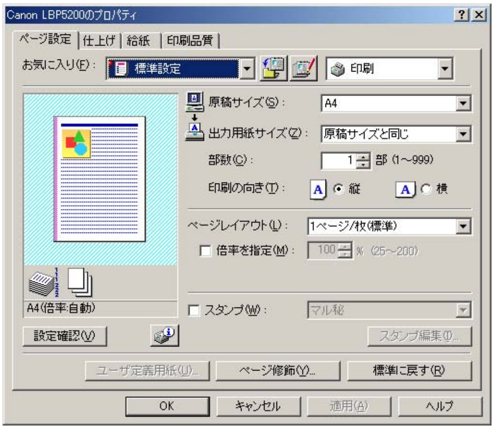
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

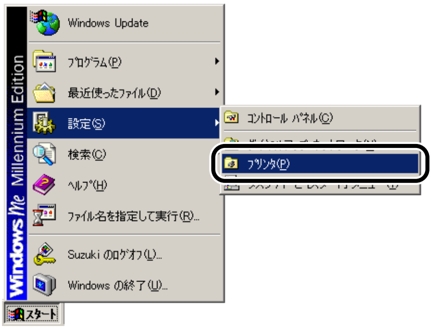


［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



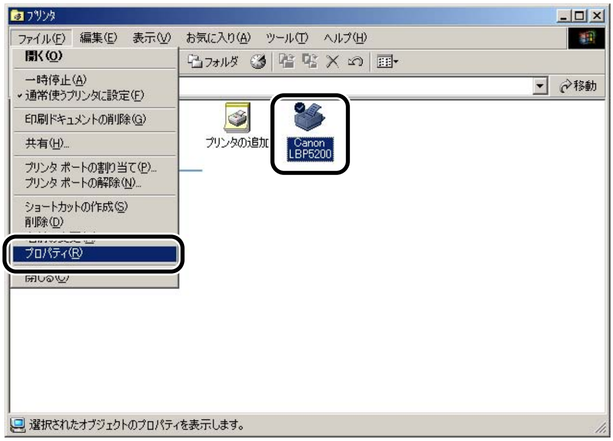
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

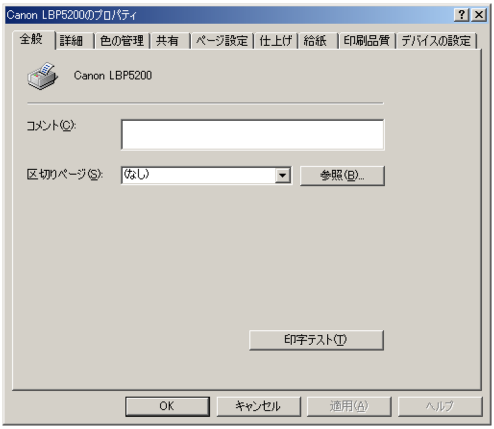


［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。



[プリンタプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



メモ　[プリンタプロパティ] ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択しても表示できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。
［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべてのジョブに対しての初期設定を指定することができます。
［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタの各種設定やよく使う機能をお気に入りとして登録することができます。

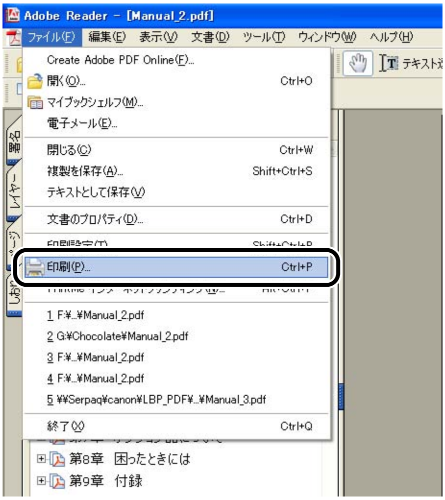
メモ

- ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの設定は、プリンタのフルコントロールアクセス権を持っている必要があります。［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトから表示してください。
- プリンタの各種設定をする［デバイスの設定］ページは、「［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」（➞P.4-18）の手順でのみ表示可能です。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

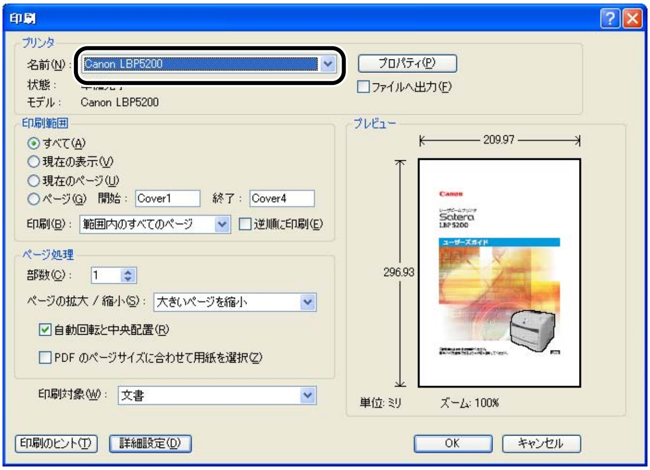
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。



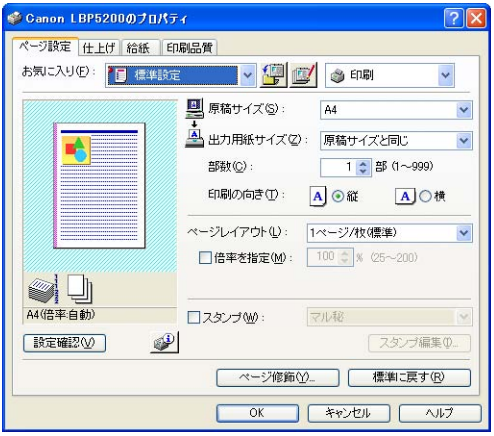
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 プリンタ名を確認し、[プロパティ] をクリックします。



[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダから [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスを表示する

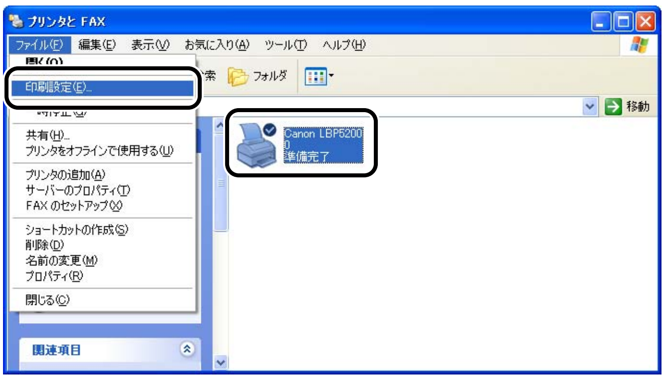
1 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] ➞ [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➞ [プリンタと FAX] の順にクリックします。

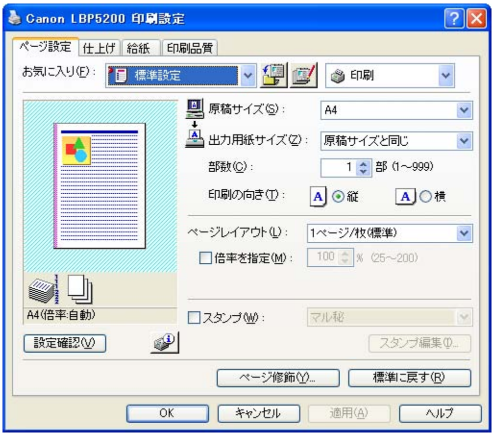


[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから、[印刷設定] を選択します。



［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



メモ　［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても表示できます。

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

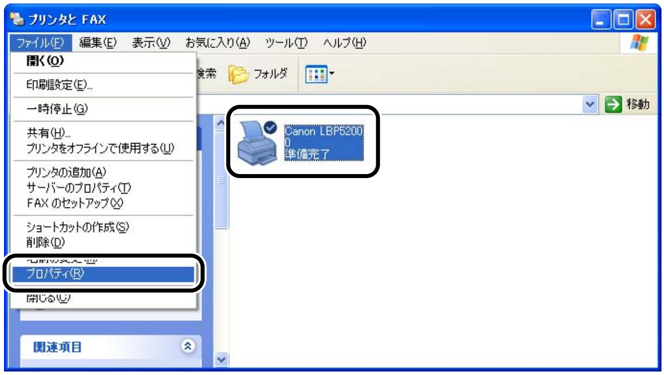
1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。



［プリンタ FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

印刷を中止する

本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。

メモ　Macintoshをお使いの場合は、オンラインマニュアル「第3章基本的な印刷機能」を参照してください。

1 印刷を開始します。

プリンタステータスウィンドウが表示されます。

メモ　プリンタステータスウィンドウの［環境設定］メニューの［プリンタステータスウィンドウの表示］の設定によっては、プリンタステータスウィンドウが表示されない場合があります。（→ 環境設定メニューについて：P.4-71）

2 ツールバーで行いたい操作のボタンをクリックします。



● **印刷を中止する**

❏ ［　］（印刷中止）をクリックします。

● **印刷を一時停止する**

❏ ［　］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

❏ ［　］（再開）をクリックします。

いろいろな印刷機能を使用する

ここでは、Windows をお使いの場合のいろいろな印刷機能を説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

プリンタドライバのページについて

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページのタブをクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

■ Windows 98/Me の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［詳細］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［色の管理］ページ
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
  - ・［デバイスの設定］ページ

■ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ

- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ·［全般］ページ
  - ·［共有］ページ
  - ·［ポート］ページ
  - ·［詳細設定］ページ
  - ·［色の管理］ページ
  - ·［セキュリティ］ページ
  - ·［デバイスの設定］ページ
  - ·［お気に入り］ページ

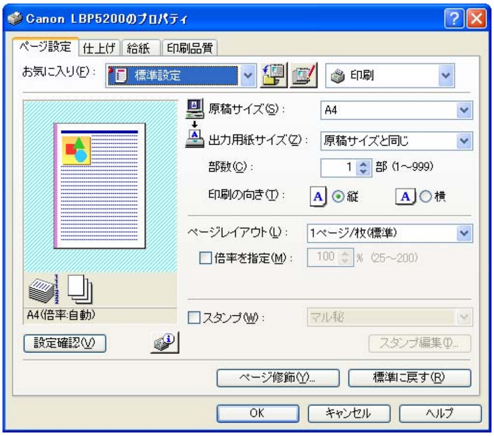
メモ

操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは次の方法で表示できます。表示したオンラインヘルプを閉じるときはオンラインヘルプ内をクリックします。

- ·コンピュータのキーボードの［Tab］キーを押して表示させたい項目を選択し、［F1］キーを押します。
- ·表示させたい項目を右クリックし、ポップアップメニューの［ヘルプ］をクリックします。
- ·［タイトルバー］の［?］（ヘルプ）をクリックし、［?］のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。

[ページ設定] ページ

[ページ設定] ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 原稿サイズ

[原稿サイズ] プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる [原稿サイズ] は以下のとおりです。

- 定形サイズの用紙 (A3 サイズ〜 A5 サイズ、リーガルサイズ〜エグゼクティブサイズ)
- はがき
- 封筒 (洋形 4 号、洋形 2 号)
- ユーザ定義用紙 (→P.4-48)

■ 出力用紙サイズ

[出力用紙サイズ] プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

選択できる [出力用紙サイズ] は以下のとおりです。

- 原稿サイズと同じ
- 定形サイズの用紙 (A4 サイズ〜 A5 サイズ、リーガルサイズ〜エグゼクティブサイズ)
- はがき
- 封筒 (洋形 4 号、洋形 2 号)
- ユーザ定義用紙 (→P.4-48)

メモ

- [原稿サイズ] と同じサイズの用紙に印刷する場合は、[原稿サイズと同じ] を選択してください。
- [原稿サイズ] と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
- [原稿サイズ] が A3 または B4 のとき、[出力用紙サイズ] を [原稿サイズと同じ] に設定した場合は、原稿を縮小して、A4 の用紙 (デフォルト) に印刷します。
- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、[ページ設定] ページで設定する必要はありません。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力します。設定できる部数は、1 ～ 999 部です。

■ 印刷の向き

印刷する用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。

［印刷の向き］で［縦］または［横］をクリックします。

■ ページレイアウト（→P.4-38）

- N ページ／（枚）
  1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。
  選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。
  2、4、6、8、9、16 ページ／枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示され、ページを並べる順番を選択できます。
- ポスター
  1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。
  選択できる分割ページ数は、2 × 2、3 × 3、4 × 4 のいずれかです。

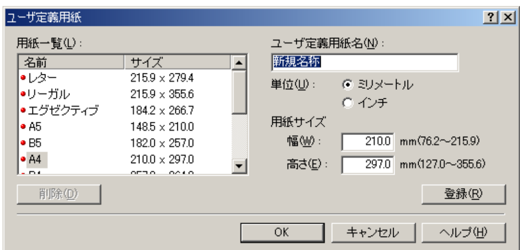
■ 倍率を指定／配置順（→P.4-40）

［ページレイアウト］で 1 ページ／枚を選択しているときは［倍率を指定］が表示されます。2、4、6、8、9、16ページ／枚を選択しているときは［配置順］が表示されます。

- 倍率を指定：［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。倍率を任意に設定する場合は、［倍率を指定］を選択し、スピンボックスの数値を変更します。設定できる倍率は 25 ～ 200% です。
- 配置順：1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷するとき、ページを並べる順番を選択できます。

■ ユーザ定義用紙（Windows 98/Me のみ）（→P.4-48）

このダイアログボックスで、印刷に使用する定形サイズ以外のユーザ定義用紙の幅と高さを設定します。
LBP5200 では、任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を 30 個まで設定できます。



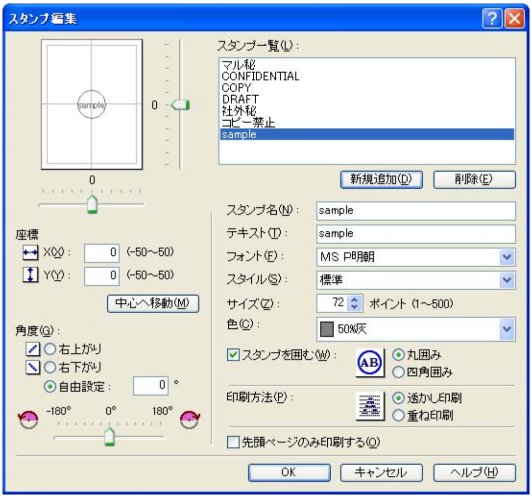
■ スタンプ（→P.4-43）

原稿にスタンプを重ね合わせて印刷するかしないかを設定できます。

■ スタンプ編集（→P.4-45）

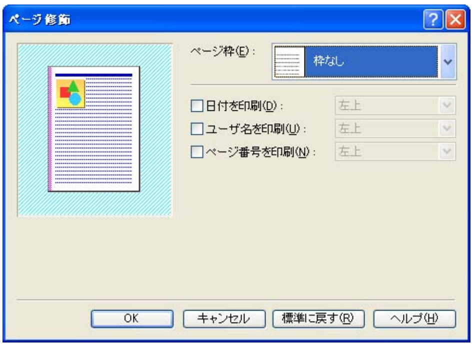
［スタンプ編集］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しくスタンプを登録したり、登録済みのスタンプの設定項目を編集することができます。



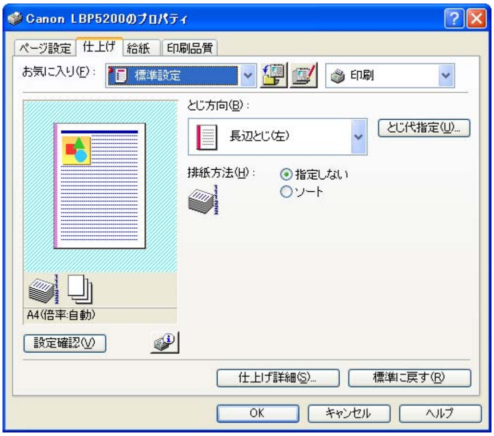
■ ページ修飾（→P.4-50）

［ページ修飾］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでは、出力する用紙に印刷する枠、日付、ページ番号などを設定します。



[仕上げ] ページ

[仕上げ] ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ とじ方向（→P.4-52）

印刷原稿のとじかた (どの辺をとじるか) を設定します。

■ とじ代指定（→P.4-52）

[とじ代指定] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、とじ代の幅と画像の処理方法を設定します。



■ 排紙方法

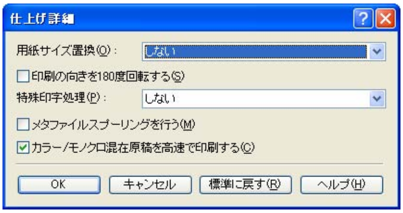
排紙方法を以下の項目から設定します。

- 指定しない：ページごとに指定された部数を印刷します。
- ソート：ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。

■ 仕上げ詳細（→P.4-53）

［仕上げ詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷処理に適用するさまざまな項目を設定します。



- ［メタファイルスプーリングを行う］（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）では、スプールファイルの形式を設定します。
  チェックマークがついているときはメタファイル形式、ついていないときは RAW 形式でスプールされます。
  ネットワークプリンタとして設定しているときは常に RAW形式でスプールされます。

［給紙］ページ

［給紙］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 給紙方法（→P.4-54）

給紙方法を以下の項目の中から選択することができます。

- 全ページを同じ用紙に印刷
- 最初と最後の用紙を指定して印刷
- 最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷
- OHP フィルムの間に用紙をはさむ

■ 給紙部（→P.4-54）

用紙の給紙方法を設定します。

［給紙方法］で選択した項目に応じて各ページの用紙を指定します。

■ 用紙タイプ

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。
次のように設定してください。

用紙の種類	ドライバの設定
普通紙（64 - 105g/m^2）	［普通紙］
厚紙（106 - 135g/m^2）	［厚紙］
OHP フィルム	［OHP フィルム］
はがき	［厚紙］
封筒（洋形４号、洋形２号）	［封筒］
ラベル用紙	［普通紙］＊

＊ ラベル用紙の用紙タイプの設定は、通常［普通紙］に設定してください。［普通紙］に設定して印刷したときに定着性が悪い場合は、［厚紙］に設定してください。［厚紙］に設定しても定着性が向上しない場合は、［特殊印字処理］（［仕上げ］ページ➞［仕上げ詳細］）を［特殊設定 7］に設定してください。

■ 手差しから印刷する場合に一時停止する

手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。

■ 手差しで続けて印刷する

カセット 1 からの給紙中に用紙がなくなったとき、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

［印刷品質］ページ

［印刷品質］ページでは、次の印刷条件を設定できます。



■ 印刷品質（→P.4-55）

印刷の品質をどのようにするかを［きれい］、［標準］、［速い］、［ユーザ設定］から選択します。

［きれい］を選択すると、印刷速度は遅くなりますが印刷のきれいさを優先して印刷します。［速い］を選択すると印刷の品質を落として印刷速度を速くして印刷します。［ユーザ設定］選択すると、［設定］ボタンが有効になり、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスを表示し、印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。

■ 印刷目的（→P.4-55）

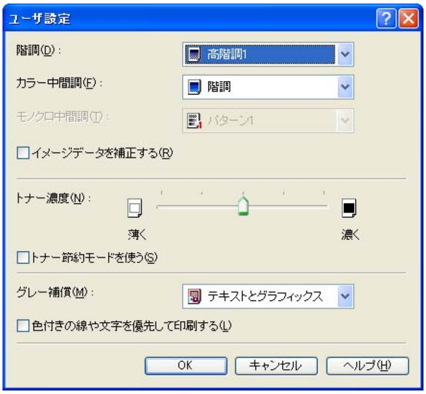
原稿の内容に合わせて以下の項目から適切な印刷目的を選択すると、内容に合った最適な設定で印刷を行うことができます。

- 一般：一般の文書や表の印刷に適したモードで印刷します。
- 写真：写真画像やグラフィックスなどが混在した文書の印刷に適したモードです。より画面に近い印刷結果が得られます。
- CAD：色付きの細い線などの印刷に適したモードです。写真画像やグラフィックスを濃い目に印刷するため、細い線がより明瞭に印刷されます。
- Web ページ：Web ページ上のイラストなどの印刷に適したモードです。通常印刷では粗くなったり、ギザギザになったりする低解像度のイメージデータをなめらかに印刷します。

■ 設定（→P.4-55）

［設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。



重要
- トナー節約モードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。
- トナー節約モードは、印字比率の低いデータでは効果がありませんので、イメージ（写真）が貼りつけられているデータなど、印字比率の高いデータを大量に印刷する場合に設定してください。

■ カラーモード（→P.4-57）

カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。

■ **色の設定を行う（→P.4-58）**

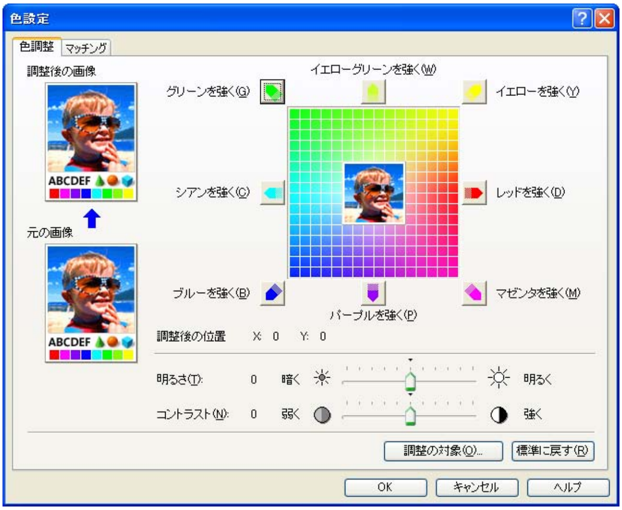
独自のカラーモードを設定するときにチェックマークを付けます。カラーモードを詳細設定するには、［色設定］をクリックして［色設定］ダイアログボックスを表示します。

■ **色設定（→P.4-58）**

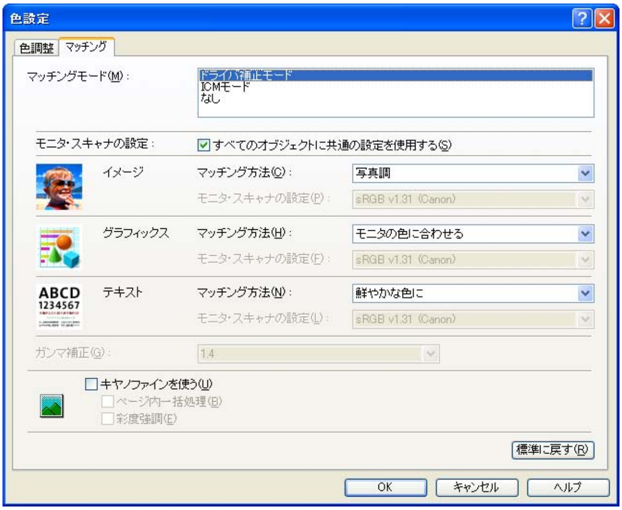
［色設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには［色調整］ページと［マッチング］ページがあります。

- ［色調整］ページ
  このページでは、印刷するときの色の調整や、明るさ、コントラストを設定します。



- ［マッチング］ページ
  このページでは、原稿を印刷するときの色補正の処理方法を設定します。
  プリンタドライバ側で色補正を行う場合は、イメージデータ、グラフィックスデータ、テキストデータのそれぞれに対して補正を行うことができます。色補正を行わない場合は、原稿の明るさを調節するガンマ補正を設定します。
  また、Windows 2000/XP/Server 2003 ではキヤノファインを使って印刷することもできます。



■ **色調整サンプルプリント（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）**

［色設定］をクリックしたときに表示される［色調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に調整後の画像が印刷され、調整後の画像の周りに色味をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。

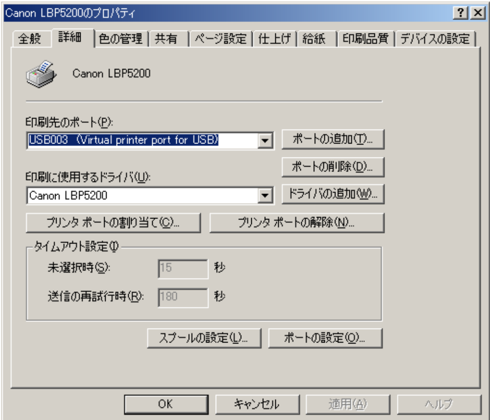
［全般］ページ

プリンタ名が表示されます。プリンタの印字テストをすることができます。



[詳細] ページ（Windows 98/Me のみ）

プリンタポートの設定やドライバの追加、スプールの設定などができます。

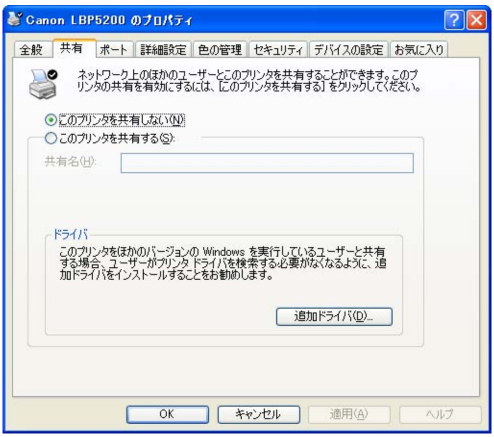


[共有] ページ

プリンタを共有するかしないかを設定できます。

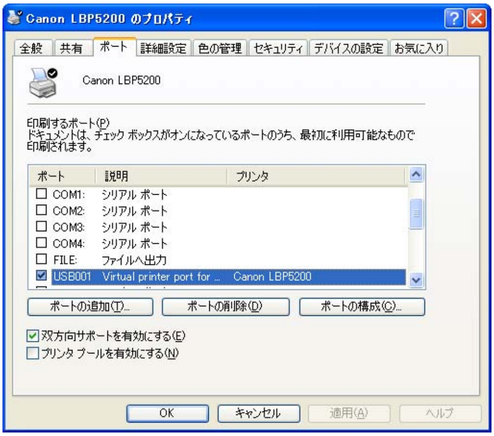
メモ

- Windows 98/Me の場合は、ネットワークの設定で［Microsoft ネットワーク共有サービス］の追加を行っていないときは、［共有］ページは表示されません。(➞P.3-55)
- Windows 2000/XP/Server 2003の場合は、ネットワークの設定を行っていないときは、［共有］ページは表示されません。(➞P.3-59)



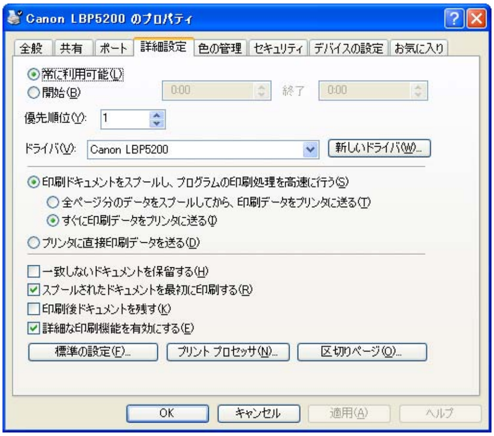
[ポート] ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

プリンタポートの追加、削除、構成などができます。



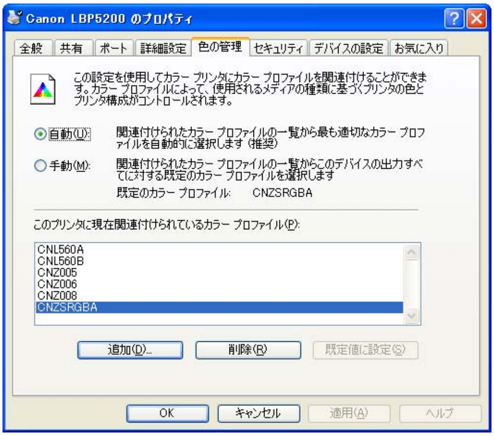
[詳細設定] ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

プリンタの利用可能時間、スプールの処理など詳細な設定ができます。



[色の管理] ページ

プリンタのカラープロファイルの設定ができます。



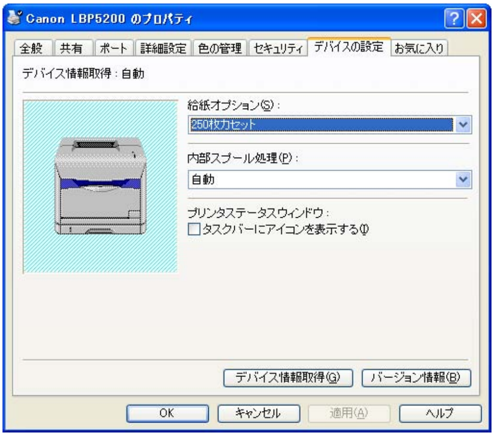
[セキュリティ]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003のみ)

ログオンユーザー名ごとのアクセス許可の状況が確認できます。



［デバイスの設定］ページ

［デバイスの設定］ページでは、プリンタの給紙オプションやプリンタステータスウィンドウの表示のしかたなどを設定できます。



■ **給紙オプション（→P.4-3）**

［250 枚カセット］を選択します。

■ **内部スプール処理（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）**

内部スプール処理を行うかどうかを設定します。

■ **タスクバーにアイコンを表示する（→P.4-70）**

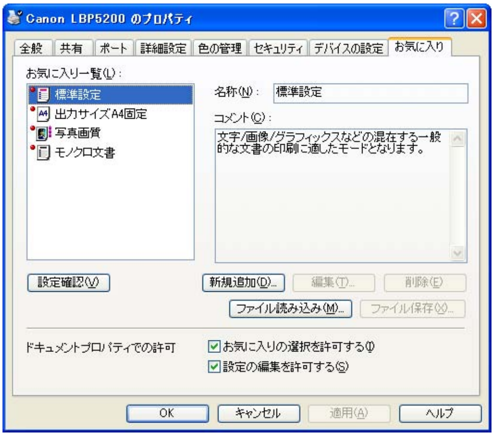
この項目にチェックマークを付けると、Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウを起動するためのアイコンが追加されます。

■ **デバイス情報取得**

［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタからデバイス情報などが自動的に取得され、プリンタドライバの設定値に反映されます。

[お気に入り] ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

新しい「お気に入り」を追加したり、すでに登録済みの「お気に入り」を編集することができます。



■ お気に入り一覧

「お気に入り」として登録されている項目を一覧表示します。

■ 名称

[お気に入り一覧] で選択されている項目の名前を表示します。

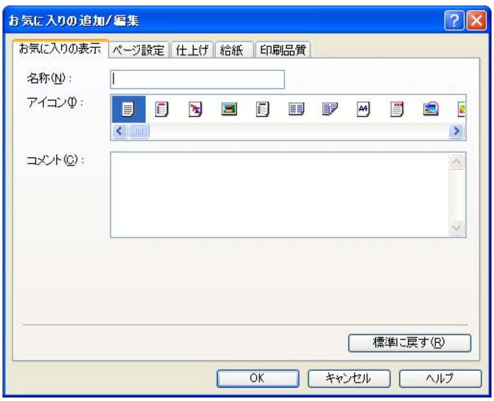
■ コメント

[お気に入り一覧] で選択されている項目に対するコメントを表示します。

■ 新規追加（→P.4-61）

[新規追加] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の名前、アイコン、コメントや印刷条件を設定します。



■ 編集（→P.4-64）

［編集］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の名前、アイコン、コメントや印刷条件を設定します。



■ 削除（→P.4-64）

登録した「お気に入り」を削除します。

■ ファイル読み込み（→P.4-64）

ファイルとして保存した「お気に入り」を読み込んでプリンタドライバに登録することができます。

■ ファイル保存（→P.4-64）

登録または編集した「お気に入り」をファイルとして保存することができます。

■ お気に入りの選択を許可する

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスで「お気に入り」を選択できるようになります。

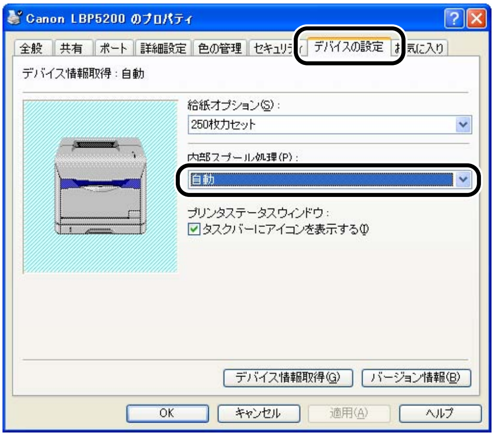
■ 設定の編集を許可する

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスであらかじめ登録されている「お気に入り」の設定のほかに、さらに任意の設定を追加できるようになります。

用紙 1 枚に複数ページを印刷する

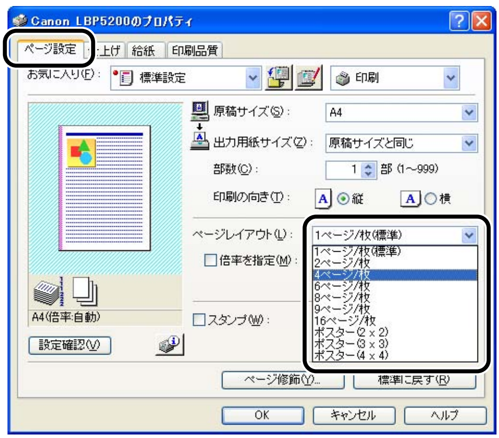
1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。

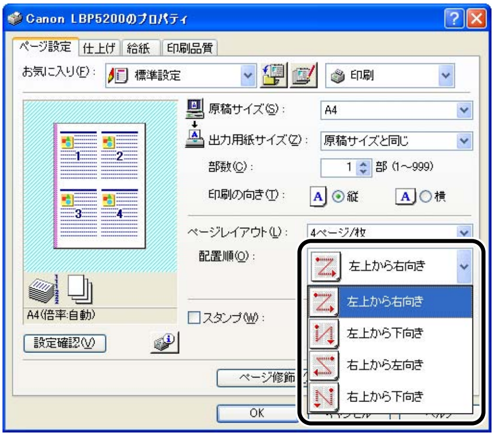


2 ［ページ設定］ページを表示し、［ページレイアウト］で 1 枚に収めるページ数を選択します。

選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。



3 2、4、6、8、9、16ページ／枚を選択すると、[配置順] が表示されます。ページを並べる順番を選択します。



メモ　[配置順] プルダウンメニューの選択肢は、印刷する用紙の向きや 1 枚に収めるページ数によって異なります。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

拡大／縮小して印刷する

［ページレイアウト］が［1 ページ／枚（標準)］に設定されているとき選択できます。

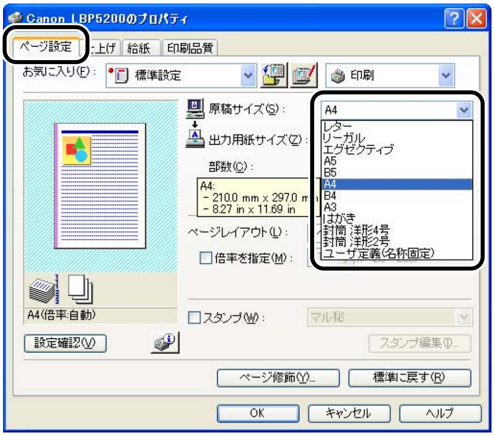
［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。

倍率を任意に設定することもできます。

設定できる倍率は 25 ～ 200% です。

自動で倍率を設定する

1 **［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。**



2 **［出力用紙サイズ］を指定します。**

3 **設定内容を確認し、［OK］をクリックします。**

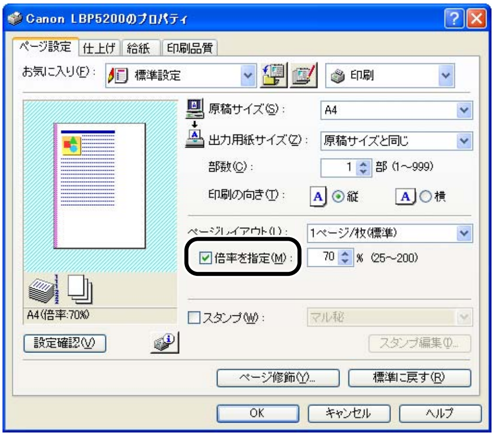
指定した［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

任意に倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。

2 ［出力用紙サイズ］を指定します。

3 ［倍率を指定］にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。

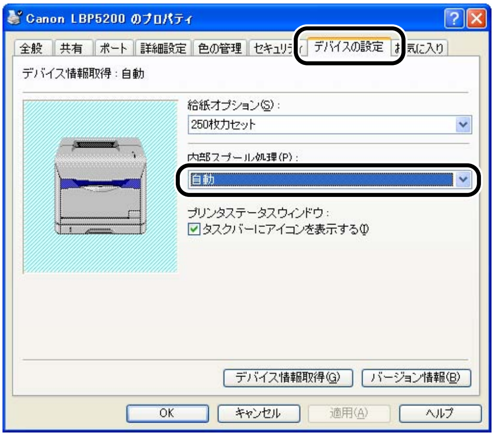


4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

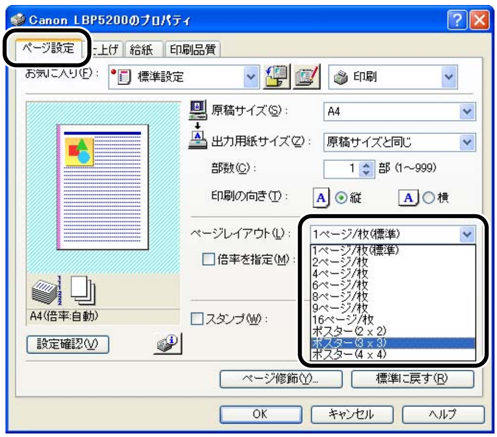
ポスター印刷を行う

1ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷することができます。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントを作成します。

1 Windows 2000/XP/Server 2003の場合、[デバイスの設定]ページを表示し、[内部スプール処理]から[自動]を選択します。



2 [ページ設定]ページを表示し、[ページレイアウト]から[ポスター(N x N)](N = 2、3、4)を選択します。



印刷後のレイアウトイメージがプレビュー画面に表示されます。

3 設定を確認し、[OK] をクリックします。

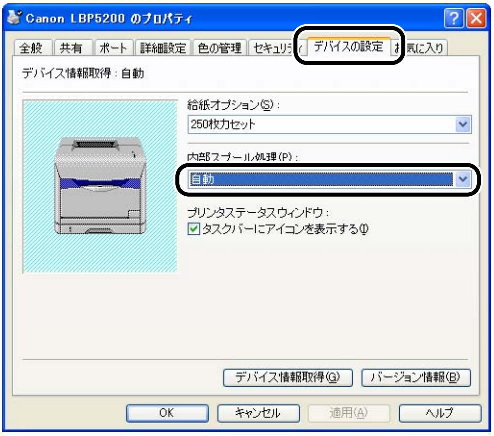
重要
- フェースダウンで排紙される場合、出力用紙（複数枚に分割された用紙）の印刷順序は、「左上から右方向」になります。
- ポスター印刷を行うときは、スタンプ印刷とページ修飾の機能は設定できません。
- ポスター印刷を行う場合、［配置順］の設定はできません。

スタンプを付けて印刷する

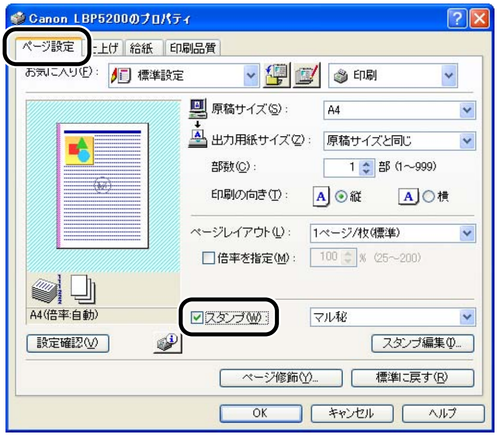
アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（「COPY」や「社外秘」などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。スタンプとして登録されている文字列のリストから使用する文字列を選択します。また、［ページ設定］ページの［スタンプ編集］をクリックして、新しいスタンプを登録したり、すでにあるスタンプを編集したりすることもできます。

スタンプを付けて印刷する

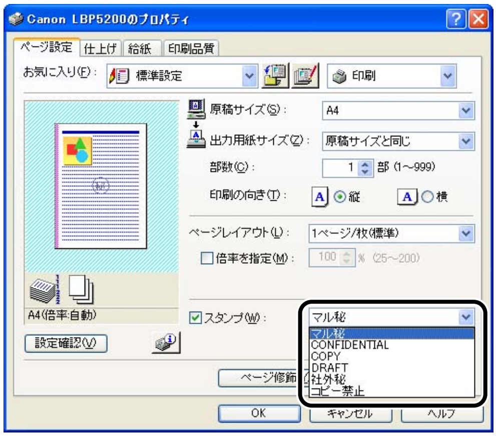
1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。



2 [ページ設定] ページを表示し、[スタンプ] にチェックマークを付けます。



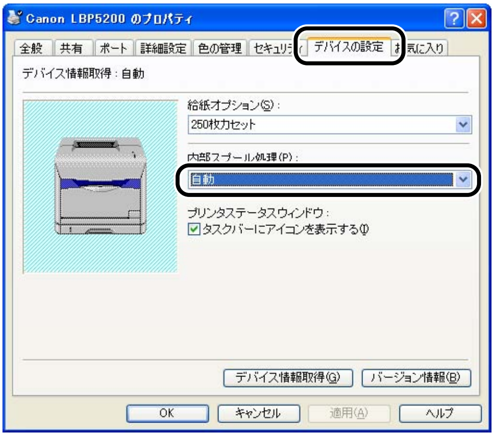
3 [スタンプ] の右側にあるリストから、スタンプとして印字する文字列を選択します。



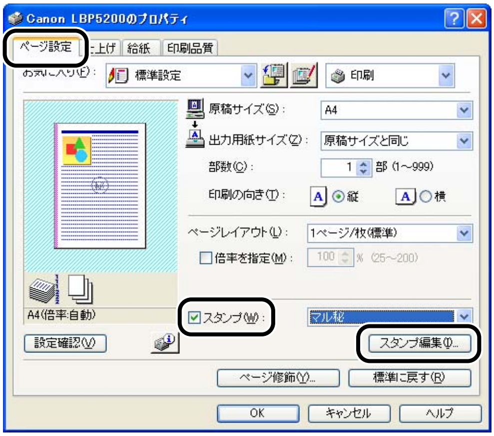
4 設定を確認し、[OK] をクリックします。

スタンプを編集する

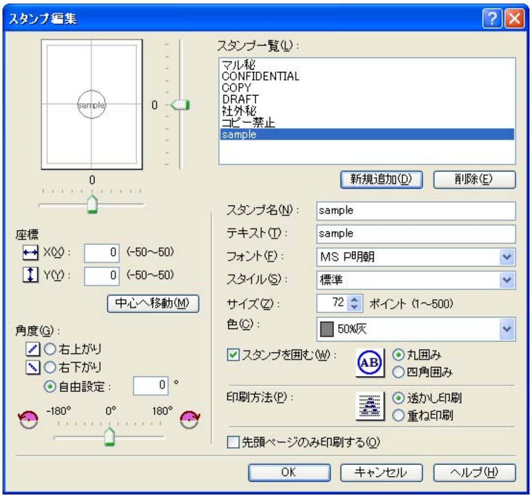
1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。



2 ［ページ設定］ページを表示し、［スタンプ］にチェックマークを付けて［スタンプ編集］をクリックします。



［スタンプ編集］ダイアログボックスが表示されます。



3 必要に応じて以下の項目を設定します。

［座標］：	スタンプを印字する位置を縦横それぞれ -50 ～ 50 の範囲で設定します。
［角度］：	スタンプを印字する角度を設定します。
［スタンプ名］：	新しいスタンプを登録するときに、［ページ設定］ページの［スタンプ］に表示するスタンプ名を入力します。
［テキスト］：	スタンプとして印刷する文字列を入力します。
［フォント］：	スタンプとして印刷する文字列のフォントの種類（TrueType フォントのみ）を選択します。
［スタイル］：	フォントのスタイルを選択します。
［サイズ］：	スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを設定します。
［色］：	スタンプとして印刷する文字列の色を選択します。
［スタンプを囲む］：	スタンプとして印刷する文字列の周囲に枠を付けるかどうかを設定します。
［印刷方法］：	スタンプの印刷方法を［透かし印刷］、［重ね印刷］の 2 種類から選択します。
［先頭ページのみ印刷する］：	スタンプを 1 ページ目だけに印刷する場合にチェックマークを付けます。

メモ
- 新しくスタンプを登録する場合は、［新規追加］をクリックします。
- あらかじめ登録されているスタンプの変更はできません。

4 設定を確認し、［OK］をクリックします。

［ページ設定］ページに戻ります。

ユーザ定義用紙（不定形用紙）を設定する

用紙サイズを任意に設定します。

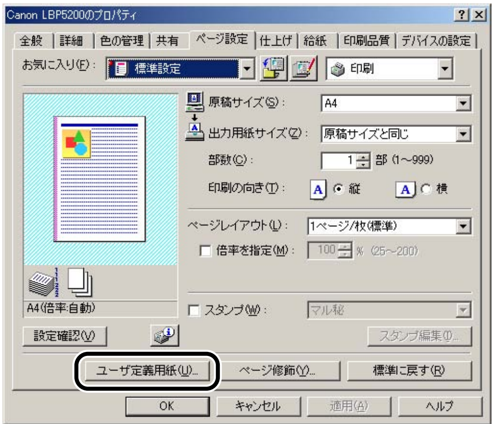
メモ

ユーザ定義用紙の設定は、以下のダイアログボックスを表示して行います。

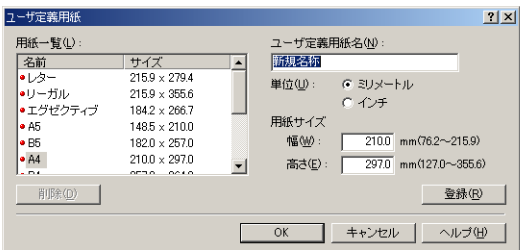
- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
  ［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000 は［プリンタ］フォルダ）から［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。
- Windows 98/Me の場合
  ［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

■Windows 98/Me の場合

1 ［ページ設定］ページを表示させ［ユーザ定義用紙］をクリックします。



［ユーザ定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[用紙一覧]：	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。
[ユーザ定義用紙名]：	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。最大で半角 31 文字（全角 15 文字）まで入力できます。
[単位]：	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。
[用紙サイズ]：	ユーザ定義用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

3 [登録] をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個までです。

4 設定を確認したら、[OK] をクリックします。

■Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

1 [プリンタと FAX]（Windows 2000 の場合は [プリンタ]）フォルダを表示させ、[ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] をクリックします。

[プリントサーバーのプロパティ] が表示されます。

2 [用紙] ページを表示させ、[新しい用紙を作成する] を選択し、必要に応じて以下の項目を設定します。



余白の数値は、必ず0.5cm～5.0cmに設定してください。

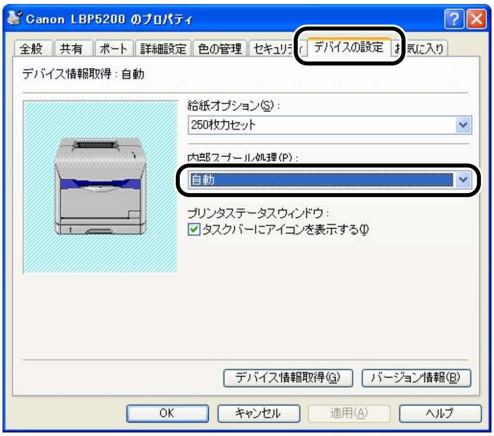
[用紙名]：	任意の名称を入力できます。（Windows 2000 の場合は［用紙の説明］と表示されます。）
[単位]：	［メートル法］か［ヤードポンド法］を選択します。
[用紙サイズ]：	ユーザ定義用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。本プリンタでの有効設定値は幅 7.62 ～21.59cm、高さ 12.70 ～ 35.56cm です。
[余白]：	数値を直接入力します。本プリンタでの有効設定値は 0.5cm 以上、5.0cm 以下です。

3 **設定を確認したら［用紙の保存］をクリックし、［閉じる］をクリックします。**

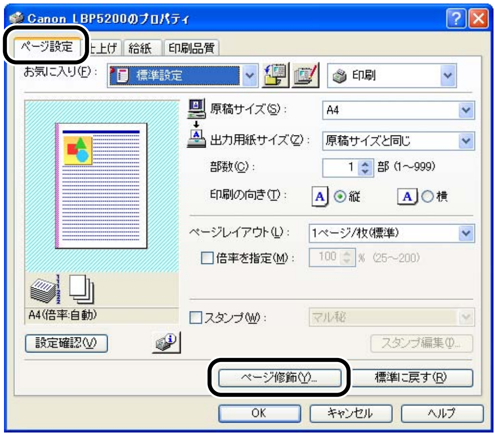
ページに枠や日付を付けて印刷する

出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷します。

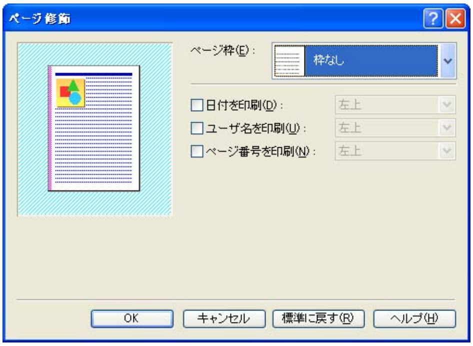
1 **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。**



2 ［ページ設定］ページを表示させ［ページ修飾］をクリックします。



［ページ修飾］ダイアログボックスが表示されます。



3 必要に応じて以下の項目を設定します。

［ページ枠］：　用紙の周囲に印刷するページ枠の種類を選択します。

［日付を印刷］：　日付を印刷します。印刷する位置をリストから指定します。

［ユーザ名を印刷］：　コンピュータに登録されているユーザ名を印刷します。印刷する位置をリストから指定します。

［ページ番号を印刷］：　ページ番号を印刷します。印刷する位置をリストから指定します。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［ページ設定］ページに戻ります。

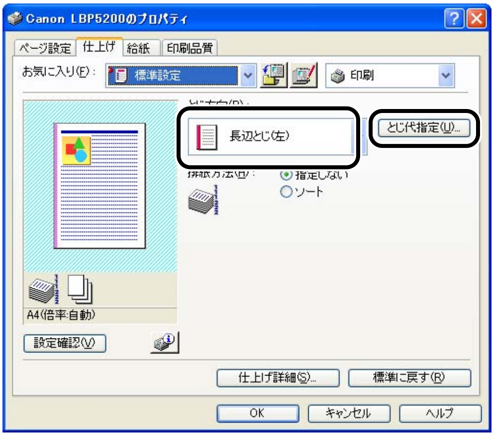
とじ代を付けて印刷する

出力する用紙にとじ代を付けて印刷することができます。とじ代として設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。

また、とじ代を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを設定することもできます。

---

1 **［仕上げ］ページを表示し、［とじ方向］でとじ代を付ける方向を設定し［とじ代指定］をクリックします。**



［とじ代指定］ダイアログボックスが表示されます。



2 **スピンボックスの数値を設定します。**

必要に応じて以下の項目を設定します。

［画像処理］： ［とじ代］を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。［縮小して配置］を選択すると、画像をずらすときに印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小します。［そのままずらす］を選択すると、画像を縮小しないでそのままずらします。画像が印字領域からはみ出した場合は、画像が欠けて印刷されます。

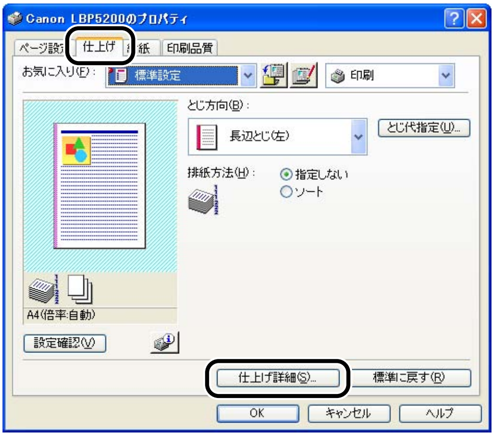
3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［仕上げ］ページに戻ります。

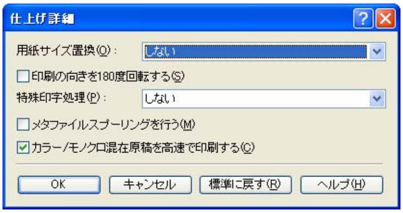
印刷の仕上げ方法を設定する

印刷処理に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［仕上げ詳細］をクリックします。



［仕上げ詳細］ダイアログボックスが表示されます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［用紙サイズ置換］：
レターサイズの原稿をA4サイズの用紙に印刷したり、A4サイズの原稿をレターサイズの用紙に印刷するときに設定します。

［印刷の向きを180度回転する］：
用紙を180度回転させて印字を行います。特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

［特殊印字処理］：
使用している用紙やプリンタの使用環境によって、印字品質が低下することがあります。この［特殊印字処理］には、いくつかの印字品質に関するトラブルを解決するための設定が用意されています。

［メタファイルスプーリングを行う］（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）：	印刷データを EMF（メタファイル）形式でスプールするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、EMF 形式でスプーリングが行われます。
［カラー / モノクロ混在原稿を高速で印刷する］：	カラーで作成したページとモノクロのみで作成したページが混在しているデータを印刷するときのプリンタの処理方法を設定します。 この項目にチェックマークを付けると、チェックマークを付けないときに比べてカラー / モノクロの混在原稿をより速く印刷できる場合があります。

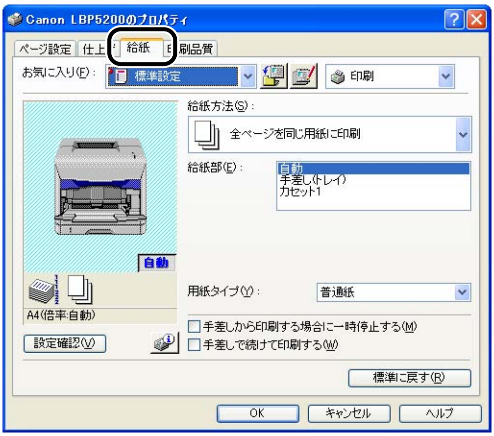
3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［仕上げ］ページに戻ります。

給紙方法を選ぶ

用紙の給紙方法に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 ［給紙］ページを表示させます。



2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［給紙方法］：	給紙方法を設定することができます。
［給紙部］： ・［最初のページ］ ・［2 枚目のページ］ ・［その他のページ］ ・［最後のページ］ ・［中差し用紙］	給紙元を選択することができます。また、［給紙方法］で選択した項目に応じて設定できる内容が異なります。

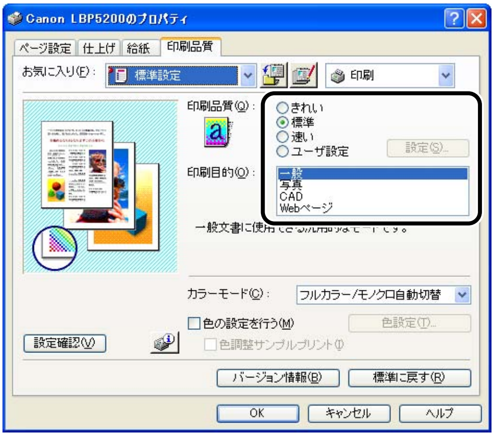
[用紙タイプ]：	プリンタで使用する用紙の種類を選択します。
[手差しから印刷する場合に一時停止する]：	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。
[手差しで続けて印刷する]：	カセット 1 からの給紙中に用紙がなくなったとき、給紙元を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

印刷の品質を設定する

[印刷品質] と [印刷目的] の中から項目を選択するだけで、原稿の内容に適した適切な印刷を行うことができます。

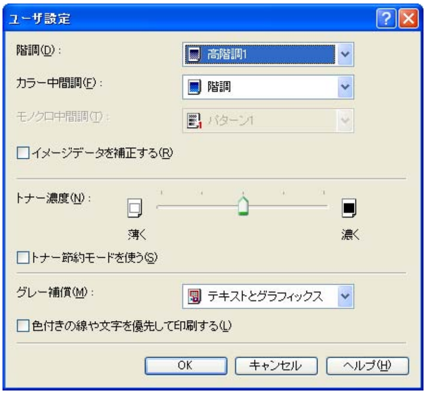
1 [印刷品質] ページを表示し、[印刷品質] と [印刷目的] を設定します。



4

Windowsから印刷するには

詳細な設定を行う場合は、［ユーザ設定］を選択して、［設定］ボタンをクリックします。



［ユーザ設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［階調］：中間調のデータを印刷するときの階調を設定します。

［カラー中間調］：カラーデータの中間調を印刷するときのディザパターンの種類を選択します。

［モノクロ中間調］：モノクロデータの中間調を印刷するときのディザパターンの種類を選択します。

［イメージデータを補正する］：写真やグラフィックスなどのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷する場合、本項目にチェックマークを付けてください。

［トナー濃度］：印刷するトナーの濃度を調節します。4 色（CMYK）すべてのトナーの濃度が調節されます。

［トナー節約モードを使う］：トナー節約機能を使用すると、データを間引いて印刷が行われるため印刷時のトナー使用量を節約することができます。

［グレー補償］：グレー補償を行うかどうかを設定します。グレー補償を行うと、黒色と灰色のデータが確実に黒色や灰色で印刷されます。リストからグレー補償の対象を選択します。

［色付きの線や文字を優先して印刷する］：色の付いた線や文字などがかすれたり、破線のように印刷される場合は、本項目にチェックマークを付けてください。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

色の設定をする

カラーモードを設定する

1 ［印刷品質］ページを表示させせます。

2 ［カラーモード］を設定します。

［モノクロ］：	カラーの原稿でも黒のみで印刷します。
［フルカラー］：	CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の４色で印刷します。
［フルカラー / モノクロ自動切替］：	原稿の種類によって、カラー印刷とモノクロ印刷を自動的に切り替えます。



重要　［フルカラー / モノクロ自動切替］を選択した場合、アプリケーションの出力によっては一部のモノクロページがフルカラーモードで印刷されることがあります。

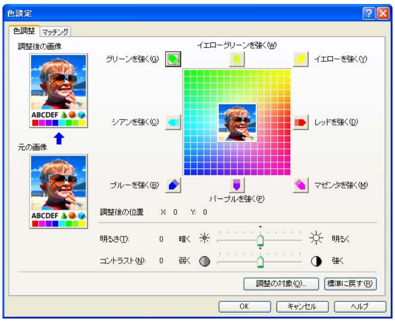
3 設定を確認し、［OK］をクリックします。

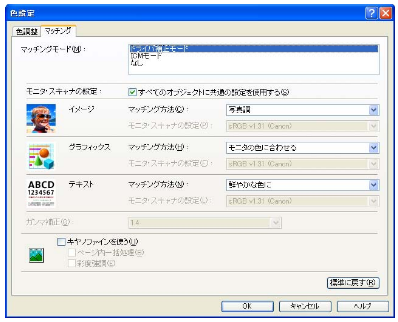
色の設定をする

1 **［印刷品質］ページを表示し、［色の設定を行う］にチェックマークを付け［色設定］をクリックします。**



［色設定］ダイアログボックスが表示されます。





2 **［色調整］ページを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。**

［調整領域］：	調整領域の中央にある［プレビューボタン］を上下左右に移動させて色の調整を行います。
［調整の対象］：	色の調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。調整の設定を行う前に、設定の対象を選択してください。この設定により、1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。
［明るさ］：	印刷するときの明るさを調整します。［明るさ］のつまみを左右にドラッグして調整します。
［コントラスト］：	印刷するときのコントラストを調整します。［コントラスト］のつまみを左右にドラッグして調整します。

3 ［マッチング］ページを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

［マッチングモード］：	色補正の処理方法を設定します。
［すべてのオブジェクトに共通の設定を使用する］：	イメージ、グラフィックス、テキストのデータに対して［モニタ・スキャナの設定］を共通の設定で使用します。［イメージ］の［モニタ・スキャナの設定］のみが有効になりますので、［イメージ］で設定した内容が［グラフィックス］、［テキスト］にも適用されます。
［マッチング方法］：	マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。イメージ、グラフィックス、テキストのデータごとに設定することができます。
［モニタ・スキャナの設定］：	使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目を選択します。
［ガンマ補正］：	［マッチングモード］を［なし］に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。
［キヤノファインを使う］（Windows 2000/XP のみ）：	キヤノファインを使う場合に選択します。
［彩度強調］（Windows 2000/XP のみ）：	鮮やかさを強調してキヤノファインの処理を行います。［キヤノファインを使う］を選択したときに設定できます。
［ページ内一括処理］（Windows 2000/XP のみ）：	ページ内にあるビットマップデータを１つのデータと見なして、キヤノファインの処理を行います。［キヤノファインを使う］を選択したときに設定できます。

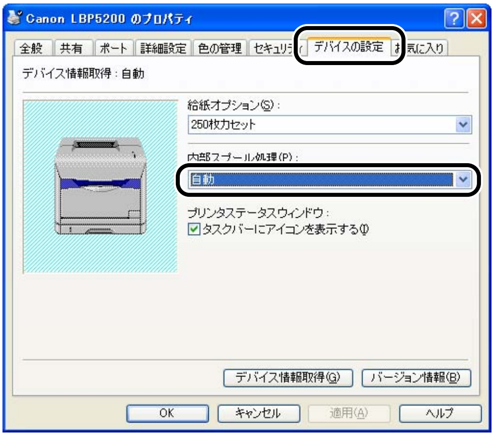
4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［印刷品質］ページに戻ります。

色調整サンプルを印刷する（Windows 2000/XP/Server 2003のみ）

［色調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に調整後の画像が印刷され、調整後の画像の周りに色味をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。出力を調整するのに役立ちます。

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。



2 ［印刷品質］ページを表示し、［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］をクリックします。



3 ［色設定］ダイアログボックスで、必要に応じて項目を設定し、［OK］をクリックします。

4 ［印刷品質］ページに戻り、［色調整サンプルプリント］にチェックマークを付けます。



5 設定内容を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

重要 色調整サンプルプリントをする場合は、［ページ設定］ページの［ページレイアウト］は必ず［1 ページ / 枚 (標準)］を選択してください。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

色調整サンプルが印刷されます。

重要 色調整サンプルプリントを終了したあとは、［色調整サンプルプリント］のチェックマークを消してください。

お気に入りを設定する

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の４つのページで設定した印刷条件を、まとめて保存／読み込みできます。また、設定を追加、編集、選択することができます。

印刷条件を［お気に入り］として保存するときは、次の手順で行います。

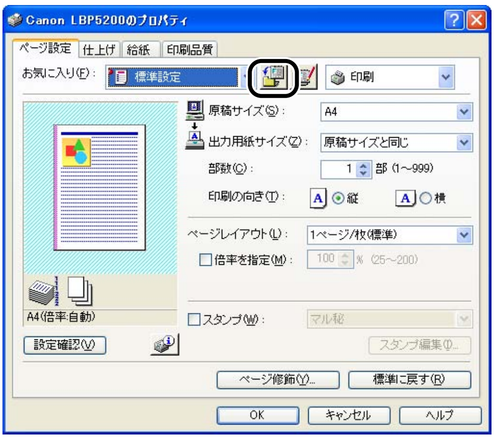
［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ

- Windows 98/Me の場合、お気に入りは最大 50 まで設定できます。ただし、[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [パスワード] をダブルクリックし、[ユーザー別の設定] ページを表示させ「ログオン時に各ユーザーのデスクトップ設定に変更する」を選択した場合は、ログオンユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003の場合、お気に入りはログインユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- プリンタの名称を変更すると、保存したお気に入りが読み込めなくなります。名称を元に戻すと読み込み可能になります。
- Windows　98/Me で保存したお気に入り情報のファイルを Windows　2000/XP/Server 2003 で使用したり、Windows 2000/XP/Server 2003 で保存したお気に入りの情報のファイルを Windows 98/Me で使用することはできません。
- [原稿サイズ] の設定は、お気に入りを選択しても変更されません。

お気に入りの新規追加

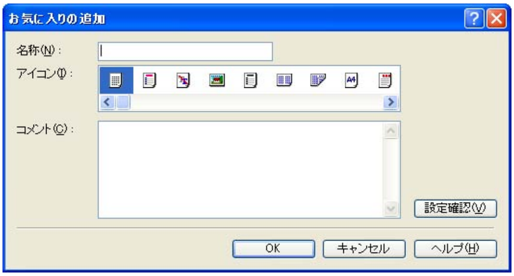
1 []（お気に入りの追加）をクリックします。



[お気に入りの追加] ダイアログボックスが表示されます。

2 ［名称］にお気に入りの名前を入力します。

［アイコン］では、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、［コメント］に入力します。

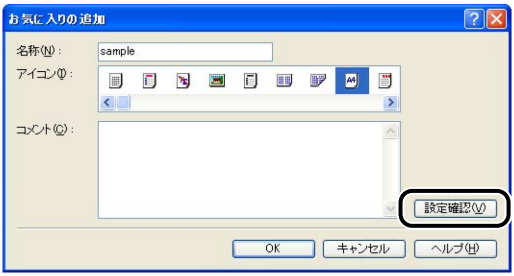


メモ

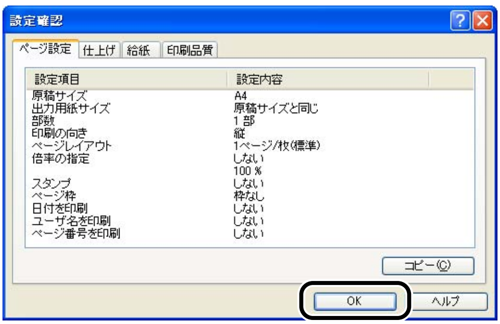
- Windows 98/Me の場合、［名称］には全角で 15 文字（半角 31 文字）まで、［コメント］には全角で 127 文字（半角 255 文字）まで入力できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［名称］には全角、半角にかかわらず 31 文字まで、［コメント］には全角、半角にかかわらず 255 文字まで入力できます。

● 設定内容の確認

❑ ［設定確認］をクリックします。



❑ ［OK］をクリックすると、［お気に入りの追加］ダイアログボックスに戻ります。



3 ［OK］をクリックします。

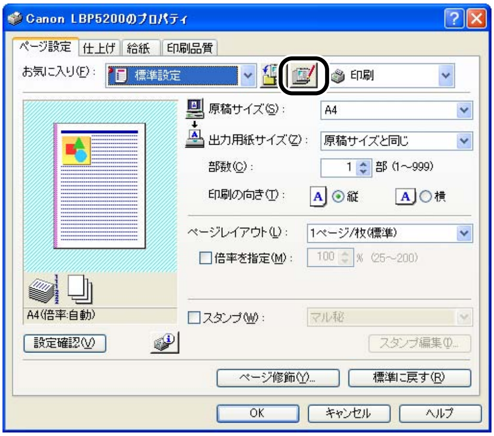
最初のページに戻ります。

設定したお気に入りの名称が、［お気に入り］のリストに追加されていることを確認します。

お気に入りの編集／削除

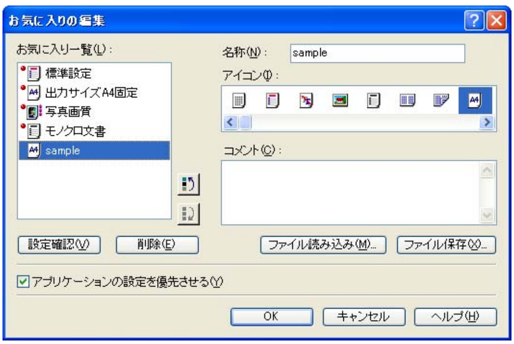
お気に入り情報の変更や保存、［お気に入り一覧］リストからの削除などができます。

1 ［］（お気に入りの編集）をクリックします。



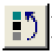
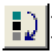
［お気に入りの編集］ダイアログボックスが表示されます。

2 お気に入り情報を編集します。



● **編集のしかた**

❑ [名称]、[アイコン]、[コメント] の登録内容を変更できます。

❑ []、[] をクリックすると、選択されているお気に入りを並べ替えることができます。

❑ [ファイル読み込み] をクリックすると、あらかじめ保存しておいたファイルからお気に入りの情報を読み込みます。

❑ [ファイル保存] をクリックすると、選択されているお気に入りの情報をファイルに保存します。ファイルに保存しておくと、いったんリストから削除したお気に入りをもう一度使うことができます。

❑ [アプリケーションの設定を優先させる] にチェックマークを付けると、アプリケーションソフトで設定した [原稿サイズ]、[印刷の向き]、[部数] の項目を優先して印刷します。お気に入りを変更しても前記の項目は、アプリケーションソフトの設定が有効になります。

● **削除のしかた**

❑ [削除] をクリックすると、お気に入りがリストから削除されます。

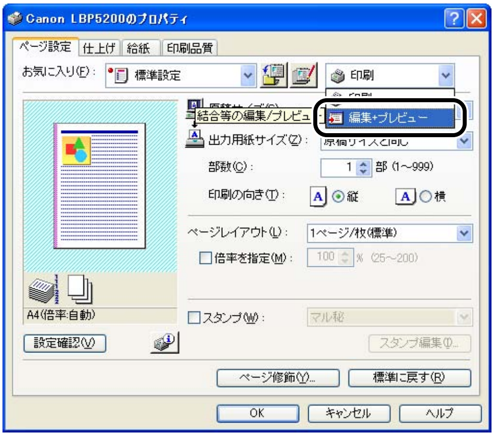
重要 削除できるのは独自に登録した「お気に入り」だけです。あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。また、各ページで選択中の「お気に入り」も削除することはできません。

ジョブを編集する

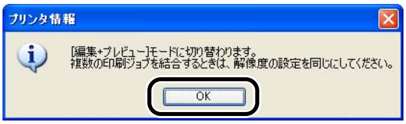
2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションの印刷ジョブの編集も可能です。
また、ジョブのプレビュー表示もできます。

[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスで [ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

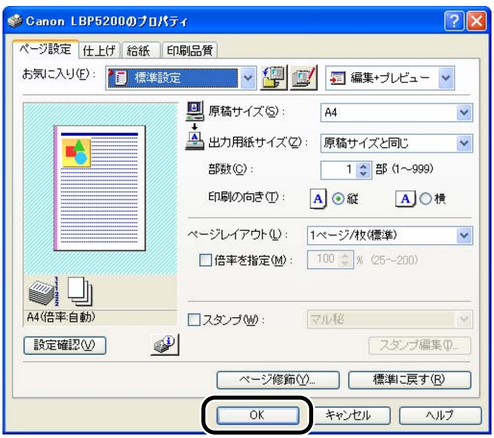
1 [お気に入り]の右側にあるリストから[編集+プレビュー]を選択します。



2 [編集＋プレビュー] モードのメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。



3 各ページで印刷条件の設定を行い、[OK] をクリックます。



4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示され、ジョブがリストに表示されます。



5 編集したいジョブを同様に手順１から４を繰り返します。

6 ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでリストにあるジョブの編集を行います。

メモ

- ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでの詳しい設定方法については、Canon PageComposer のヘルプをご覧ください。
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスで［編集 ＋ プレビュー］モードを選択し、［ ］（ロック）を設定している場合は、印刷時に必ず［Canon PageComposer］ダイアログボックスが起動します。

設定を確認する／設定を標準値に戻す

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各ページで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻すことができます。

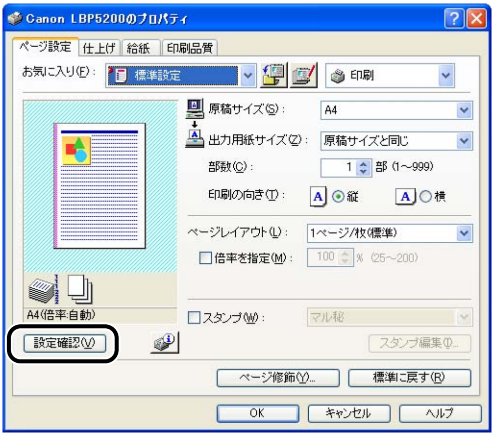
［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ

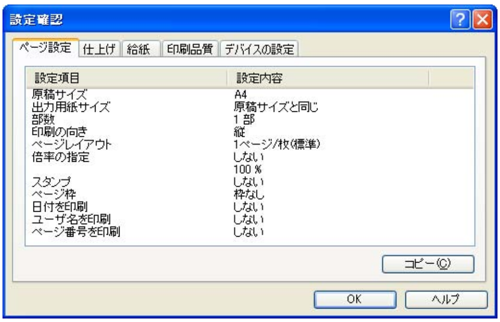
各ページではプレビューが表示されます。プレビューで印刷イメージの確認をすることもできます。

設定を確認する

1 **［設定確認］をクリックします。**



［設定確認］ダイアログボックスが表示されます。



［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各タブをクリックすると、それぞれのページで設定した印刷条件が一覧表示されます。

2 **［OK］をクリックします。**

元のページに戻ります。

設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、［標準に戻す］をクリックします。

標準値に戻るのは、［標準に戻す］と同じページまたは同じダイアログボックスで表示されている条件のみになります。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の５つのページの設定が、すべて一度に標準値に戻ることはありません。

プリンタステータスウィンドウについて

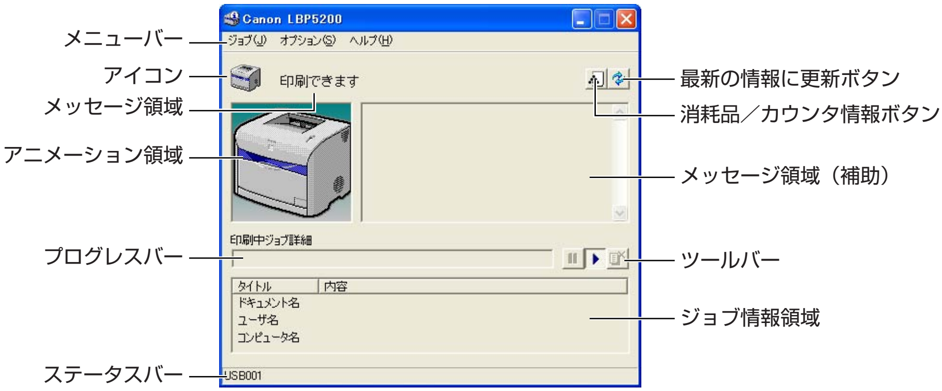
プリンタステータスウィンドウは、LBP5200 プリンタのステータス（操作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

メモ　サウンドを使用するには、お使いのコンピュータに PCM 音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの機能は、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 で共通です。

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。



■ メニューバー

ジョブメニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
オプションメニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定や各種情報の表示、プリンタのキャリブレーションなどを行います。
ヘルプメニュー	オンラインヘルプを表示します。

■ その他の機能

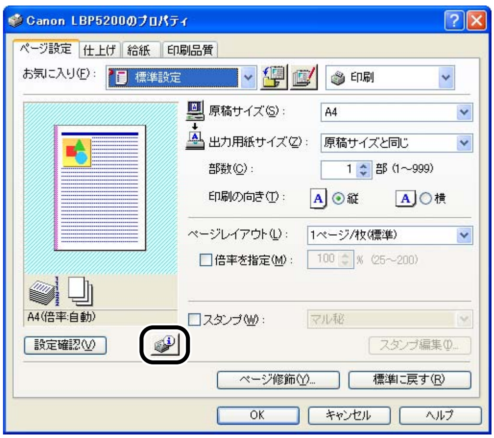
アイコン	プリンタのステータスをアイコンで表示します。
メッセージ領域	プリンタのステータスを短文で表示します。
メッセージ領域（補助）	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。

アニメーション領域	プリンタのステータスをグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
消耗品／カウンタ情報ボタン	［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスを表示します。各色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの寿命を示すアイコンとメッセージが表示されます。総印刷ページ数も表示されます。
最新の情報に更新ボタン	プリンタのステータスを取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
プログレスバー	印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。
ツールバー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
ジョブ情報領域	印刷ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名を表示します。
ステータスバー	プリンタの接続先（ローカルまたはネットワーク）を表示します。メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の 2 通りあります。

• ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［ページ設定］ページなどにある［］（プリンタテータスウィンドウを表示する）をクリックして起動します。



• ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［デバイスの設定］ページにある［タスクバーにアイコンを表示する］にチェックマークを付けます。Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックし、［Canon LBP5200］をクリックして起動します。



プリンタステータスウィンドウは、印刷中やエラー発生時などには自動的に表示されます。プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューの［環境設定］にある、［印刷開始時に表示］を選択していない場合は、印刷中には表示されません。

環境設定メニューについて

環境設定メニューでは、プリンタステータスウィンドウの自動表示、サウンドの設定、ステータスの監視などの設定ができます。

■［プリンタステータスウィンドウの表示］グループ

• 印刷開始時に表示
印刷が開始されたときに、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。

• エラー発生時のみ表示
印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。

• 常に手前に表示する
プリンタステータスウィンドウを常に最前面に表示します。

■［プリンタ状態の監視］グループ

• 常に監視
常にプリンタのステータスを監視します。

• 印刷時のみ監視
印刷時のみプリンタのステータスを監視します。

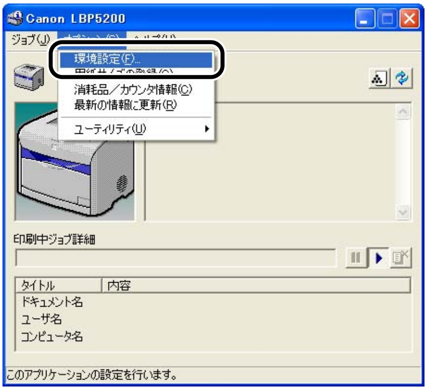
• プリンタステータスウィンドウ表示時のみ監視
プリンタステータスウィンドウが表示されている間のみプリンタのステータスを監視します。

■［サウンド設定］グループ

- すべて有効
  メッセージと共にサウンドが流れます。
- エラー発生時のみ有効
  エラー発生を通知するときのみサウンドが流れます。
- 無効
  サウンドは流れません。

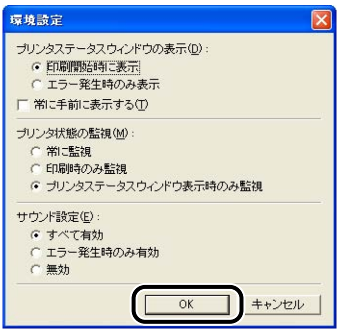
---

1 **［オプション］メニューから［環境設定］を選択します。**



［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **各設定を確認し、［OK］をクリックします。**



メモ　プリンタステータスウィンドウの操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

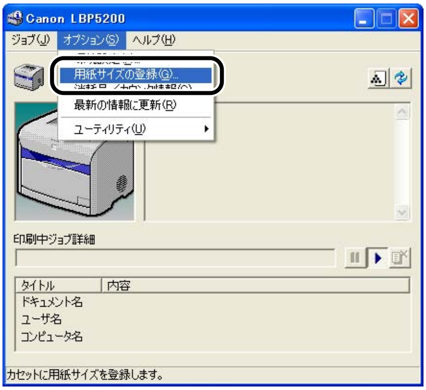
用紙サイズの登録メニューについて

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、給紙カセット(カセット 1)にセットした用紙サイズを登録する必要があります。

重要 印刷中は用紙サイズの登録はできませんので、印刷していないことを確認して登録してください。ただし、以下のメッセージが表示されている場合は、用紙サイズの登録はできます。

- 一時停止中です
- 用紙が指定と異なります
- 用紙がありません
- カセット 1 に XXX がありません。(XXX は用紙サイズ)

1 [オプション] メニューから [用紙サイズの登録] を選択します。



[用紙サイズの登録] ダイアログボックスが表示されます。

2 [カセット 1]のリストから給紙カセットにセットした用紙を選択し、[OK]をクリックします。



4

Windowsから印刷するには

［消耗品／カウンタ情報］メニューについて

［オプション］メニューから［消耗品／カウンタ情報］を選択すると、［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスには、各色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの寿命を示すアイコンとメッセージが表示されます。

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（消耗品／カウンタ情報）をクリックしても同様の操作ができます。



［最新の情報に更新］メニューについて

［オプション］メニューから［最新の情報に更新］を選択すると、プリンタの最新の情報を取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（最新の情報に更新）をクリックしても同様の操作ができます。

［ユーティリティ］メニューについて

［ユーティリティ］メニューでは、プリンタのキャリブレーションや定着ローラの清掃を行うことができます。

■ クリーニング

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合に、定着ローラを清掃します。清掃することで、印字不良の発生を防止します。詳しくは、「定着ローラを清掃する」（→P.5-31）を参照してください。

■ キャリブレーション

キャリブレーションは通常、12 時間ごとまたは 800 ページ（カラー印刷の場合は 200 ページ）を印刷すると自動的に行われますが、色味が変わってしまったときなどは、手動で行うことができます。詳しくは、「プリンタのキャリブレーションを行う」（→P.5-28）を参照してください。

プリントサーバを使用しているときの表示

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけでなく、クライアントのプリンタステータスウィンドウにも表示されます。

また、プリンタステータスウィンドウの起動時にプリントサーバが立ち上がっていない場合は、プリントサーバが立ち上がると自動的に表示されます。

- プリントサーバのプリンタステータス
  - ・ローカルの印刷ジョブと、クライアントの印刷ジョブのステータスを表示します。
  - ・印刷ジョブの一時停止、再開および中止を行うことができます。
  - ・サウンドを流します。
  - ・プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、誰もログオンしていないとステータスは表示されません。
- クライアントのプリンタステータス
  - ・印刷中ジョブのクライアントは、印刷ジョブの一時停止、再開および中止を行うことができます。
  - ・ユーザ名またはコンピュータ名の一致するクライアントのみ、サウンドを流します。

メモ

ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、次のいずれかのプロトコルが使用できる環境が必要です。

・TCP/IP

・NetBEUI

日常のメンテナンス

5
CHAPTER

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
交換時期が近づいているカートリッジがあります。詳しくは、［消耗品／カウンタ情報］ダイアログで確認してください。	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスで交換時期が近づいたカートリッジを確認します。トナーカートリッジが交換時期に近づいているときは、新品のトナーカートリッジを用意してください。 ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします
トナーカートリッジの交換が必要です。（<トナーの色>*） *: <トナーの色>には、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます（複数表示される場合もあります）。	ブラック以外のトナーカートリッジが寿命になったとき	・モノクロ印刷のみできます ・カラー印刷するときは表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください
トナーカートリッジの交換が必要です <トナーの色>*のトナーカートリッジが寿命になりました。トナー交換キーを押して、カバーを開けてから、トナーカートリッジを交換してください。 *: <トナーの色>には、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンが表示されます（複数表示される場合もあります）。	ブラックのトナーカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止し、継続して印刷することはできません ・表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください

重要

印字がかすれたり、印字むらが出るときは、メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。交換の際は、必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP5200	Toner Cartridge 301 Black Toner Cartridge 301 Yellow Toner Cartridge 301 Magenta Toner Cartridge 301 Cyan

メモ

本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。この枚数は、A4 またはレターサイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

■ 同梱されているトナーカートリッジの場合
・ブラック ：約5,000枚
・イエロー ：約2,000枚
・マゼンタ ：約2,000枚
・シアン ：約2,000枚

■ 交換用のトナーカートリッジの場合
・ブラック（Toner Cartridge 301 Black） ：約5,000枚
・イエロー（Toner Cartridge 301 Yellow） ：約4,000枚
・マゼンタ（Toner Cartridge 301 Magenta） ：約4,000枚
・シアン（Toner Cartridge 301 Cyan） ：約4,000枚

［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスの表示について

トナーカートリッジの交換時期を知る目安として、プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタに［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスがあります。［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスには、各色のトナーカートリッジの状態が表示されます。

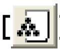
［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスの表示方法

メモ

ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章　便利な印刷機能」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-70）を参照してください。

2 []（消耗品／カウンタ情報）をクリックします。

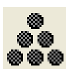
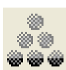
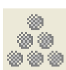
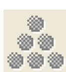
［オプション］メニューから［消耗品／カウンタ情報］を選択しても、［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスを表示することができます。



［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。



アイコンの意味は以下のとおりです（ブラックのトナーカートリッジを例に説明します）。

アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	トナーカートリッジの寿命が近づいています。交換用のトナーカートリッジを用意してください。
	トナーカートリッジが寿命になりました。トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが装着されていません。

トナーカートリッジの交換

プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタに「トナーカートリッジの交換が必要です」と表示されたときは、表示された色のトナーカートリッジを新品のトナーカートリッジに交換してください。

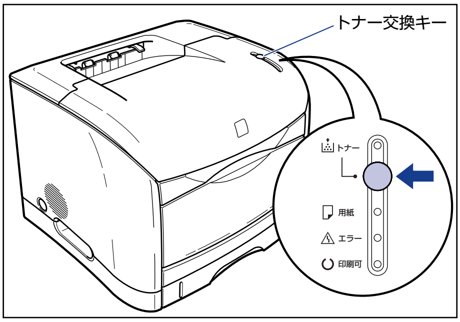
⚠警告 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

---

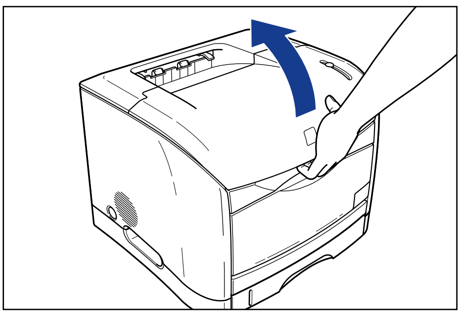
1 ◯（トナー交換）を 2 秒間押します。



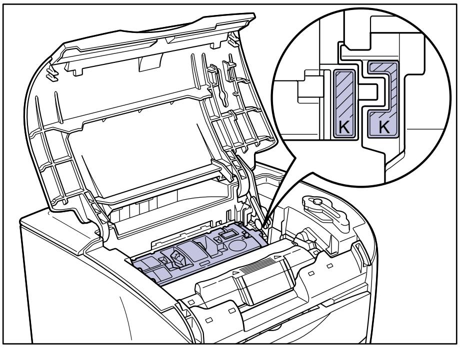
トナーカートリッジホルダが回転し、寿命になったトナーカートリッジを交換位置まで移動します。

2 プリンタの動作音が止まったら、上カバーを開けます。

上カバーは前面の取っ手を持って、止まるまでいっぱいに開けます。



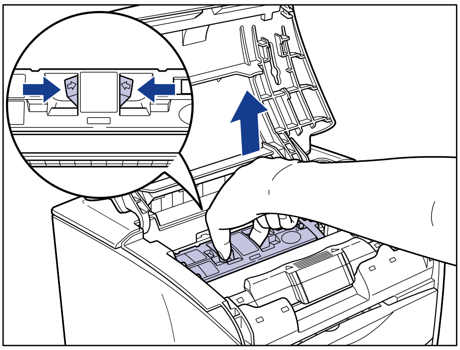
3 交換する色のトナーカートリッジが交換位置まで来ているかを確認します。



交換する色のトナーカートリッジが交換位置まで来ていない場合は、一度上カバーを閉め、プリンタの動作音が止まってから再度上カバーを開けます。交換する色のトナーカートリッジが交換位置に来るまで、上カバーの開閉を繰り返してください。

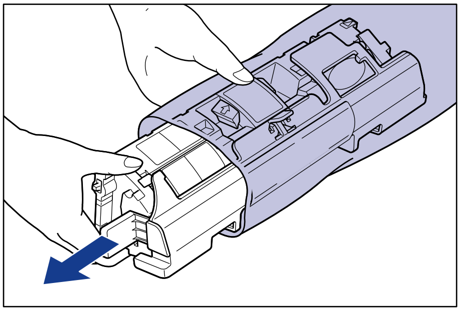
4 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

トナーカートリッジの取っ手を持って、まっすぐ上に取り出します。



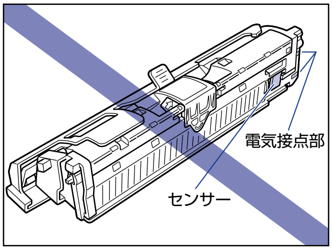
5 交換する色のトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

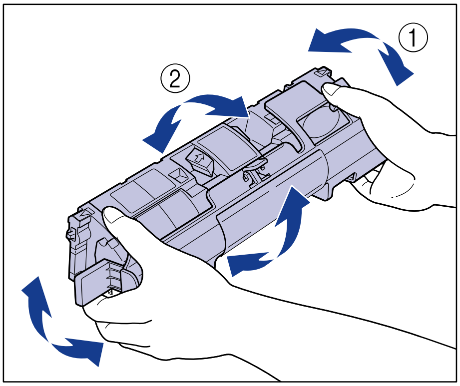


重要

- トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。
- 電気接点部やセンサーなど指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になります。



6 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと左右に 5 ～ 6 回振り ①、次に上下に 5 ～ 6 回振って ②、内部のトナーを均一にならします。

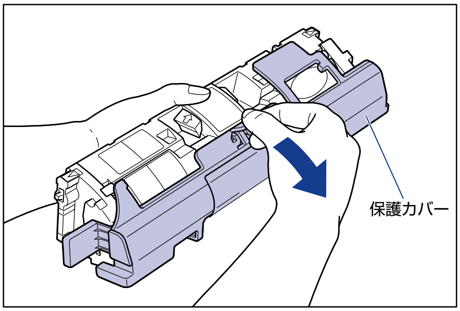


重要

- トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

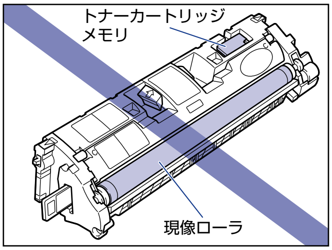
7 保護カバーを取り外します。

保護カバーは、図のように取っ手を持って取り外します。



重要

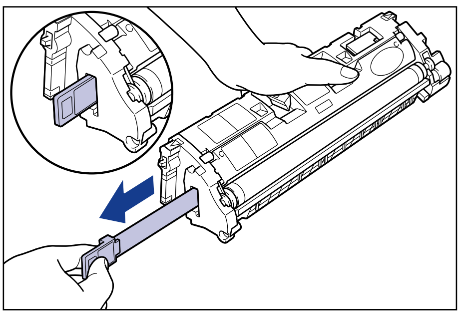
- 現像ローラは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、トナーカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- 取り外した保護カバーは、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

8 トナーカートリッジを平らな場所に置き、トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ（長さ約45cm）を引き抜きます。

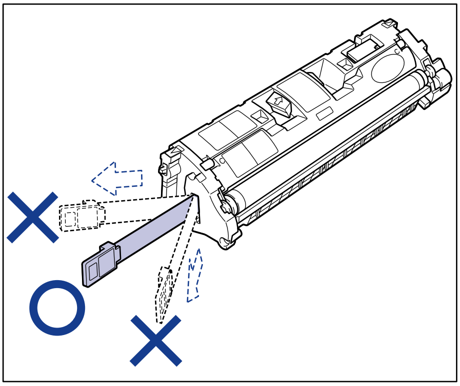
シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープのタブを持って、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。



⚠注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

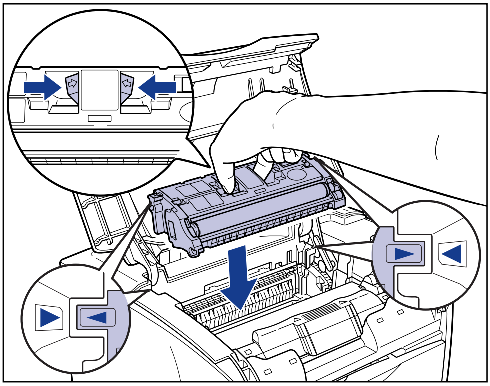
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。



- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- 引き抜いたシーリングテープは、地域の条例にしたがって処分してください。

9 トナーカートリッジの取っ手を持って、本体に取り付けます。

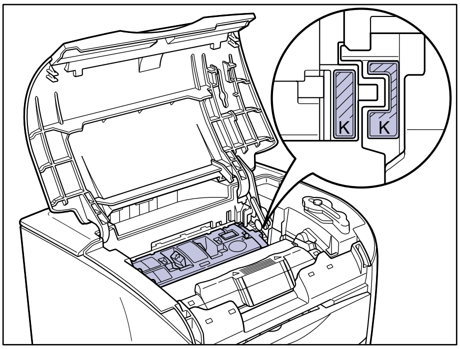
トナーカートリッジの三角マークを本体の三角マークに合わせて取り付けます。



5

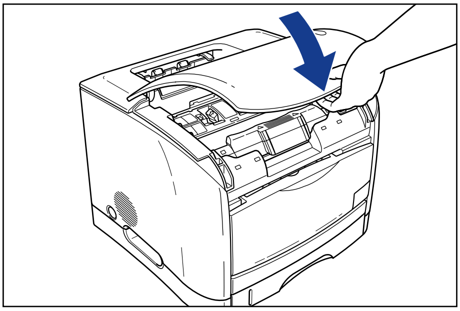
日常のメンテナンス

トナーカートリッジが正しく取り付けられると、トナーカートリッジとトナーカートリッジホルダに貼られているシールが図のように合います。



10 上カバーを閉めます。

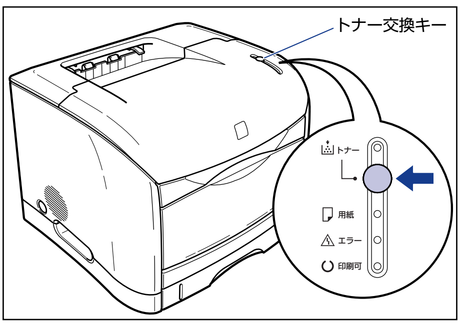
上カバーは取っ手を最後まで持ってゆっくりと閉めます。



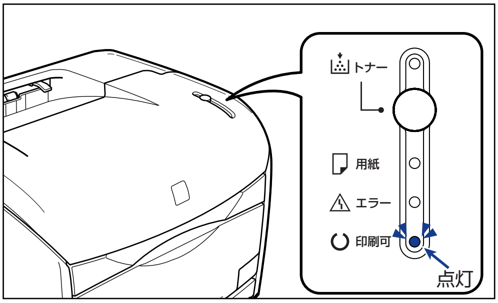
トナーカートリッジホルダが回転します。

重要 新品のトナーカートリッジをご使用の場合でも、上カバーの開閉をすると、トナーカートリッジおよびトナーカートリッジの周辺にトナーが付着する場合があります。このような場合でも、プリンタの動作や印字品質、トナーの消耗に影響はありませんので、そのままご使用ください。

11 プリンタの動作音が止まったら、◯（トナー交換）を２秒間押します。



しばらくするとトナーランプが消え、印刷可ランプ（青色）が点灯します。



使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

トナーカートリッジ取り扱いのご注意

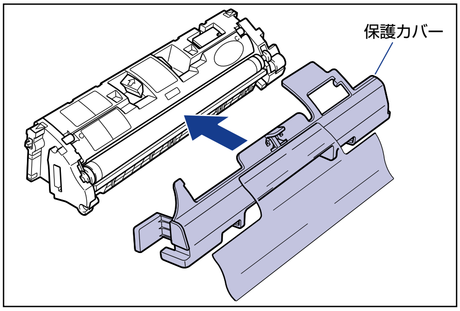
トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

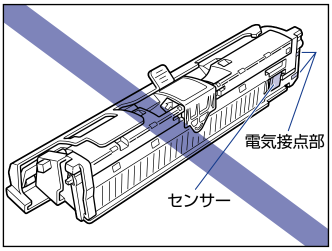
注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

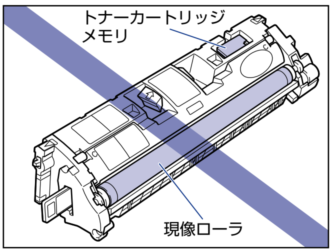
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- 紙づまりやプリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかに保護カバーを取り付け、トナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。



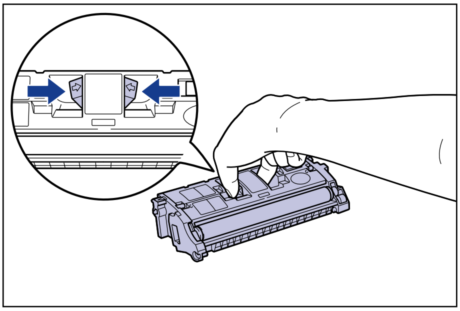
- 電気接点部やセンサーなど指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になります。



- 現像ローラは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、トナーカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持って取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



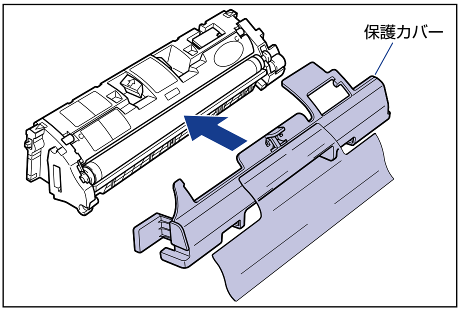
- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに保護カバーを取り付け、トナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。



- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）

- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
交換時期が近づいているカートリッジがあります。詳しくは、[消耗品／カウンタ情報］ダイアログで確認してください。	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・[消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスで交換時期が近づいたカートリッジを確認します。ドラムカートリッジが交換時期に近づいているときは、新品のドラムカートリッジを用意してください。 ・大量の印刷をするときは、ドラムカートリッジを交換することをおすすめします
ドラムカートリッジの交換が必要です	ドラムカートリッジが寿命になったとき	・プリンタは停止し、継続して印刷することはできません ・ドラムカートリッジを新品のドラムカートリッジに交換してください

重要 交換の際は、必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。

機種名	対応するキヤノン純正ドラムカートリッジ
LBP5200	Drum Cartridge 301

メモ 本プリンタ用ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。この枚数はプリントする際の設定や条件によって少なくなることがあります。

・カラープリント：A4 またはレターサイズの用紙の場合で約 5,000 枚

・モノクロプリント：A4 またはレターサイズの用紙の場合で約 20,000 枚 *

* キヤノン評価基準において A4 サイズの普通紙を連続印刷した場合の枚数です。間欠印刷、用紙タイプ、用紙サイズによっては、半分程度の枚数になることがあります。（間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことをさします。）
目安は次のとおりです。
4 枚間欠の場合：約 19,000 枚
2 枚間欠の場合：約 13,500 枚

［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスの表示について

ドラムカートリッジの交換時期を知る目安として、プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタに［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスがあります。［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスには、ドラムカートリッジの状態が表示されます。

［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスの表示方法

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章　便利な印刷機能」を参照してください。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-70）を参照してください。

2 **［ ］（消耗品／カウンタ情報）をクリックします。**

［オプション］メニューから［消耗品／カウンタ情報］を選択しても、［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスを表示することができます。



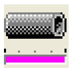
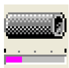
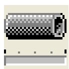
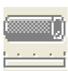
5

日常のメンテナンス

［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスが表示されます。



アイコンの意味は以下のとおりです。

アイコン	意味
	通常の使用できる状態です。
	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。交換用のドラムカートリッジを用意してください。
	ドラムカートリッジが寿命になりました。ドラムカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが装着されていません。

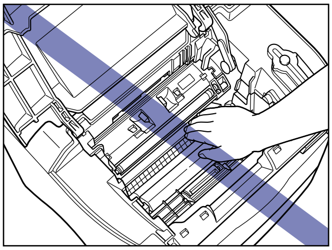
ドラムカートリッジの交換

プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタに「ドラムカートリッジの交換が必要です」と表示されたときは、ドラムカートリッジを新品のドラムカートリッジに交換してください。

警告 使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

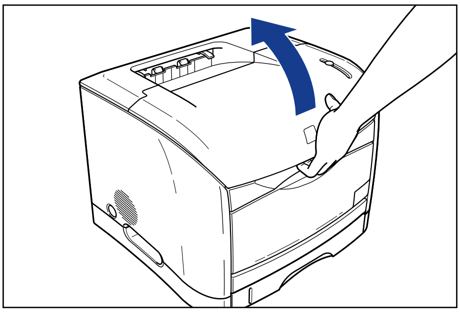
- 上カバー内部の電気接点部やギヤには、絶対に触れないでください。感電やけがの原因になります。



重要
- 必ず本プリンタ専用のドラムカートリッジを使用してください。
- ドラムカートリッジの交換時には、プリンタ内部の清掃を行いますので、乾いた柔らかい布を用意しておいてください。

1 上カバーを開けます。

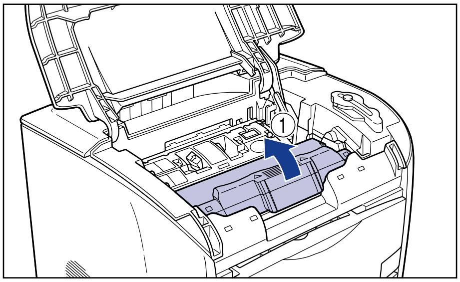
上カバーは前面の取っ手を持って、止まるまでいっぱいに開けます。

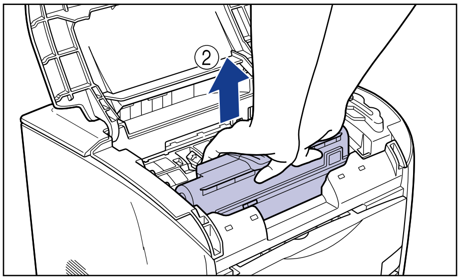


5 日常のメンテナンス

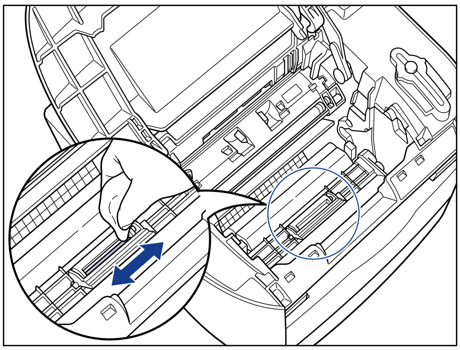
2 ドラムカートリッジをプリンタから取り出します。

ドラムカートリッジを矢印の方向に止まるまで押してから ①、まっすぐ上に取り出します ②。





3 乾いた柔らかい布で、ローラの手前にある透明なシートに付いている紙粉やトナーをふき取ります。

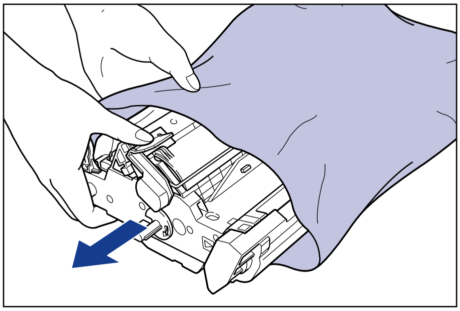


⚠警告 清掃のときは、必ず乾いた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 透明なシートは、無理にめくったり傷つけたりしないようにしてください。
- 水や中性洗剤を含ませた布は使用しないでください。
- プリンタ内部の部品に触れないように、気を付けて清掃してください。

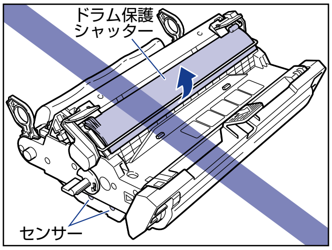
4 ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

保護袋はドラムカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

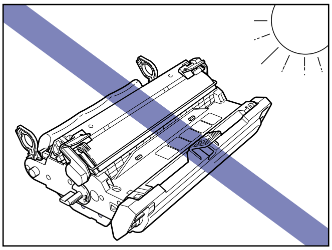


重要

- ドラムカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、ドラムカートリッジを取り出すときに必要になります。
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、センサーなど指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

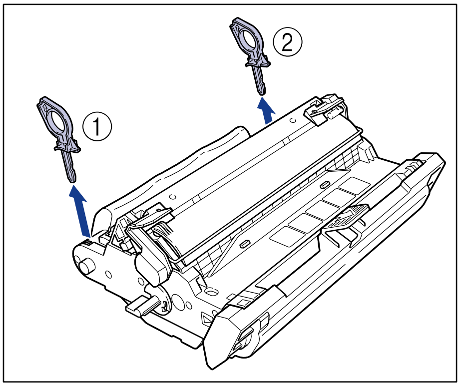


- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

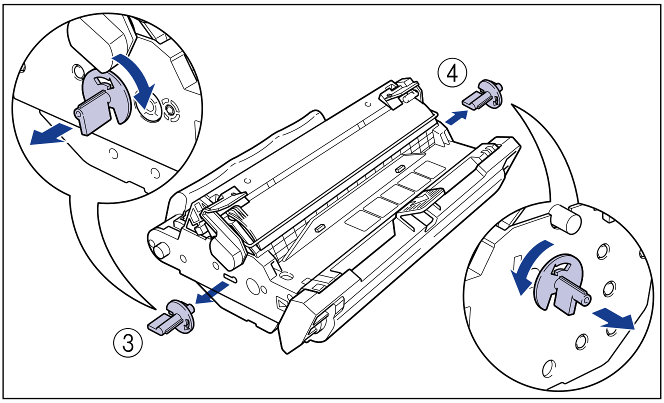


5 梱包材（7 個）を取り外します。

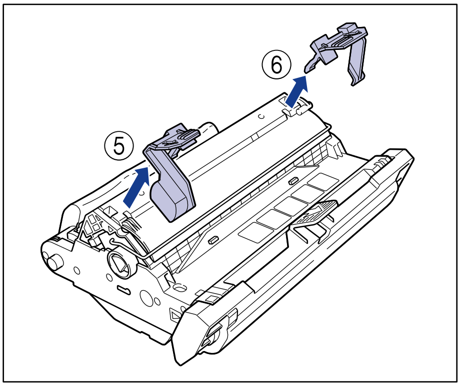
① と ② の梱包材は、取っ手に指を掛け矢印の方向へ引き抜きます。



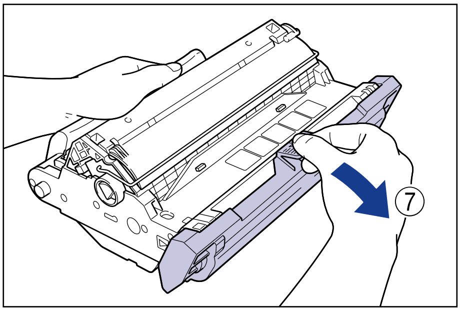
③ と ④ の梱包材は、止まるまで矢印の方向に回してから引き抜きます。



⑤ と ⑥ の梱包材は、取っ手を持って取り外します。

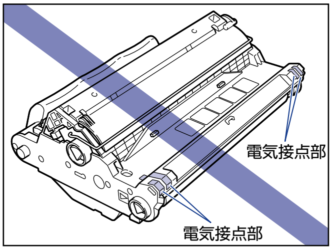


⑦ の梱包材は、図のように取っ手を持って取り外します。

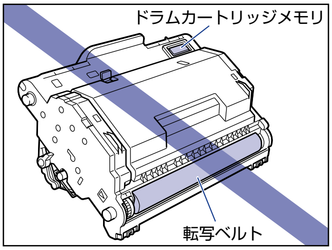


重要

- 電気接点部は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



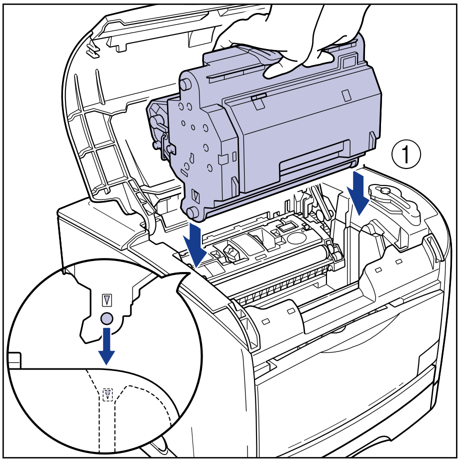
- 転写ベルトは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、ドラムカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



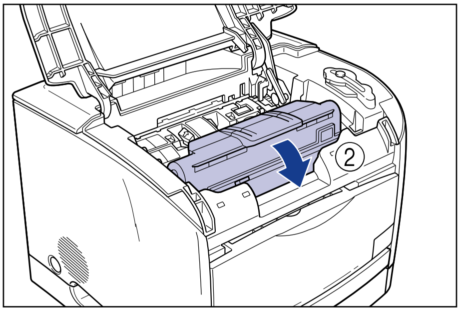
- ドラムカートリッジは、梱包材を取り外した状態で放置せず、できるだけ早く本体に取り付けてください。
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

6 ドラムカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

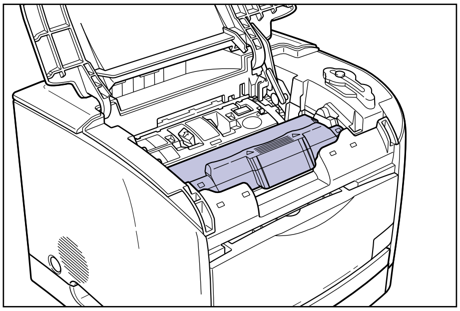
ドラムカートリッジの三角マークを本体の三角マークに合わせて差し込みます ①。



ドラムカートリッジを手前に倒してロックします ②。



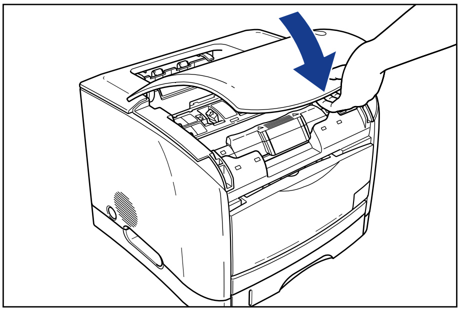
重要 ドラムカートリッジは図のような状態になるまで確実にロックしてください。



5 日常のメンテナンス

7 上カバーを閉めます。

上カバーは取っ手を最後まで持ってゆっくりと閉めます。



使用済みドラムカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
使用済みドラムカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。



回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

ドラムカートリッジ取り扱いのご注意

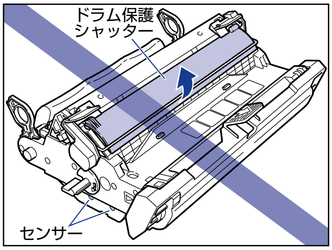
ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告　使用済みのドラムカートリッジを火中に投じないでください。ドラムカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

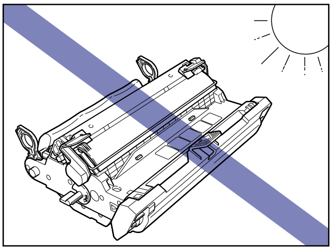
注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

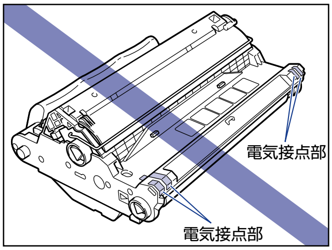
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、センサーなど指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

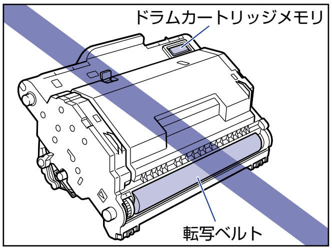


- プリンタの修理のためにドラムカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにドラムカートリッジを梱包してあった保護袋に入れてください。
- 電気接点部は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

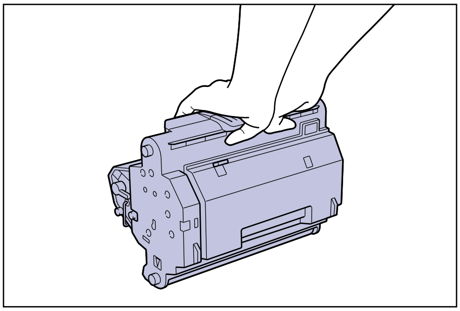


5 日常のメンテナンス

- 転写ベルトは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、ドラムカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



- ドラムカートリッジを取り扱う際は、図のように正しく持って取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。



- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したドラムカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理や移動時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってドラムカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この、水滴が付着する状態を結露といいます。結露はドラムカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

プリンタのキャリブレーションを行う

印刷した色味が以前と変わってしまったときには、次の手順でプリンタのキャリブレーションを行います。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の画面で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章　便利な印刷機能」を参照してください。

1　**［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。**

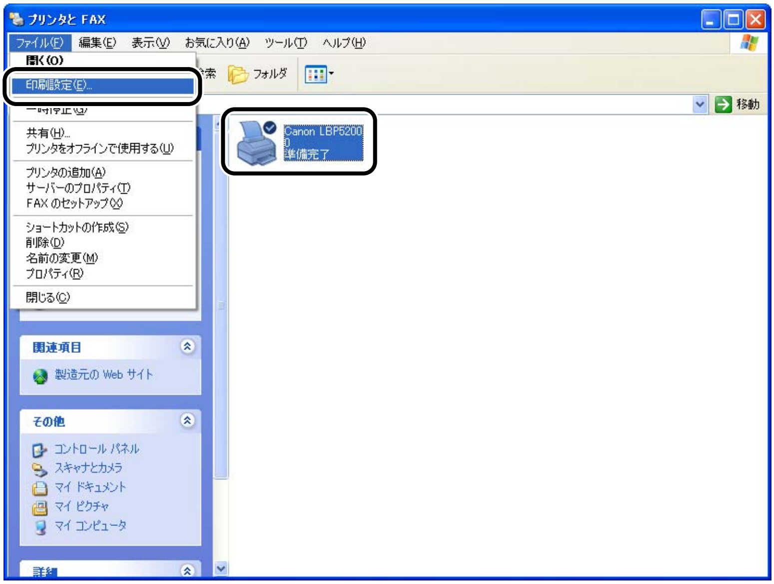
Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。



［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダが表示されます。

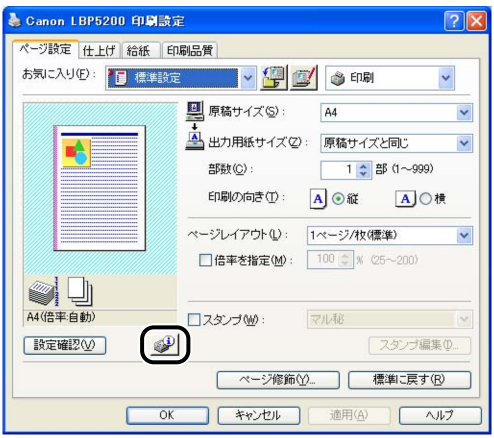
5
日常のメンテナンス

2 ［Canon LBP5200］アイコンを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合）、［プロパティ］（Windows 98/Me の場合）を選択します。



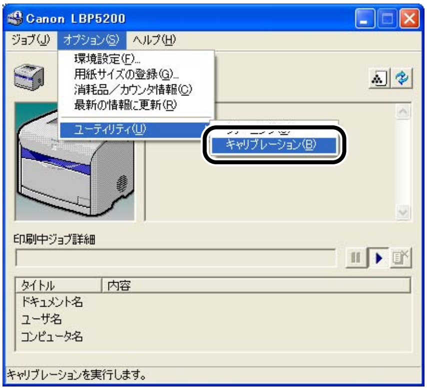
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします。



プリンタステータスウィンドウが表示されます。

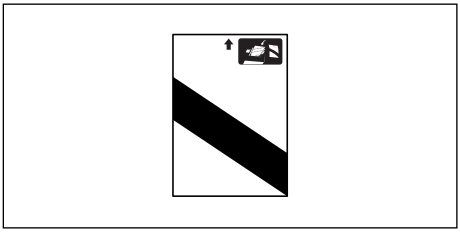
4 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［キャリブレーション］を選択します。



キャリブレーションがはじまります。
約 65 秒かかります。しばらくお待ちください。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。定着ローラの清掃は、まずA4サイズの用紙に図のようなクリーニングページを印刷します。そのクリーニングページを手差しトレイから給紙して、定着ローラの清掃を行います。

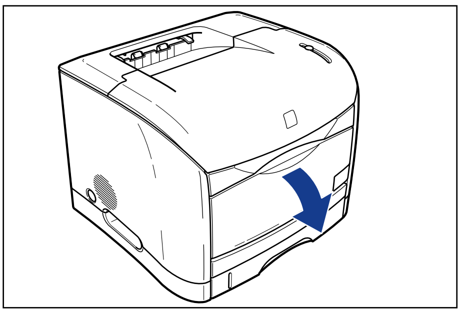


重要　A4サイズの用紙以外に、クリーニングページを印刷することはできません。A4サイズの用紙をご用意ください。

メモ　ここでは、Windowsをお使いの場合の画面で説明しています。Macintoshをお使いの場合は、オンラインマニュアル「第4章　便利な印刷機能」を参照してください。

1 **手差しトレイを開けます。**

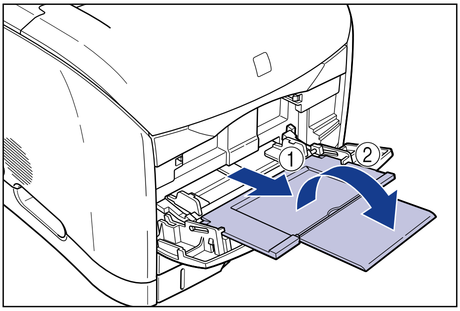
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。



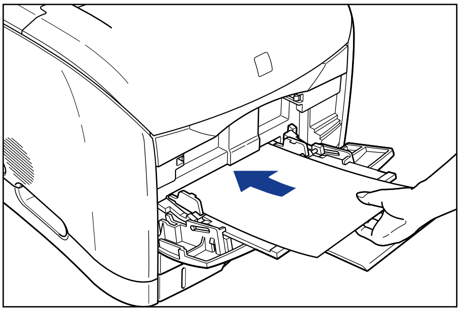
5

日常のメンテナンス

2 補助トレイを引き出して ①、延長トレイを開けます ②。



3 手差しトレイに A4 サイズの用紙を 1 枚セットします。

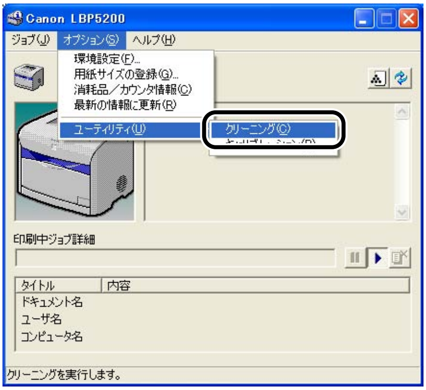


4 プリンタステータスウィンドウを表示します。

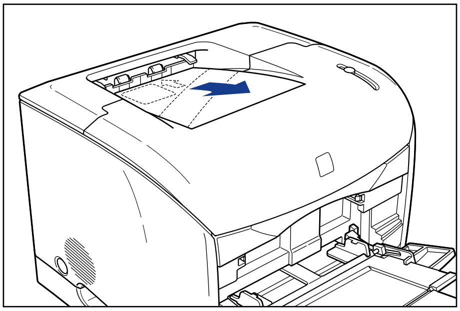
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-70）を参照してください。



5 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング］を選択します。

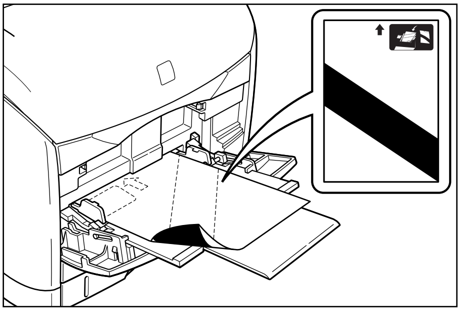


クリーニングページが印刷されます。



6 クリーニングページの印刷された面を下にして、矢印が奥になるように手差しトレイにセットします。

手差しトレイにあらかじめ用紙がセットされている場合は、クリーニングページのセット後、［ ▶ ］（再開）をクリックします。



用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ

- クリーニングの実行には、約 3 分かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

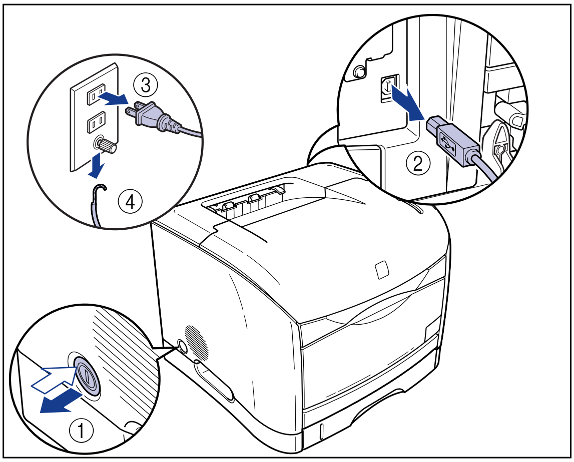
プリンタを清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や吸排気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

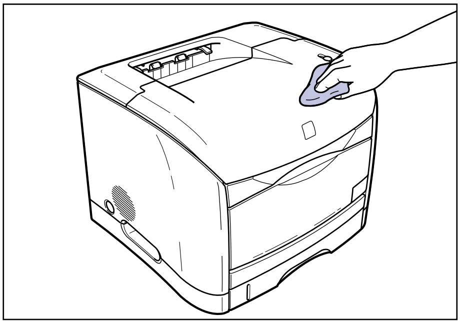
重要
- 本体のプラスティックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 **電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。**



2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。



3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

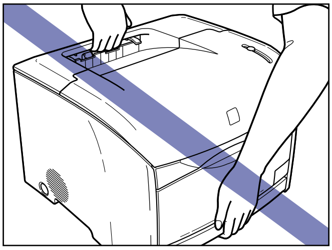
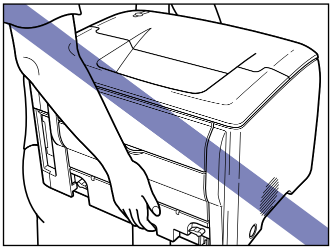
4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続し、USB ケーブルを接続します。

プリンタを移動する

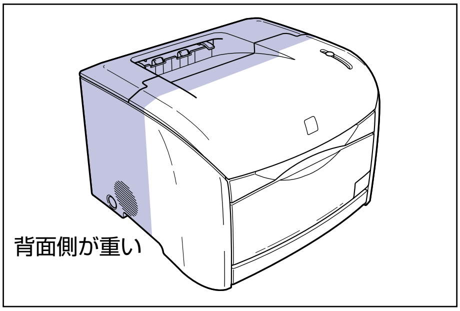
メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動させてください。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

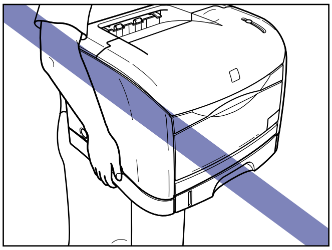
注意
- 本プリンタは、約 22.7kg（本体：約 17kg ／トナーカートリッジ× 4：約 3.2kg ／ドラムカートリッジ：約 2.5kg）あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に本体前面や排紙口、本体背面など、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

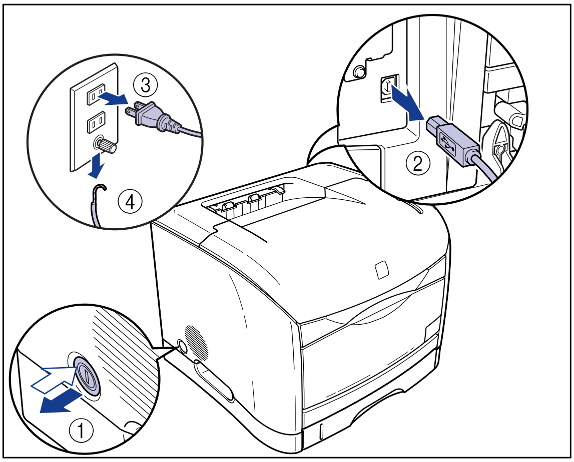
- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。



- ペーパーフィーダが取り付けられている状態でプリンタを移動しないでください。



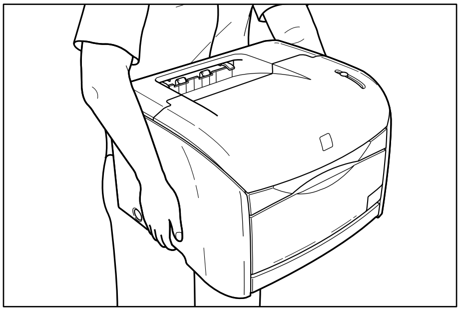
1 電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

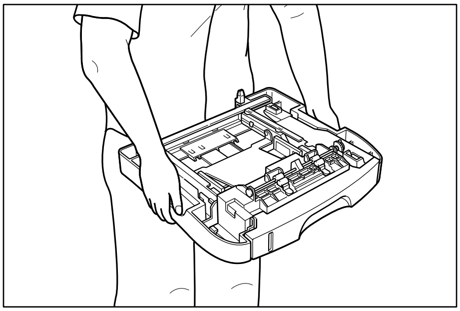
3 プリンタ本体をペーパーフィーダから取り外します。

プリンタは本体両側面の運搬用取っ手に手を掛けて、両手でしっかり持ってください。



4 ペーパーフィーダを設置場所に運びます。

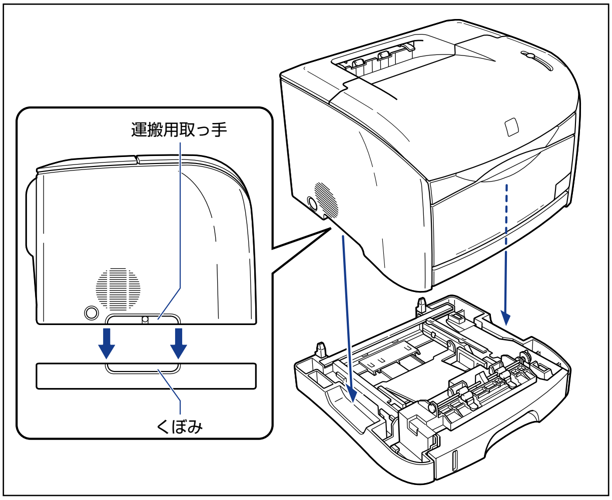
ペーパーフィーダは図のように、左右の取っ手を持って運んでください。



重要 設置場所には、ケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

5 プリンタ本体をペーパーフィーダにゆっくりと載せます。

プリンタの運搬用取っ手とペーパーフィーダのくぼみが合うように載せます。



⚠注意 プリンタはゆっくりと慎重にペーパーフィーダに載せてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

6 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

7 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

8 USB ケーブルを接続します。

> **●プリンタを輸送するときは**
>
> 移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
> 本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

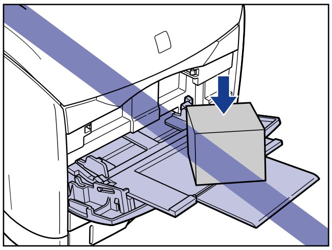
本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要　本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（➞P.xiii）もお読みください。

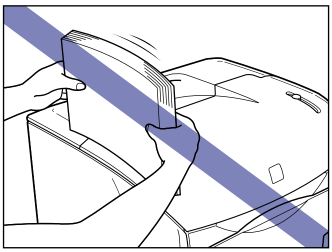
プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態で印刷できるように、次の注意をお守りください。

重要
- プリンタや手差しトレイなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。



- 上カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷の品質が低下する原因になります。
- 印刷中に振動を与えないでください。 印刷品質が低下することがあります。



- 印刷中は、 絶対にプリンタの上カバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 手差しトレイ、サブ排紙トレイやプリンタの上カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、 電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、 使用・保管しないでください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

- 温度が 0 ～ 35 ℃の範囲内の場所
- 湿度が 35 ～ 85%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

オプション品について

6
CHAPTER

この章では、オプション品の紹介と取り付けかたについて説明しています。

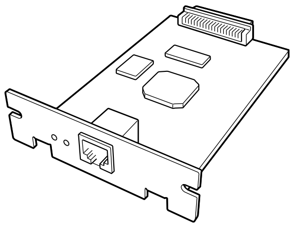
オプション品について

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ネットワークボード（AXIS 1611）

Windows をお使いの場合、オプションのネットワークボード（AXIS 1611）を装着すると、LBP5200 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

AXIS 1611 の詳細については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）を参照してください。



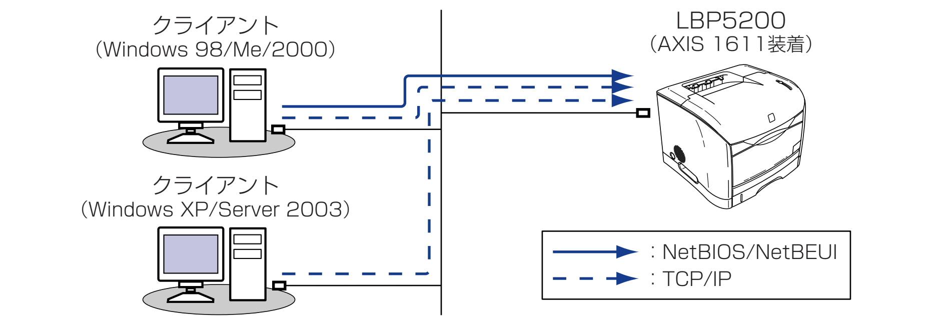
ネットワークボード（AXIS 1611）

ネットワークボード（AXIS 1611）の取り付け（Windows のみ）

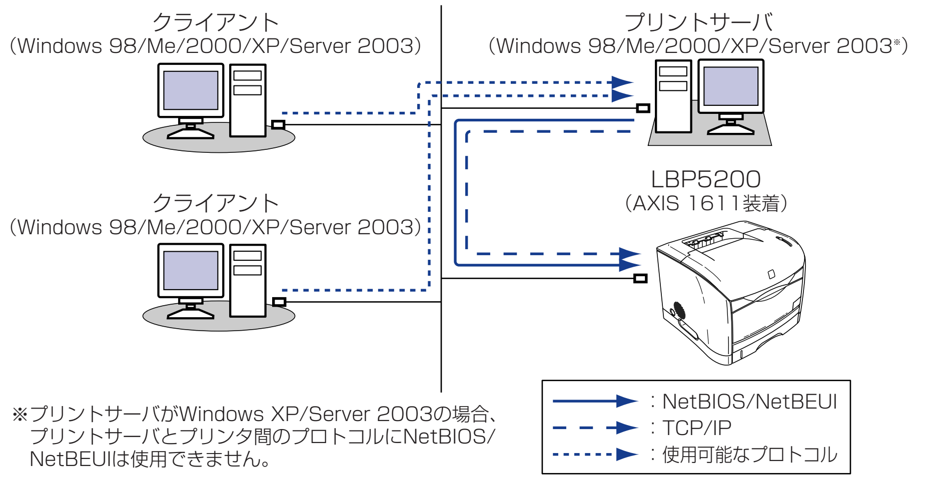
Windows をお使いの場合、オプションのネットワークボード（AXIS 1611）を装着すると、LBP5200 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

AXIS 1611 の詳細については、アクシスコミュニケーションズ（株）のホームページ（http://www.axiscom.co.jp/）を参照してください。

■ネットワークボードとコンピュータを直結する場合



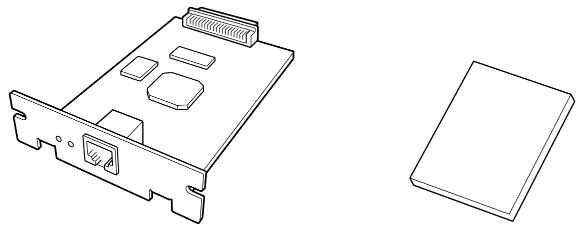
■プリントサーバを経由して接続する場合



※プリントサーバがWindows XP/Server 2003の場合、プリントサーバとプリンタ間のプロトコルにNetBIOS/NetBEUIは使用できません。

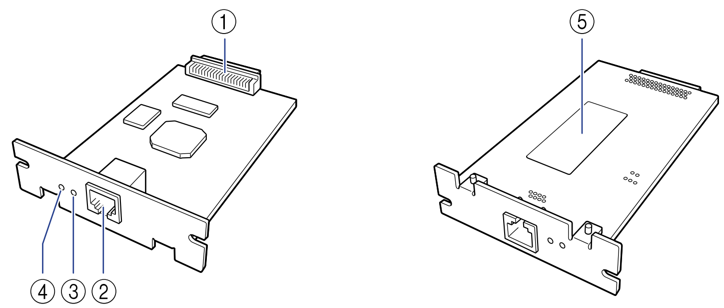
パッケージの内容を確認する

ネットワークボードを取り付ける前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



メモ　本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

各部の名称とはたらき



① プリンタ接続コネクタ

プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

② LAN コネクタ

10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

③ ステータスランプ

ネットワークボードの状態を示すランプです。LAN ケーブルを抜いた状態でランプが点滅している場合は、ネットワークボードに異常があります。

④ 電源ランプ

プリンタの電源を入れると点灯します。プリンタの電源をオンにしてもランプが点灯しない場合は、ネットワークボードに異常があります。

⑤ MAC アドレス表示ラベル

本ネットワークボードの MAC アドレスが記載されています。

ネットワークボードを取り付ける

ネットワークボードは以下の手順でプリンタ背面の拡張ボードスロットに取り付けます。

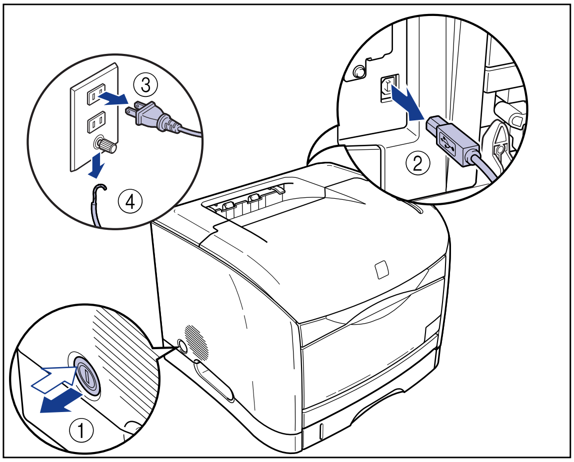
注意
- **ネットワークボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。**
- **ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。**

重要
ネットワークボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
- 一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
- 作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 静電気の影響を避けるために、ネットワークボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はネットワークボードを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。

メモ
ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

---

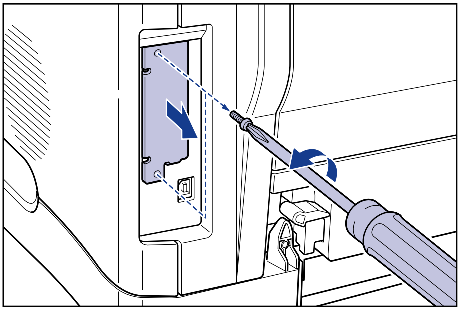
1 電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

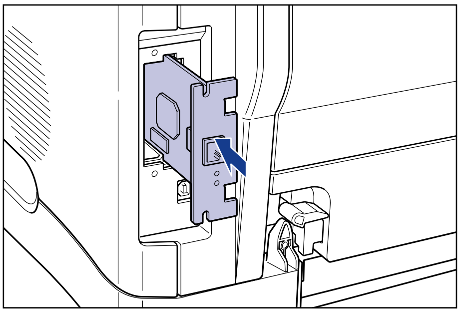
3 拡張ボードスロットの上下２本のネジを外して、保護板を取り外します。



重要　取り外した 2 本のネジは、ネットワークボードの取り付けに使用します。また、取り外した保護板は、ネットワークボードを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

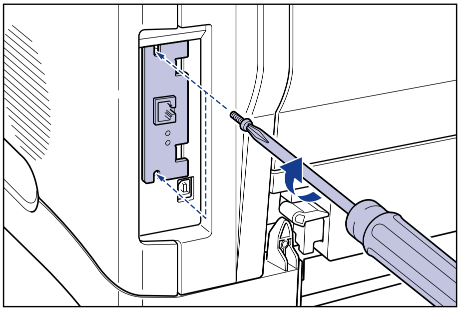
4 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。



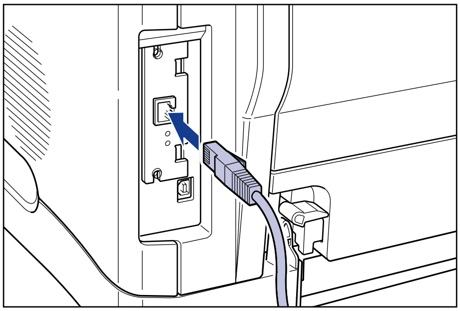
重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

5 ネットワークボードの上下を手順３で取り外した２本のネジで固定します。



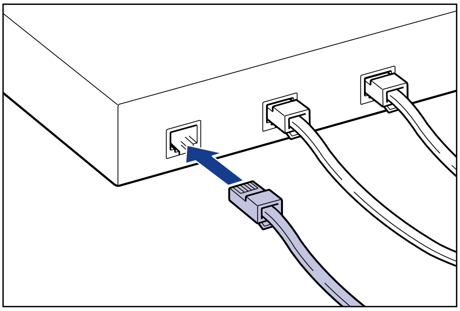
6 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。



メモ　本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

7 LAN ケーブルの反対側をハブに接続します。

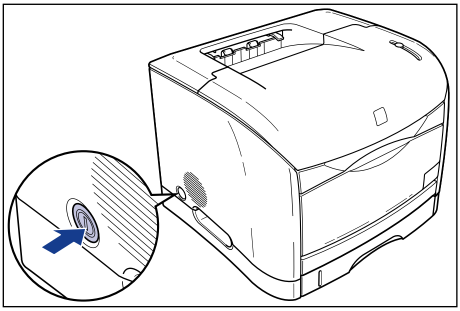


8 USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

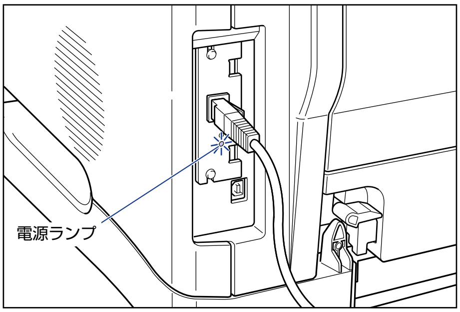
10 必要に応じて、USB ケーブルを接続します。

11 電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



重要 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されたときは、AXIS 1611 に付属の取扱説明書を参照してください。

12 ネットワークボードの電源ランプが点灯していることを確認します。



正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、ネットワークボードの取り付け状態を確認してください。

ネットワークボードを取り外す

ネットワークボードの取り外しは、次の手順で行います。ネットワークボードの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板をご用意ください。

注意
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

---

1 **電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし、USBケーブルを抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。**

取り外したネットワークボードは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 取り外した 2 本のネジは、保護板の取り付けに使用します。

4 **拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。**

5 **USB ケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。**

6 **アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

7 **USB ケーブルを接続します。**

困ったときには

7
CHAPTER

この章では、紙づまりが起こったときや印字品質に問題があるときなどの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

プリンタドライバが使用できない

- はい → **プリンタドライバが正常にインストールされていない**
  Windows→第7章「インストールのトラブル（Windowsのみ）」(P.7-40)
  Macintosh→オンラインマニュアル「第2章プリンタドライバのインストールと印刷方法」
- いいえ ↓

印刷できない

→ **エラーランプが点灯・点滅している**
→第7章「エラーランプについて」(P.7-3)

↓

電源コードが接続されていない
電源スイッチがオフになっている
→第1章「電源のオン、オフ」(P.1-12)

↓

コンピュータと接続されていない
→第1章「コンピュータと接続する」(P.1-14)

↓

プリンタドライバが正常にインストールされていない
Windows→第7章「インストールのトラブル（Windowsのみ）」(P.7-40)
Macintosh→オンラインマニュアル「第2章プリンタドライバのインストールと印刷方法」

↓

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にエラーが表示されている

→ **プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に表示されるメッセージにしたがって対処する**
Windows→第4章「プリンタステータスウィンドウについて」(P.4-69)
Macintosh→オンラインマニュアル「第4章　便利な印刷機能」

↓

印字品質が悪い

→ **トナー濃度が薄く設定されている**
Windows→第4章「印刷の品質を設定する」（P.4-55)
Macintosh→オンラインマニュアル「第3章　基本的な印刷機能」

↓

トナーの残量が少ない
→第5章「トナーカートリッジを交換する」(P.5-2)

↓

設置環境が悪い
→設置時にお読みください

↓

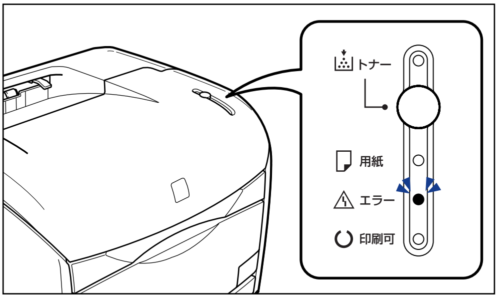
その他のトラブル
Windows→第7章「印字品質のトラブル」(P.7-29)
Macintosh→オンラインマニュアル「第6章　困ったときには」

↓

用紙のトラブル
→第7章「用紙のトラブル」(P.7-37)

エラーランプについて

プリンタに何らかのトラブルが起こると、エラーランプ（赤色）が点灯または点滅します。



エラーランプが点灯しているときは、サービスエラーが発生していますので、「サービスコール表示」（→P.7-27）を参照してください。

エラーランプが点滅しているときは、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）の表示にしたがって対処してください。

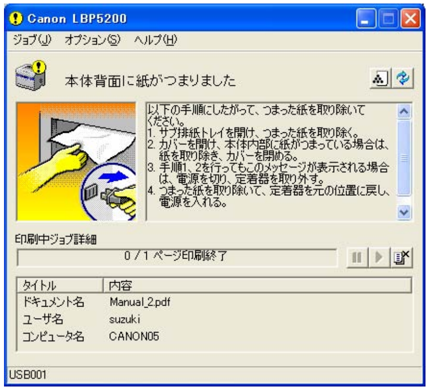


紙づまりが起こったときには

印刷中に紙づまりが起こると、Windowsをお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。Macintoshをお使いの場合は、プリントモニタにメッセージが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）



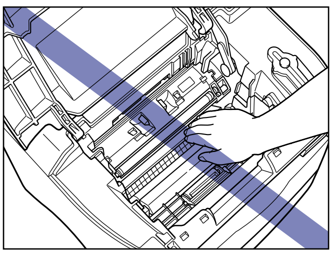


表示されたメッセージに応じて、つまっている用紙を取り除いてください。

メッセージ	紙づまりの除去手順
本体内部に紙がつまりました	「本体内部の紙づまり」（➞P.7-6）
本体背面に紙がつまりました	「本体背面の紙づまり」（➞P.7-13）

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

注意
- 上カバー内部の電気接点部やギヤには、絶対に触れないでください。感電やけがの原因になります。



- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要

- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、印刷中のデータが消去されてしまいます。本体背面の紙づまりの処理を行う際に、プリンタの電源をオフにする場合は、印刷中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 上カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、上カバーを一度開閉してください。

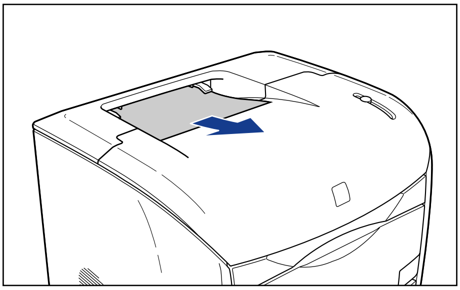
メモ

プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

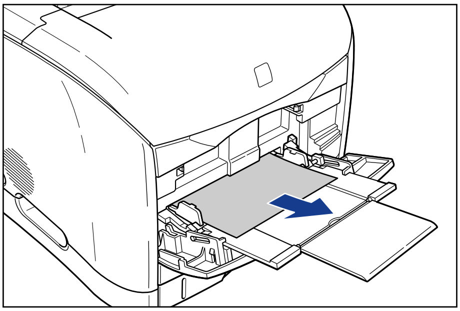
本体内部の紙づまり

プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタに「本体内部に紙がつまりました」と表示された場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 排紙トレイに紙がつまっている場合、つまっている用紙を取り除きます。

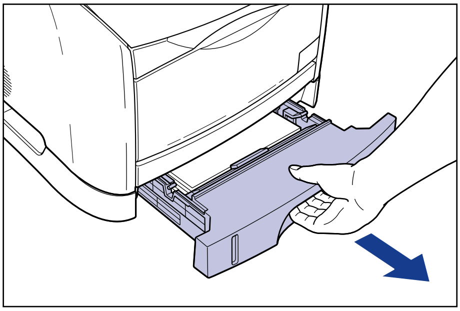


2 手差しトレイに紙がつまっている場合、つまっている用紙を取り除きます。

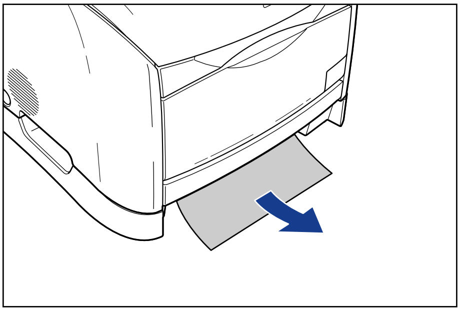


重要　つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

3 給紙カセットを引き出します。

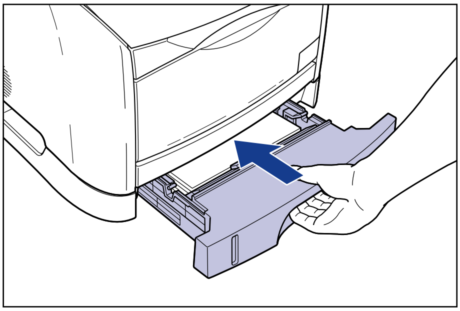


4 つまっている用紙を取り除きます。



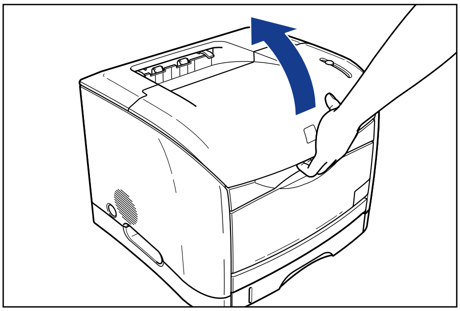
重要 つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

5 給紙カセットをプリンタにセットします。



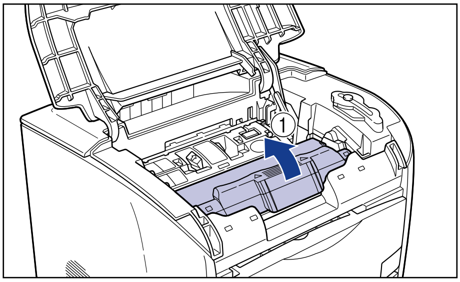
6 上カバーを開けます。

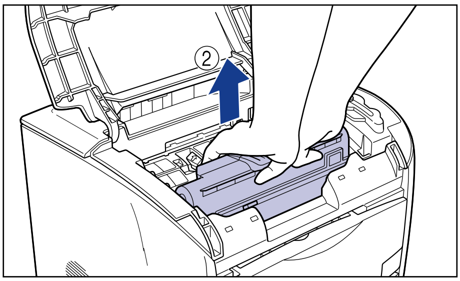
上カバーは前面の取っ手を持って、止まるまでいっぱいに開けます。



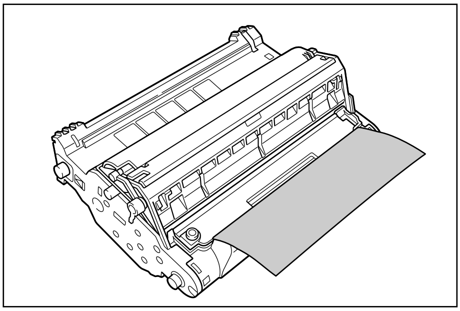
7 ドラムカートリッジをプリンタから取り出します。

ドラムカートリッジを矢印の方向に止まるまで押してから ①、まっすぐ上に取り出します ②。



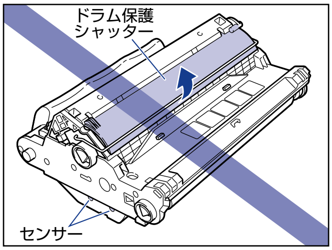


取り出したドラムカートリッジに用紙がつまっているときは、無理に引っぱらずに「ドラムカートリッジ内に用紙がつまっているときには」（→P.7-25）を参照してください。

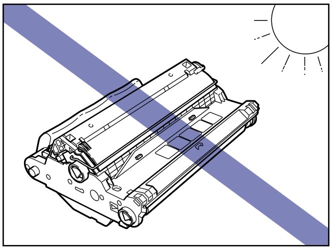


重要

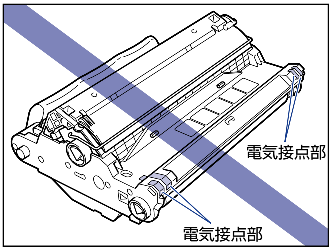
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、センサーなど指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



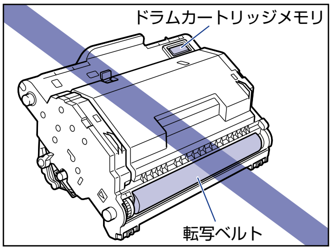
- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。



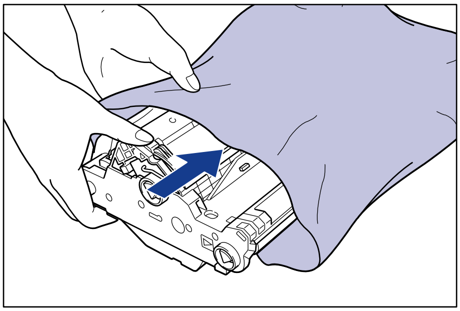
- 電気接点部は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



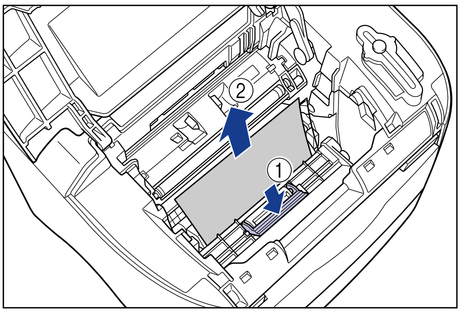
- 転写ベルトは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、ドラムカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



8 ドラムカートリッジを保護袋に入れます。



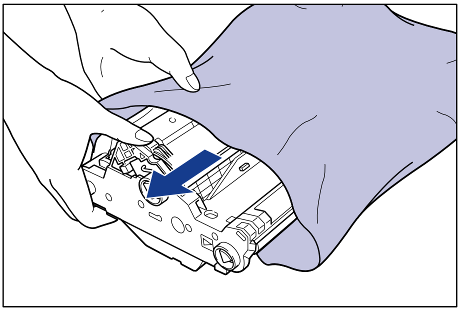
9 緑色のロック解除レバーを押しながら ①、つまっている用紙を取り除きます ②。



7

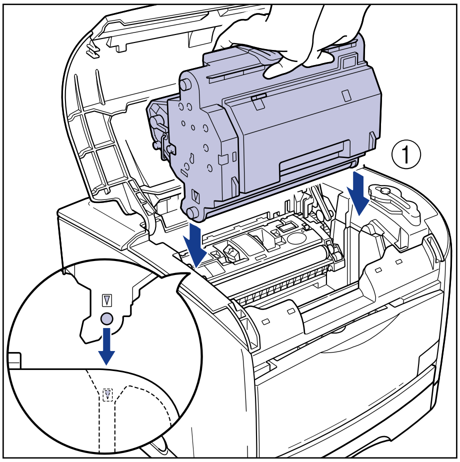
困ったときには

10 ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

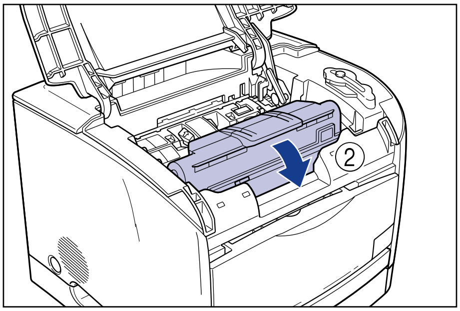


11 ドラムカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

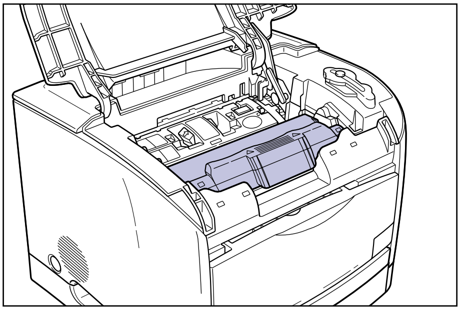
ドラムカートリッジの三角マークを本体の三角マークに合わせて差し込みます ①。



ドラムカートリッジを手前に倒してロックします ②。

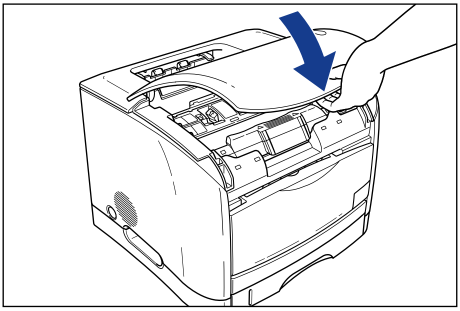


重要　ドラムカートリッジは図のような状態になるまで確実にロックしてください。



12 上カバーを閉めます。

上カバーは取っ手を最後まで持ってゆっくりと閉めます。

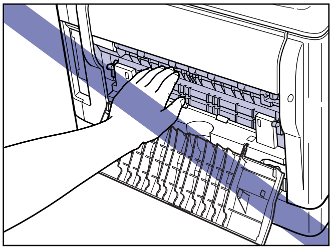
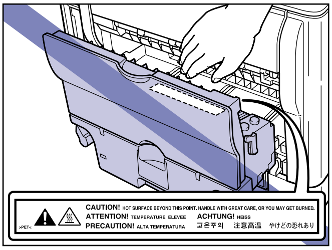


上カバーを閉めてもプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に本体内部で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

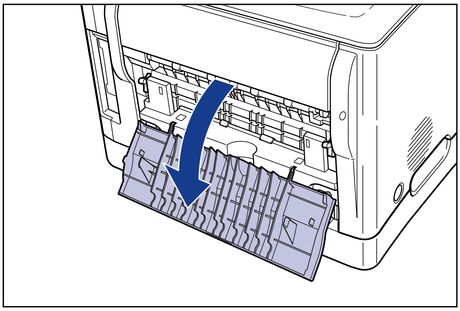
本体背面の紙づまり

プリンタステータスウィンドウ／プリントモニタに「本体背面に紙がつまりました」と表示された場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

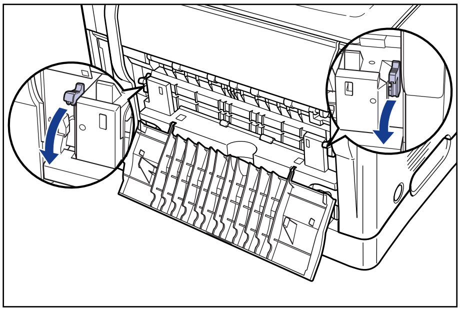
⚠注意　プリンタ使用中は定着器が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になります。

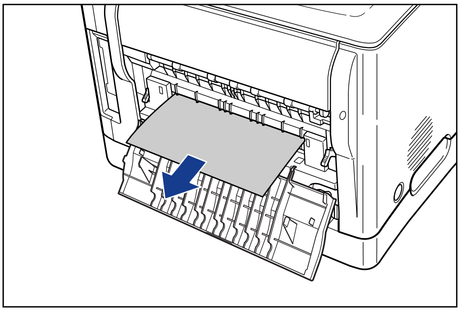
1 **サブ排紙トレイを開けます。**



2 **緑色の定着器の加圧解除レバーを左右ともに手前に倒し、定着器の圧力を解除します。**

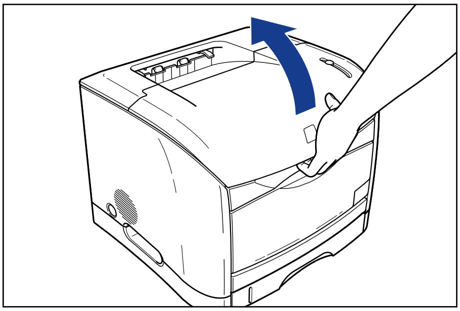


3 つまっている用紙を取り除きます。



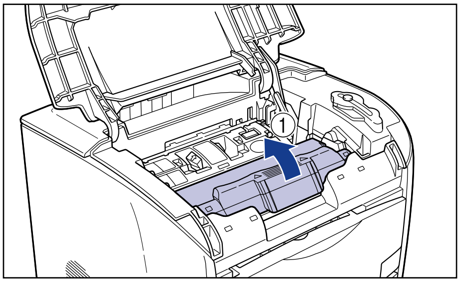
4 上カバーを開けます。

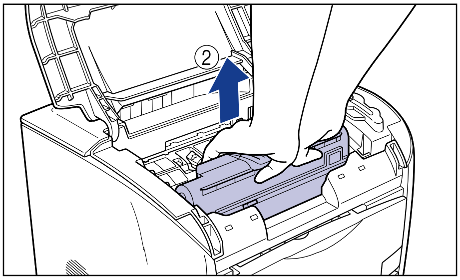
上カバーは前面の取っ手を持って、止まるまでいっぱいに開けます。



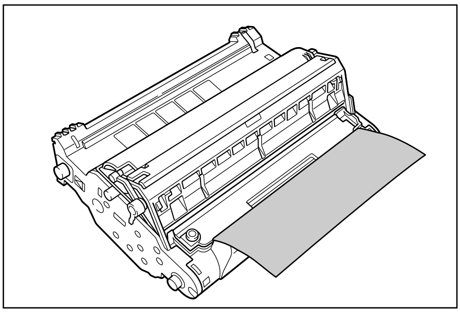
5 ドラムカートリッジをプリンタから取り出します。

ドラムカートリッジを矢印の方向に止まるまで押してから ①、まっすぐ上に取り出します ②。



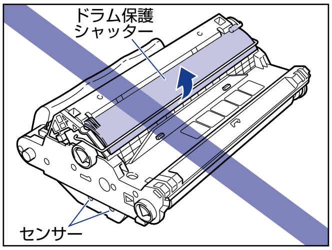


取り出したドラムカートリッジに用紙がつまっているときは、無理に引っぱらずに「ドラムカートリッジ内に用紙がつまっているときには」（➞P.7-25）を参照してください。

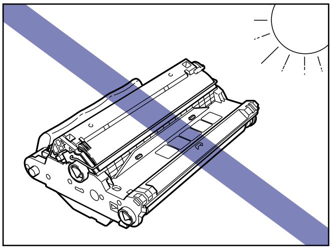


重要

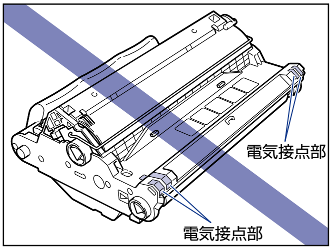
- 内部のドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、センサーなど指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



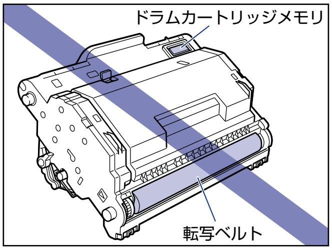
- ドラムカートリッジは、絶対に直射日光や強い光に当てないでください。



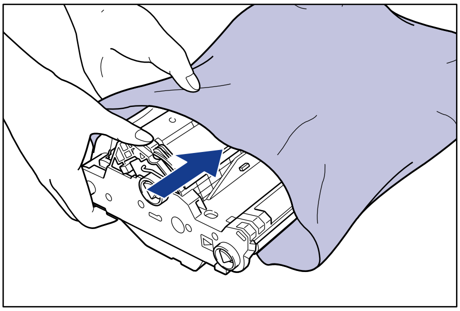
- 電気接点部は、持ったり触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。



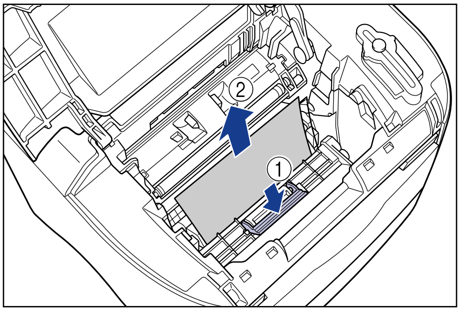
- 転写ベルトは、持ったり触れたりしないでください。印字品質が低下します。また、ドラムカートリッジメモリに衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。



6 ドラムカートリッジを保護袋に入れます。

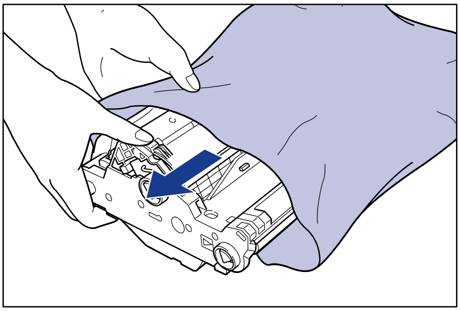


7 緑色のロックを解除レバーを押しながら ①、つまっている用紙を取り除きます ②。



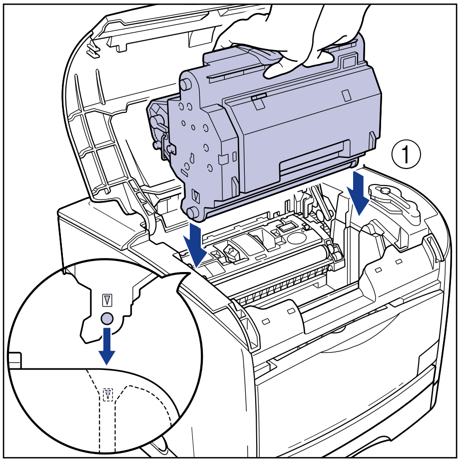
重要　上記までの操作で用紙がつまっていなかった場合、プリンタ背面の定着器内につまっている可能性があります。この場合は、手順 8 〜 10 を行わずに、手順 11（→P.7-19）以降にしたがって用紙を取り除いてください。また、その際、プリンタの上カバーは絶対に閉めないでください。復旧困難な紙づまりの原因になることがあります。定着器内の紙づまりを取り除いたら、手順 8 〜 10 を行ってドラムカートリッジをセットしてください。

8 ドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

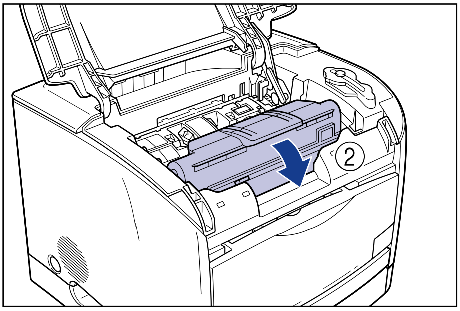


9 ドラムカートリッジを両手で持ち、本体に取り付けます。

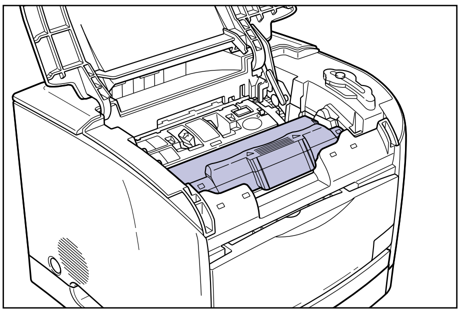
ドラムカートリッジの三角マークを本体の三角マークに合わせて差し込みます ①。



ドラムカートリッジを手前に倒してロックします ②。

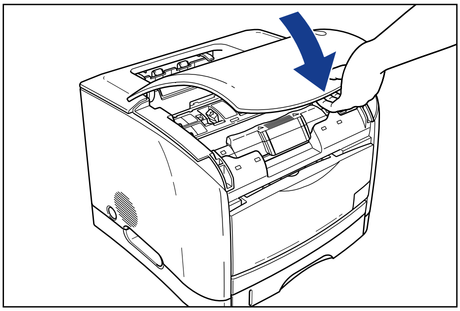


重要　ドラムカートリッジは図のような状態になるまで確実にロックしてください。



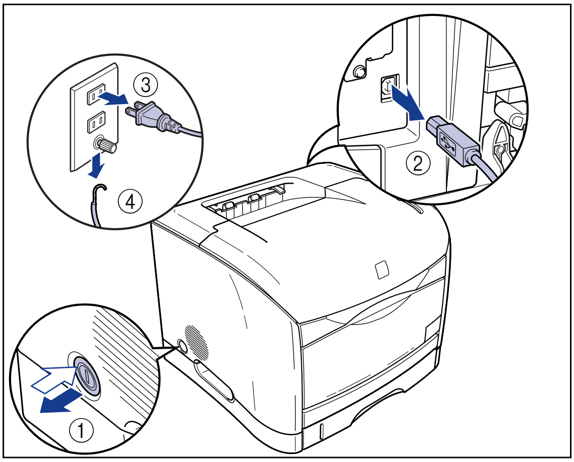
10 上カバーを閉めます。

上カバーは取っ手を最後まで持ってゆっくりと閉めます。

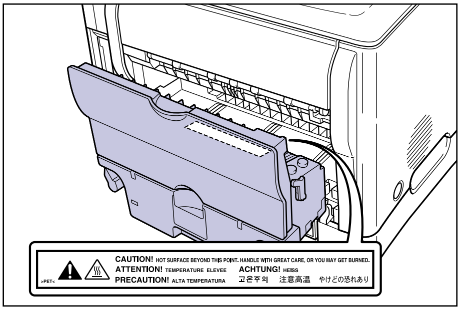


上カバーを閉めても紙づまりのメッセージが消えないときは、次の手順に進んでください。

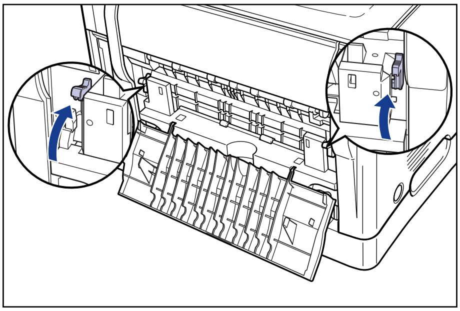
11 紙づまりのメッセージが消えない場合は、電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



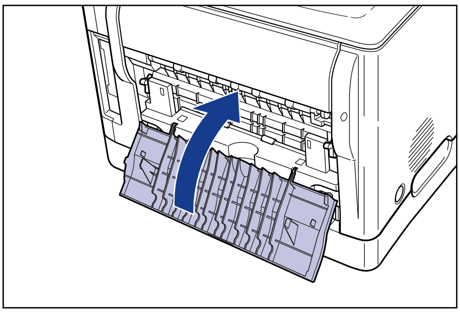
⚠注意 プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。以降の手順を行うときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。



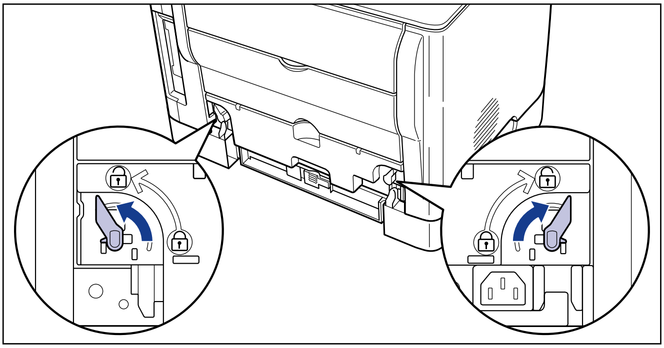
12 緑色の定着器の加圧解除レバーを元の位置に戻します。



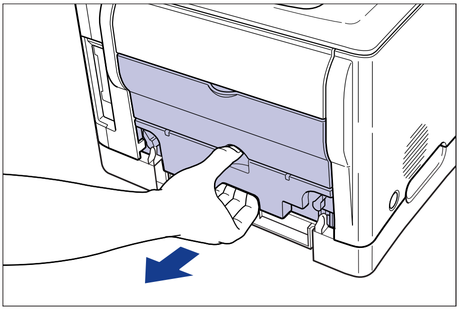
13 サブ排紙トレイを閉めます。



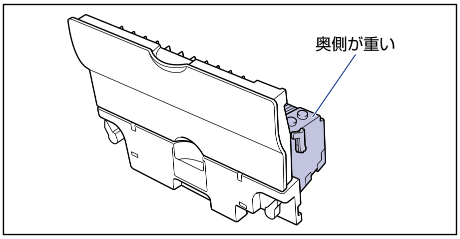
14 本体背面にある2つのロック解除レバーを矢印の方向に回し、ロックを解除します。



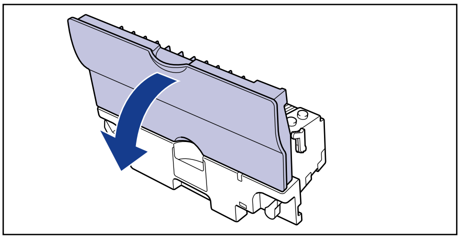
15 定着器の取っ手を持ち、取り外します。



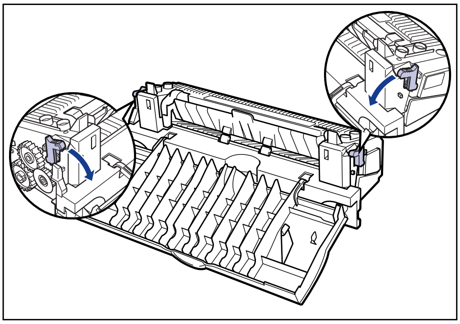
⚠注意 定着器は約 1.7kg あり、奥側が重くなっています。定着器を持つときは、取っ手をしっかりと持ってください。足などの上に落とすとけがの原因になることがあります。



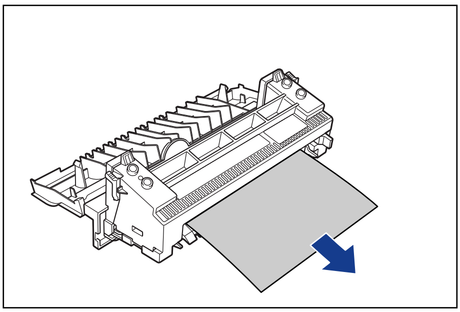
16 サブ排紙トレイを開けます。



17 緑色の定着器の加圧解除レバーを左右ともに手前に倒し、定着器の圧力を解除します。

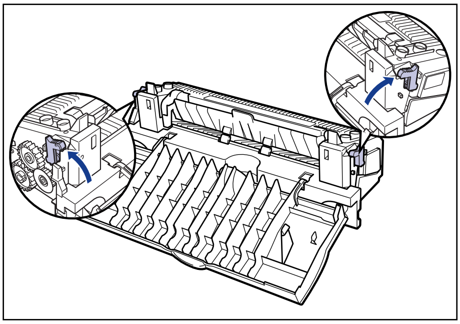


18 つまっている用紙を取り除きます。

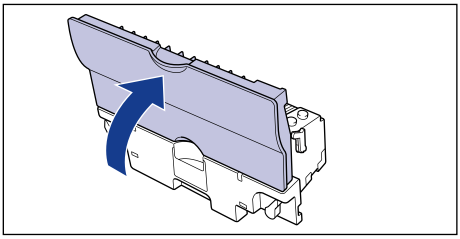


重要 用紙が定着ローラに完全に巻き付いていて用紙が取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

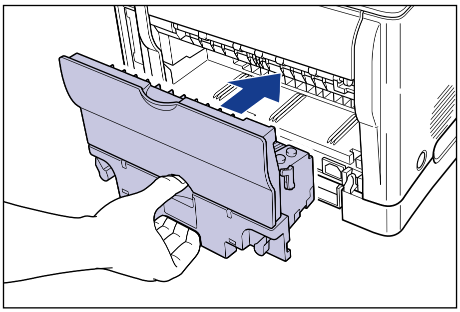
19 緑色の定着器の加圧解除レバーを元の位置に戻します。



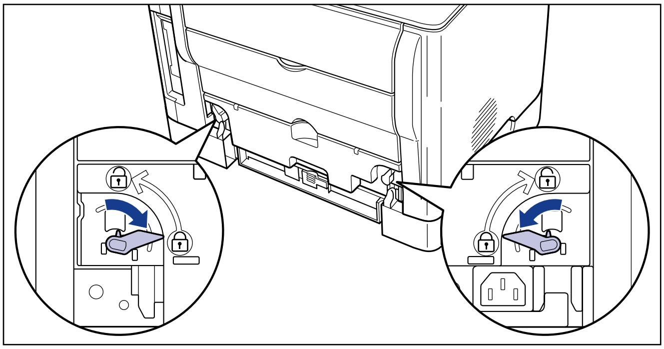
20 サブ排紙トレイを閉めます。



21 定着器の取っ手を持ち、しっかりと奥まで取り付けます。



22 2つのロック解除レバーを矢印の方向に回し、ロックします。

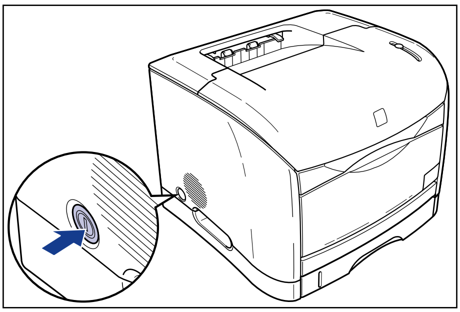


23 USBケーブル以外のインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

24 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

25 USBケーブルを接続します。

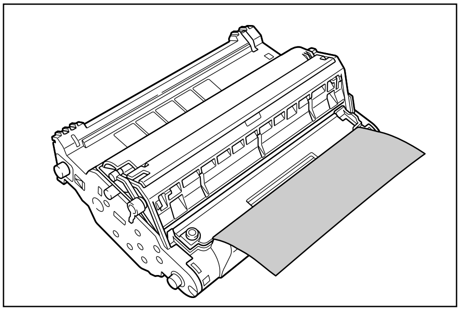
26 電源スイッチを押して、プリンタの電源をオンにします。



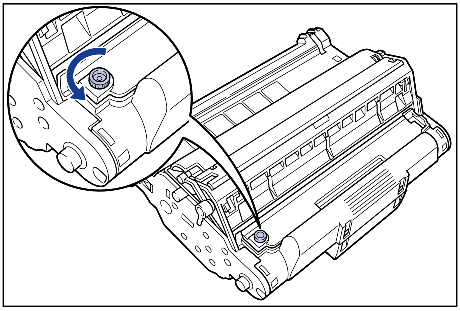
電源をオンにしてもプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に本体背面で紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。

ドラムカートリッジ内に用紙がつまっているときには

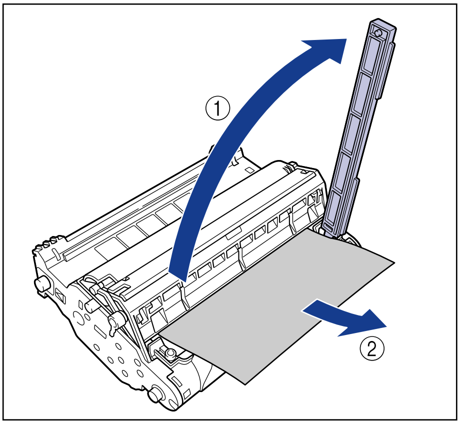
図のようにドラムカートリッジに用紙がつまっているときは、次の手順で用紙を取り除いてください。



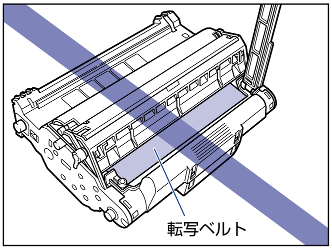
1 ドラムカートリッジのツマミを矢印の方向に回します。



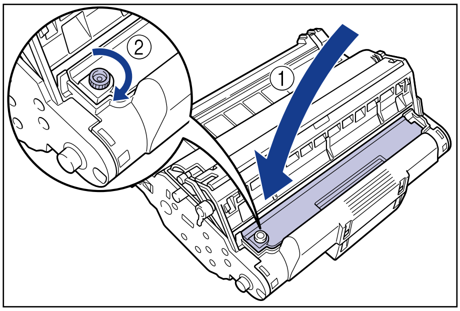
2 カバーを上げ ①、つまっている用紙を取り除きます ②。



重要　転写ベルトには触れないでください。印字品質が低下します。



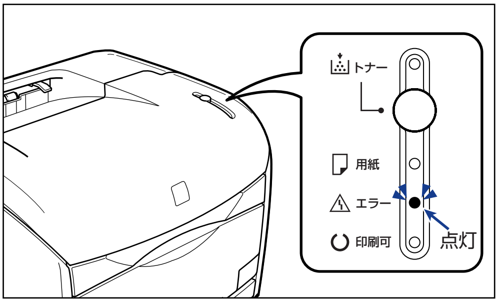
3 カバーを元の位置に戻し ①、ツマミを矢印の方向に回します ②。

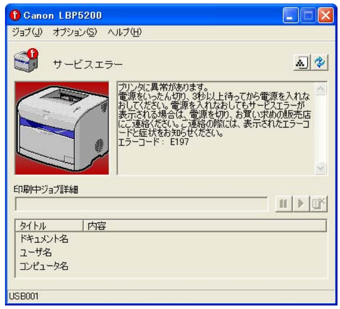


引き続き、紙づまりの処理を行いますので、次の手順に進んでください。
「本体内部の紙づまり」を処理する場合 →P.7-10 の手順 8
「本体背面の紙づまり」を処理する場合 →P.7-17 の手順 6

サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、プリンタのエラーランプ（赤色）が点灯し、Windows をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のようなサービスコールが表示されます。Macintosh をお使いの場合は、プリントモニタにサービスコールが表示されます。

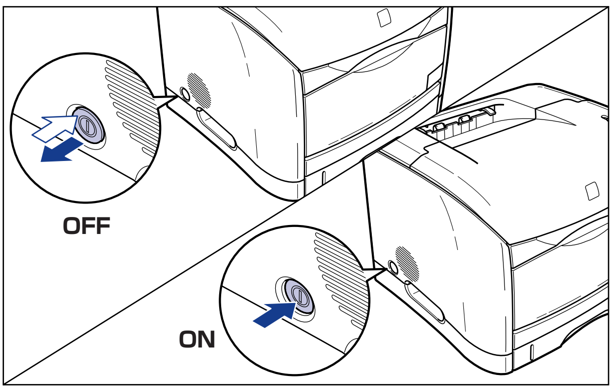




サービスコールが表示されたら、次の手順で電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

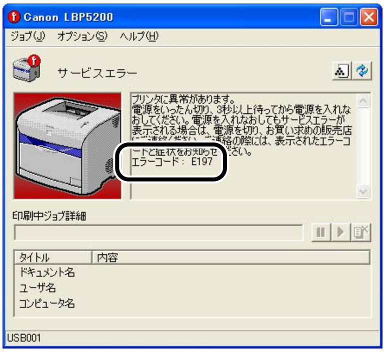
メモ　プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 **電源をいったんオフにし、3秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。**

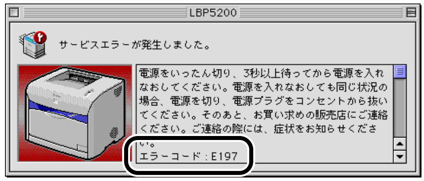


メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に表示されているエラーコードを書きとめます。

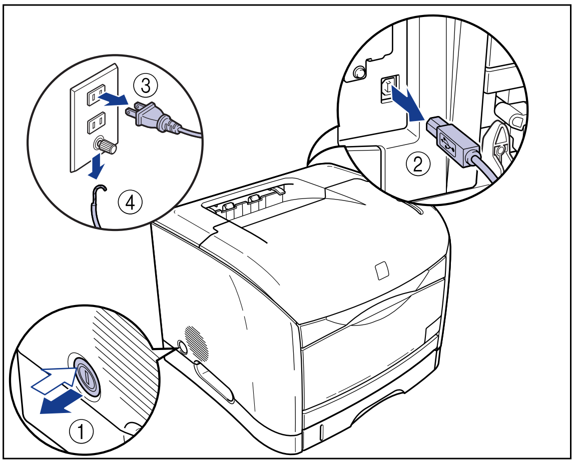


（Windows）



（Macintosh）

3 電源スイッチを押してプリンタの電源をオフにし ①、USB ケーブルを抜き ②、電源プラグを電源コンセントから抜いて ③、アース線を専用のアース線端子から取り外します ④。



4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

印字品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」（➞P.7-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ

- Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。
- ここに記載されているプリンタドライバの操作方法は、Windowsを例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

白いすじが入る

原　因　ドラムカートリッジ内のドラムが劣化、あるいは損傷している

処　置　新しいドラムカートリッジに交換してください。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-15）

部分的に白く抜ける

原因 1　用紙が適切でない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 3　ドラムカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　新しいドラムカートリッジに交換してください。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-15）

印刷しない部分に残像が現れる

原因 1 印刷する用紙が適当でない

処　置 用紙や OHP フィルムを取り替えて印刷してください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 2 直前に印刷したページの濃度が濃い

処　置 プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 3］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

原因 3 薄手の用紙を使用している

処置 1 プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

処置 2 プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 6］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

重要 上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、定着器の寿命が考えられます。定着器の交換をおすすめします。定着器の寿命は A4 用紙で約 50,000 ページです。

印字が全体的に薄い

原因 1 ［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置 プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2 ［トナー節約モードを使う］が有効になっている

処　置 プリンタドライバで［トナー節約モードを使う］のチェックマークを消します。
［トナー節約モードを使う］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

印字が全体的に黒ずむ

原因 1　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

原因 2　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置　プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因 1　用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　トナーカートリッジの寿命が近づいてきている

処　置　［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスを表示して、寿命に近づいている色のトナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　定着ローラが汚れている

処　置　定着ローラを清掃してください。（➞ 定着ローラを清掃する：P.5-31）

トナーが縦方向（用紙の送り方向）ににじむ

原因 1　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

重要　上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、定着器の寿命が考えられます。定着器の交換をおすすめします。定着器の寿命は A4 用紙で約 50,000 ページです。

文字のまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原因 1　用紙が適切でない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　低湿度環境でプリンタを使用している

処　置　プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 2］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

黒色の画像中に斑点や縞状の画像不良が発生する

原　因　高湿度環境でプリンタを使用している

処　置　プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 4］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

2 色以上のトナーを重ねた画像がかすれる

原因 1　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　高湿度環境でプリンタを使用している

処　置　プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 8］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

グラデーションのかかった図形を印刷した場合に、グラデーションにすじが入る

原　因　図形の「すじ」のグレイの色の部分に、グレー補償が効いている

処　置　プリンタドライバで［グレー補償］の設定を［使わない］に設定します。
［グレー補償］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。（➞ 手差しトレイから印刷する：P.2-25、給紙カセットから印刷する：P.2-15）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処　置　用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印刷できませんので、データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってください。

印字位置がずれてしまう

原因 1　［とじ代］が設定されている

処　置　プリンタドライバで［とじ代］の設定を「0」にします。
［とじ代］の設定は、［仕上げ］ページの［とじ代］ボタンをクリックして、［とじ代指定］ダイアログボックスで行います。

原因 2　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1 シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置 トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

原因 2 用紙が重なって送られた

処　置 給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（➞手差しトレイから印刷する：P.2-25、給紙カセットから印刷する：P.2-15）

用紙が真っ黒で何も印刷されない

原　因 ドラムカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置 ドラムカートリッジを新品に交換してください。（➞ ドラムカートリッジを交換する：P.5-15）

定着性が悪い

原因 1 用紙が適切でない

処　置 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2 表面の粗い厚紙を使用した

処置 1 プリンタドライバで［用紙タイプ］を［厚紙］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

処置 2 プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 5］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

重要 上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、定着器の寿命が考えられます。定着器の交換をおすすめします。定着器の寿命は A4 用紙で約 50,000 ページです。

カラーの線や文字がかすれる

原　因　細い線や文字を使用している

処　置　プリンタドライバで［色付きの線や文字を優先して印刷する］にチェックマークを付けます。
［色付きの線や文字を優先して印刷する］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処　置　プリンタドライバで［マッチング方法］の設定を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

色ズレにより正しい色（指定した色）で印刷されない、カラーの文字がぼけて見える

原因 1　4 色のカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはカートリッジが劣化している

処置 1　キャリブレーションを行ってください。（➞ プリンタのキャリブレーションを行う：P.5-28）

処置 2　［消耗品／カウンタ情報］ダイアログボックスを表示して、寿命に近づいている色のトナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.5-2）

原因 2　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 3　電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った

処　置　印刷可ランプが点灯していることを確認してから、データを送ってください。

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色で印刷されない、または消えてしまう

原因 1　色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある

処置 1　アプリケーションソフトで色を調整して、印刷しなおします。

処置 2　アプリケーションソフトでパターンを変更して、印刷しなおします。

原因 2　網点のパターンにより、色が違って見える

処　置　濃い色に変更して、印刷しなおします。

網かけパターンが正しい色（指定した色）で印刷されない

原　因　印刷データの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

処置 1　アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、印刷しなおします。

処置 2　プリンタドライバで［カラー中間調］の設定を［階調］や［色調］に変更します。［カラー中間調］の設定は、［印刷品質］ページの［印刷品質］で［ユーザ設定］を選択し、［設定］ボタンをクリックして［ユーザ設定］ダイアログボックスで行います。

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因　画面（RGB）とプリンタ（YMCK）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある

処置 1　プリンタドライバで［マッチング方法］の設定を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［ガンマ補正］を調節します。
［ガンマ補正］の設定は、［印刷品質］ページの［色の設定を行う］にチェックマークを付け、［色設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

用紙のトラブル

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

用紙にしわがよる

原因 1　給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置　給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.2-15）

原因 2　手差しトレイに用紙を斜めにセットした

処　置　手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。（➞ 手差しトレイから印刷する：P.2-25）

原因 3　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

重要　上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、定着器の寿命が考えられます。定着器の交換をおすすめします。定着器の寿命は A4 用紙で約 50,000 ページです。

用紙がカールする

原因 1　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 3　プリンタ上面の排紙トレイに排紙した

処　置　カールしやすい用紙を使用する場合は、排紙先をサブ排紙トレイに切り替えてください。（➞ 排紙先の選択：P.2-13）

原因４　薄手の用紙を使用している

処置１　プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

処置２　プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 6］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

印刷した OHP フィルムに白い粉がつく

原　因　OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した

処　置　OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

ラベル用紙の印字がかすれる

原　因　定着モードがあっていない

処置１　プリンタドライバで［用紙タイプ］を［厚紙］に設定します。［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

処置２　プリンタドライバで［特殊印字処理］を［特殊設定 7］に設定してください。問題が解決した場合は、［特殊印字処理］を［しない］に戻してください。
［特殊印字処理］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスで行います。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認してください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

1 **プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。**

重要　プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されないときは、CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてください。(→CAPT ソフトウェアの削除：P.3-76)

2 **テストページを印刷します。**

● Windows 98/Me の場合

❑ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［印字テスト］をクリックします。

● Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

❑ ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

■ **テストページが適切に印刷される場合**

CAPT ソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

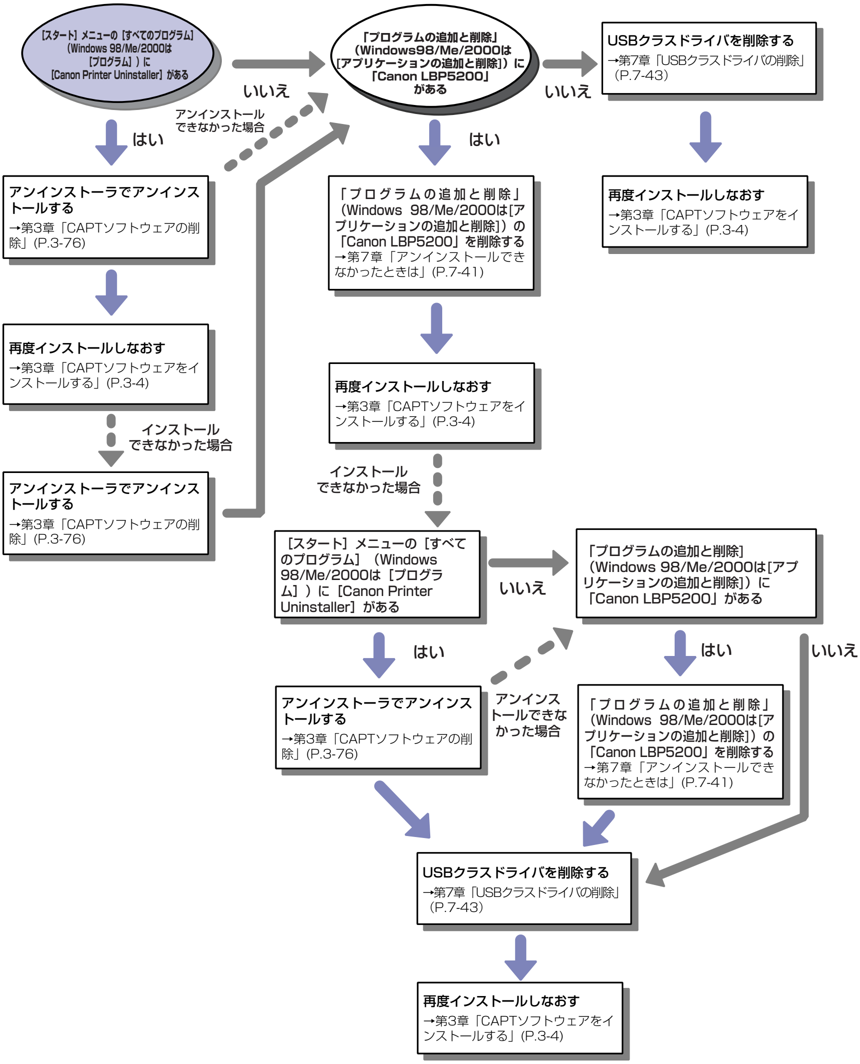
■ **テストページが印刷できない場合**

CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてから、テストページを印刷してください。(→CAPT ソフトウェアの削除：P.3-76)

インストールのトラブル（Windows のみ）

「USB クラスドライバ」と「LBP5200 プリンタドライバ」のインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。



アンインストールできなかったときは

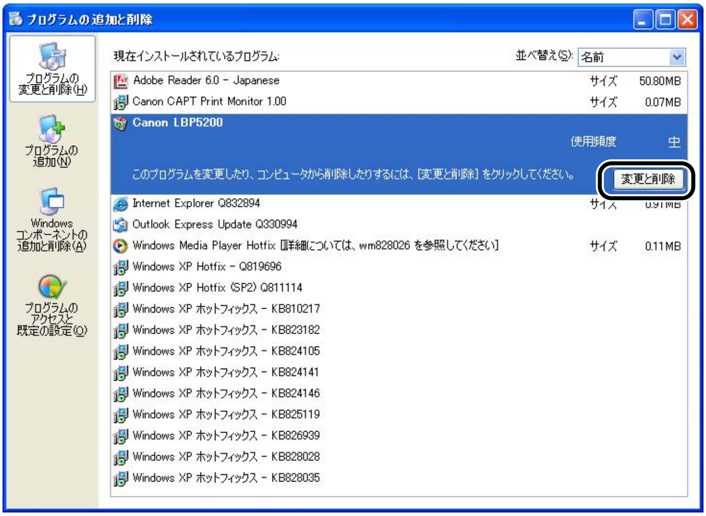
インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、以下の手順にしたがって［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）で CAPT ソフトウェアを削除します。

1 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択します。

2 **［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon LBP5200］を選択し、［変更と削除］をクリックします。**

Windows 2000 の場合は［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon LBP5200］を選択し、［変更と削除］をクリックします。
Windows 98/Me の場合は［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の［Canon LBP5200］を選択し、［追加と削除］をクリックします。



メモ　［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP5200］がない場合は「USB クラスドライバの削除」（→P.7-43）を行って再度インストールしてください。

3 本プリンタを選択し、[削除]をクリックします。

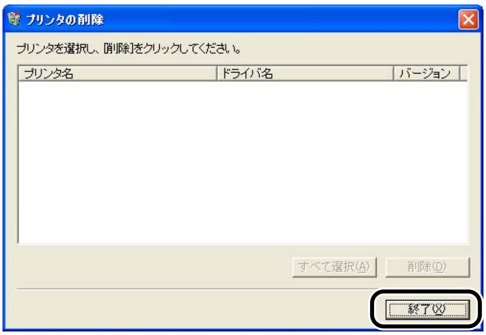


4 [はい]をクリックします。



アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 [終了]をクリックします。



[プリンタの削除]ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

USB クラスドライバの削除

USB クラスドライバの削除は、一度アンインストールを行っても、正しくインストールできなかった場合やアンインストールできなかった場合に行います。

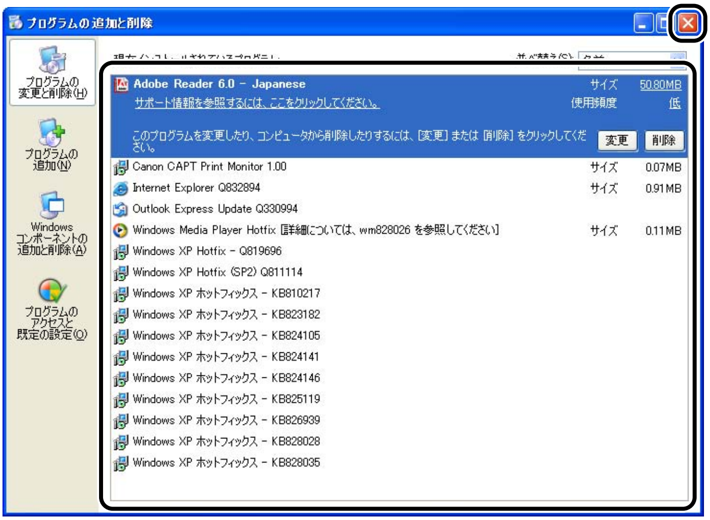
1 **USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［プログラムの追加と削除］を選択します。

3 **［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP5200］がないことを確認し、［×］をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP5200］がないことを確認し、［×］をクリックします。

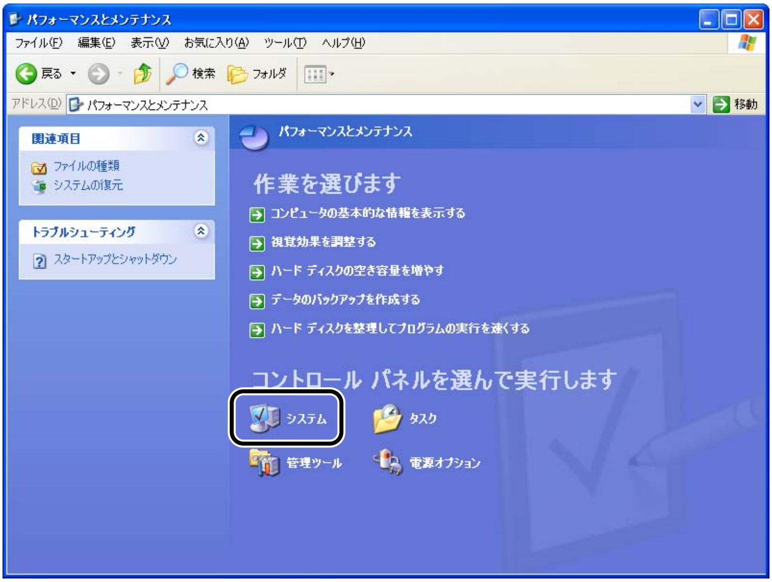


メモ

［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP5200］がある場合は、「アンインストールできなかったときは」（➞P.7-41）を参照して［プログラムの追加と削除］（Windows 98/Me/2000 は［アプリケーションの追加と削除］）ダイアログボックス内の［Canon LBP5200］を削除してください。

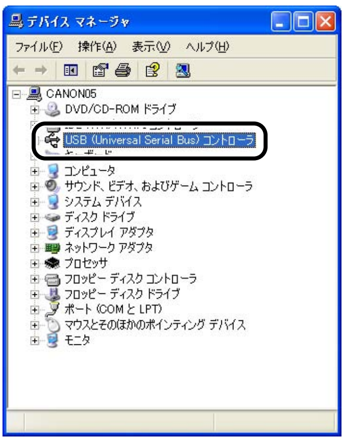
4 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリックします。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。



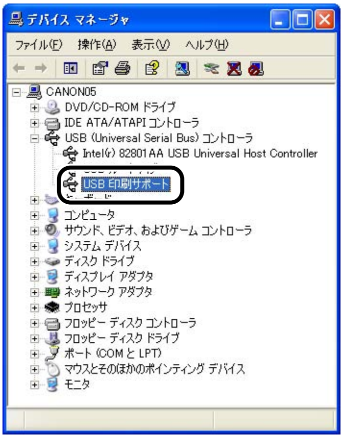
5 ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。

Windows 98/Me の場合は［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させて［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。



6 [USB 印刷サポート]を選択して、[操作]メニューの[削除]を選択します。

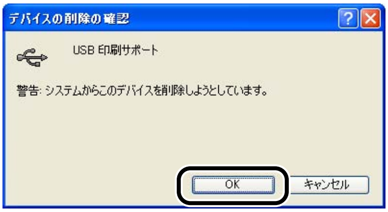
Windows 98 の場合は[Canon LBP5200]を、Windows Me の場合は[Canon CAPT USB Device]を選択して、[削除]をクリックします。



重要

- USB クラスドライバが[その他のデバイス]の下にある場合も正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、[Canon LBP5200]、[Canon CAPT USB Device]、または[不明なデバイス]のいずれかを選択して削除してください。
- 他のデバイスや device driver などの他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は[USB 印刷サポート](Windows 2000/XP/Server 2003)、[Canon CAPT USB Device](Windows Me)、[Canon LBP5200](Windows 98)は表示されません。

7 [デバイス削除の確認]ダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。



8 [×]をクリックします。

[デバイスマネージャ]が閉じます。

7
困ったときには

9 USB ケーブルをコンピュータから外し、Windows を再起動します。

再起動が終了したらもう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。
（➞CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4）

ローカルインストール時のトラブル

CD-ROM からプリンタドライバをインストールするとき、USB ケーブルを接続しても自動認識しない

原因 1 プリンタドライバをインストールする前に、すでに USB ケーブルが接続されていて、プリンタの電源がオンになっている

処　置 プリンタの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外し、再度 USB ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにします。

原因 2 プリンタの電源がオフになっている

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 USB ケーブルが正しく接続されていない

処　置 プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 4 USB ケーブルが合っていない

処　置 本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。本プリンタのUSBインタフェース環境は、USB 2.0 High-Speed（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスで［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］* が選択できない（Windows 2000/XP/Server 2003）

原　因 Administrators 権限がないユーザがインストールを行っている

処　置 CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストールには Administrators 権限が必要です。権限のある方がインストールを行ってください。

* Windows 2000 の場合、［ローカルプリンタ］となります。

プリンタの共有機能を使用したときのトラブル

接続するプリントサーバが見つからない

原因 1 プリントサーバが起動されていない

処　置 プリントサーバを起動してください。

原因 2 プリンタが共有設定されていない

処　置 ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。

原因 3 プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない

処　置 ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

その他のトラブル

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

LBP5200 が正常に動作しない

原因 1　LBP5200 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置　通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2　CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある

処　置　CAPT　ソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。（→CAPT ソフトウェアの削除：P.3-76、CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4）

CD-ROM Setup が自動的に表示されない（Windows のみ）

原因 1　CD-ROM Setup の［CD-ROM 挿入時に自動表示する］が選択されていない

処　置　［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、［開く］を選択して CD-ROM Setup を手動で表示させます。［CD-ROM 挿入時に自動表示する］を選択してください。

原因 2　［挿入の自動通知］が選択されていない（Windows 98/Me のみ）

処　置　［デバイスマネージャー］から CD-ROM ドライブのプロパティを表示し、［設定］ページの［挿入の自動通知］を選択してください。

CD-ROM Setup 起動時に「CD-ROM 上のファイルが見つかりません。」とエラーが表示される（Windows のみ）

原　因　プログラムがハードディスクから読み込まれている

処　置　お使いのコンピュータの検索機能を利用して［CNAC3MNU.EXE］を検索して、ハードディスクから CNAC3MNU.EXE ファイルを削除し、付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」から CD-ROM Setup を起動してください。

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる（Windows のみ）

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.8-14）

7

困ったときには

付録

8
CHAPTER

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

プリンタのおもな仕様

ハードウェアの仕様

形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度 普通紙（64 ～ 105g/m^2）		A4 連続プリント時 モノクロ 19 ページ／分 カラー　 4 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間		0 秒（電源オン時は 120 秒以下）
ファーストプリント時間		モノクロ 約 17.6 秒 カラー　 約 26.8 秒 * プリンタがデータを受信し始めてからの時間です。
用紙サイズ	手差しトレイ	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号、ユーザ定義用紙（幅 76.2 ～ 215.9mm、高さ 127.0 ～ 355.6mm） 最大積載枚数　約 125 枚（64g/m^2）
	カセット 1	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚（64g/m^2）
排紙方法		フェースダウン／フェースアップ
排紙積載枚数		排紙トレイ（フェースダウン）　約 125 枚（64g/m^2） サブ排紙トレイ（フェースアップ）　1 枚
稼働音 （ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		音響パワーレベル 　スタンバイ時：暗騒音 　プリント時：6.8B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） 　プリント時：54dB［A］以下
使用環境 （プリンタ本体のみ）		動作環境温度　10 ～ 30 ℃ 湿度　10 ～ 80%RH（結露しないこと）
保管環境 （プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0 ～ 35 ℃ 湿度　35 ～ 85%RH（結露しないこと）

ホストインタフェース		USB インタフェース * Windows 98/Me　USB Full-Speed（USB1.1 相当） * Windows 2000/XP/Server 2003　USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当） * Mac OS 9、X（10.3.2 以前）：USB Full-Speed（USB1.1 相当） * Mac OS X(10.3.3 以降)：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
ユーザインタフェース		LED ランプ 4 個 操作キー 1 個
拡張ボードスロット		1
電源		AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）
消費電力 （20 ℃時）		動作時平均　約 408W*1 スタンバイ時平均　約 10W*1 最大　945W*2 以下 *1　本体に標準同梱の 250 枚ペーパーフィーダを装着した値です。 *2　この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。
消耗品	トナーカートリッジ	・キヤノン純正品 Toner Cartridge 301 Black（ブラック） プリント可能ページ数　約 5,000 枚 * * A4 またはレターサイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
		・キヤノン純正品 Toner Cartridge 301 Yellow（イエロー） ・キヤノン純正品 Toner Cartridge 301 Magenta（マゼンタ） ・キヤノン純正品 Toner Cartridge 301 Cyan（シアン） プリント可能ページ数　約 4,000 枚 * * A4 またはレターサイズ、5%印字比率、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合
	ドラムカートリッジ	・キヤノン純正品 Drum Cartridge 301 プリント可能ページ数 カラー　約 5,000 枚 *1 モノクロ 約 20,000 枚 *2 *1　A4 またはレターサイズの場合 *2　キヤノン評価基準において A4 サイズの普通紙を連続印刷した場合の枚数です。間欠印刷、用紙タイプ、用紙サイズによっては、半分程度の枚数になることがあります。（間欠印刷とは一定の間隔をおいた印刷のことをさします。） 目安は次のとおりです。 4 枚間欠の場合：約 19,000 枚 2 枚間欠の場合：約 13,500 枚
	定着器	キヤノン純正品 Fuser KIT UM-96 プリント可能ページ数　約 50,000 枚 * * A4 用紙の場合

質量	プリンタ本体 および同梱品	プリンタ本体 .... 約 17kg* トナーカートリッジ（1 個）.......... 約 0.8kg ドラムカートリッジ.......... 約 2.5kg 定着器.......... 約 1.7kg 250 枚ペーパーフィーダ.......... 約 2.5kg * トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、ペーパーフィーダは除く
	消耗品	トナーカートリッジ（キヤノン純正品）（1 個）.......... 約 0.8kg*1 ドラムカートリッジ（キヤノン純正品）.......... 約 2.5kg*2 定着器（キヤノン純正品）.......... 約 1.7kg*3 *1 トナーカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Toner Cartridge 301 Black Toner Cartridge 301 Yellow Toner Cartridge 301 Magenta Toner Cartridge 301 Cyan *2 ドラムカートリッジは以下のキヤノン純正品の場合 Drum Cartridge 301 *3 定着器は以下のキヤノン純正品の場合 Fuser KIT UM-96

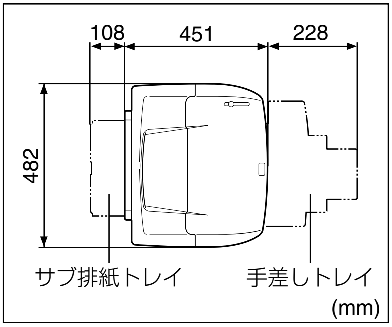
ソフトウェアの仕様

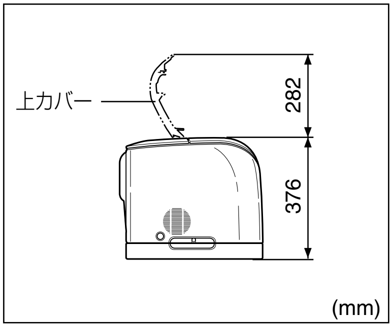
プリンティングソフトウェア	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域	上下左右 5.0mm の範囲には印字できません。（封筒は上下左右 10mm）

8
付録

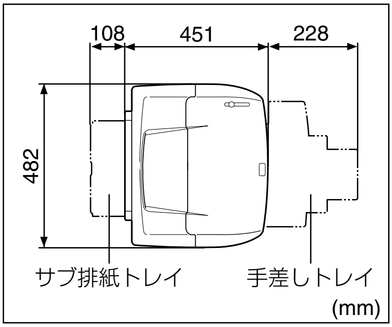
各部の寸法

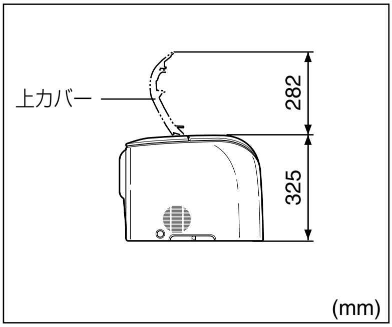
■ 標準仕様



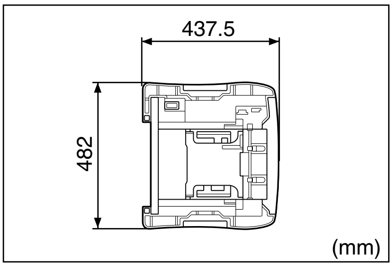


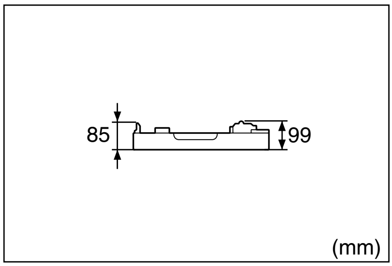
■ プリンタ本体





■ 250枚ペーパーフィーダ





Macintosh をお使いのお客様へ

Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについては、「オンラインマニュアル」を参照してください。

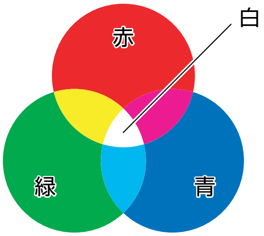
「オンラインマニュアル」は付属の CD-ROM 内の［プリンタドライバ MacOS9］フォルダまたは［プリンタドライバ MacOSX］フォルダに収められています。Macintosh をお使いのお客様は、「オンラインマニュアル」をよくお読みのうえ、プリンタの機能を十分に活用してください。

カラープリントのしくみ

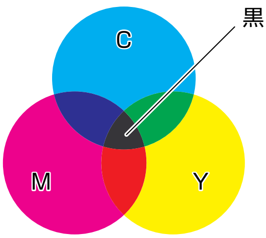
ここでは、色についての基礎知識や、本プリンタのカラープリントのしかたなどを説明します。

光の３原色と色の３原色

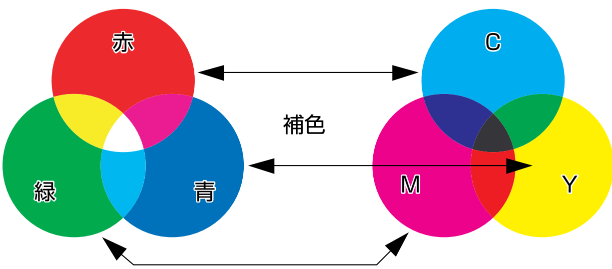
パソコンのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の３原色で表現されます。光の３原色は、赤と緑と青の３色をすべて混合すると白になります（加法混色）。



カラープリンタは、光の３原色ではなく、絵の具などと同じ色の３原色で色を表現します。色の３原色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）で、３色をすべて混合すると黒になります（減法混色）。

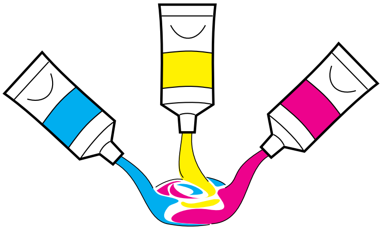


そして、光の３原色と色の３原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。

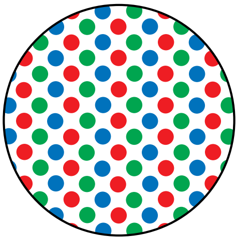


色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

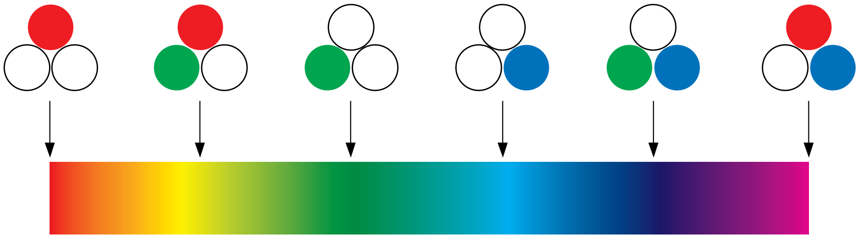


絵の具



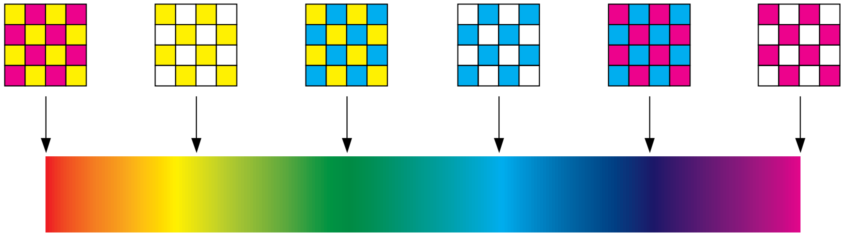
ディスプレイやプリンタ

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の 3 つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。



カラーバー

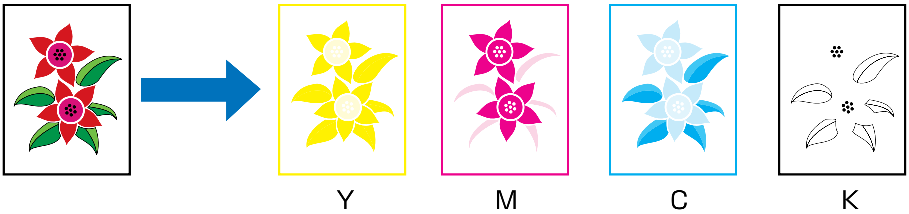
プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）に K（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。



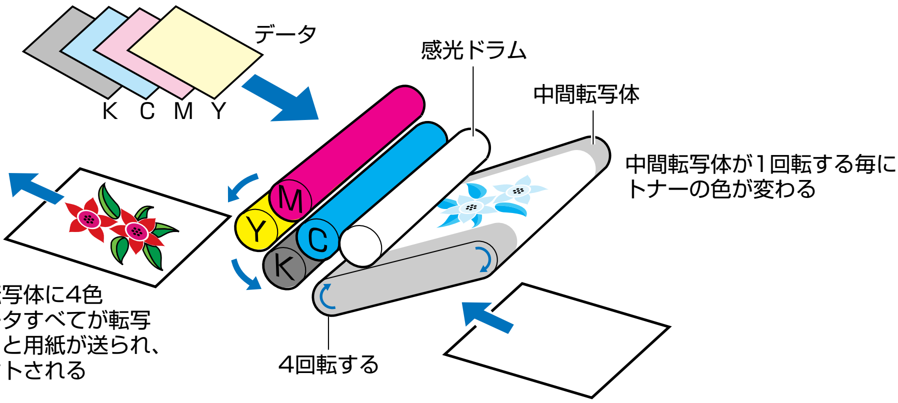
カラーバー

カラープリントのしくみ

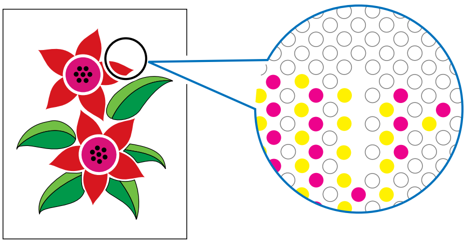
カラープリントは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、K の４色に分解されます。



そして、これらのデータを 1 色ずつトナーを変えながら感光ドラムに現像され、中間転写体に転写されます。



４色すべてのデータが用紙に転写されると、定着器を通り、排紙されます。



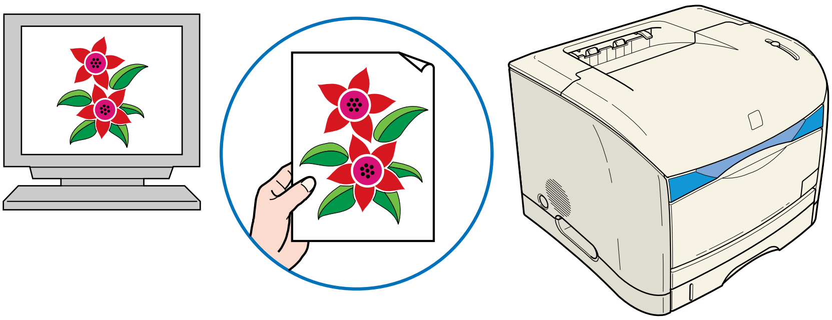
より美しく快適にカラープリントするために

カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を 100% 活用しましょう。

■ ディスプレイの色補正をする

ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。

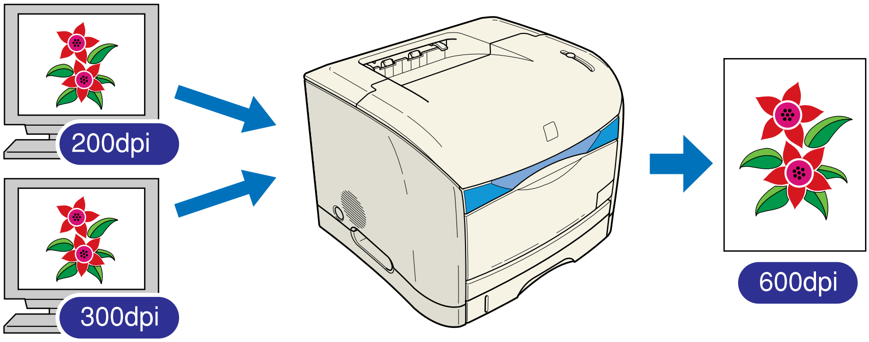
アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。



■ 解像度を合わせる

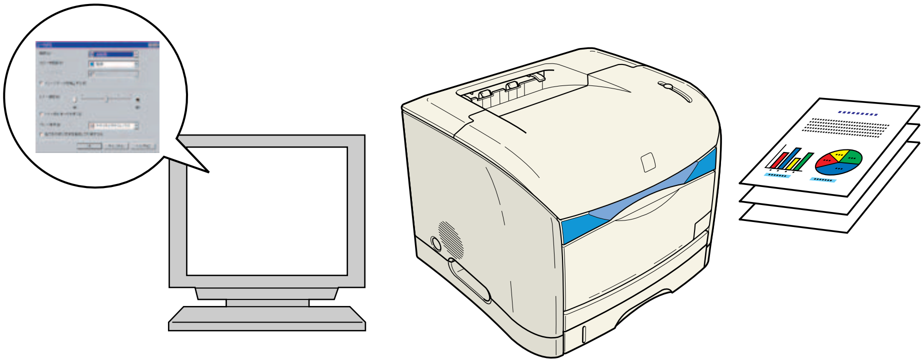
プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで 600dpi あれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。

画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300 または 200dpi 解像度にしておきます。



■ プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、標準階調でプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、高階調でプリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。



メモ　階調の設定方法については、「印刷の品質を設定する」（➞P.4-55）を参照してください。

NetSpot Device Installer について（Windows のみ）

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。NetSpot Device Installer は、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができます。

NetSpot Device Installer の詳細については、ネットワークボード（AXIS 1611）に付属の取扱説明書を参照してください。

メモ　付属の CD-ROM によっては、NetSpot Device Installer が同梱されていない場合があります。付属の CD-ROM に NetSpot Device Installer が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ（http://canon.jp）からダウンロードしてください。

8
付録

Windows ファイアウォール機能について

Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能があります。

そのため、Windows ファイアウォール機能を持っている OS をプリントサーバとして使用する場合は、プリントサーバとクライアント間で通信を行なえるように設定する必要があります。

ここでは「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用してのクライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックの解除、ブロック方法を説明します。

重要 「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」をハードディスクにコピーして使用する場合は、付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」に収められている［WF_UTIL］フォルダ内のすべてのファイル（CNAC3FW.EXE、CAPTRGFW.DLL、CNAC3FW.INI）をコピーしてください。

クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする

1 **付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

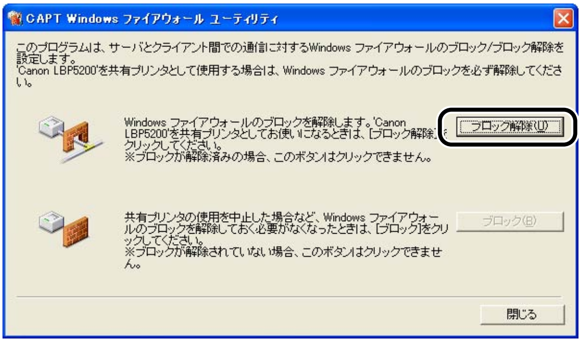
2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

3 **［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAC3FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAC3FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックしても、起動することができます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 ［ブロック解除］をクリックします。

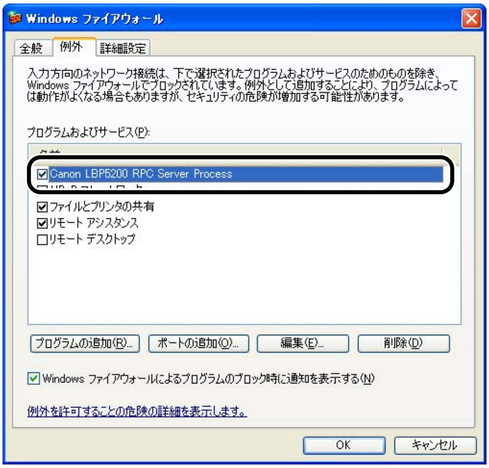


メモ　既にクライアント側との通信に対するブロックの解除が行なわれている場合は、［ブロック解除］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。



メモ　Windows ファイアウォール機能のブロック解除が正しく行なわれたことを確認するには、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［Canon LBP5200 RPC Server Process］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。



8 付録

クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する

1 **付属の CD-ROM「LBP5200 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

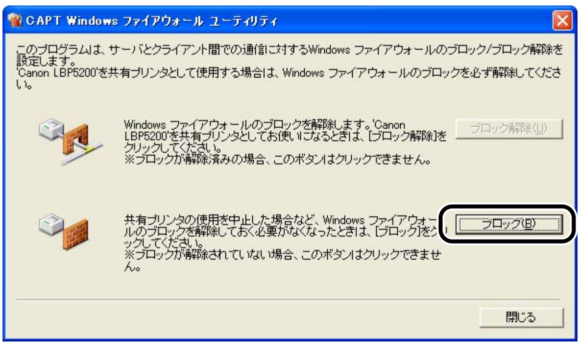
2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

3 **［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAC3FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要　［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥WF_UTIL¥CNAC3FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックしても、起動することができます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 **［ブロック］をクリックします。**



メモ　既に Windows ファイアウォールでクライアント側と通信の遮断（ブロック）が行なわれている場合は、［ブロック］はクリックできません。

8
付録

5 ［OK］をクリックします。



Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断（ブロック）されました。

FontGalleryについて

FontGalleryには、TrueTypeフォントとして和文20書体、欧文100書体が収められています。また、Windowsをお使いの場合は、かな31書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintoshをお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた43書体が収められています。

ご使用になる前に「FontGallery製品使用許諾契約書」（➞P.8-21）を必ずお読みください。

必要なシステム環境

FontGalleryおよびFontComposerを使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要
- かな書体およびFontComposerは、Windowsをお使いの場合にご利用いただけます。Macintoshをお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGalleryは、1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途FontGalleryライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

■ Windows版を使用する場合

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition日本語版
- コンピュータ
  - ・上記OSが動作するコンピュータ

■ Macintosh版を使用する場合

- OS
  - ・Mac OS 9.1以降、OS X（10.1.5～10.4.2）
- コンピュータ
  - ・上記OSが動作するコンピュータ

コード表について

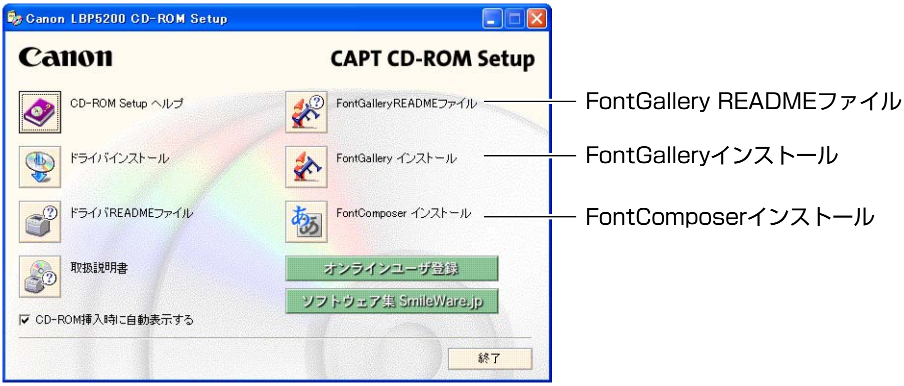
2 種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV 形式のコード表をお使いの場合は、CSV 形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

- Windows 用
  - ･リッチテキスト形式（*.rtf）
  - ･CSV 形式（*.csv）
- Macintosh 用
  - ･シンプルテキスト形式
  - ･CSV 形式

インストール方法について

FontGallery をインストールする前に、必ず README ファイルおよびインストールガイドをお読みください。README ファイルおよびインストールガイドは、付属の CD-ROM の CD-ROM Setup から見ることができます。

重要　Macintosh上では、付属のCD-ROMのCD-ROM Setupは表示されません。FontGallery をインストールする場合は、付属の　CD-ROM　内の［FGallery］フォルダにある［FontGallery 取扱説明］をお読みください。



8
付録

■ FontGallery README ファイル

FontGallery をお使いになるときに、必要な情報が記載されています。インストールする前に必ずお読みください。インストール手順などについては、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- Windows 用
  - ･FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF 形式）
  - ･FontComposer 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF 形式）
- Macintosh 用
  - ･FontGallery 取扱説明書：［FGallery］フォルダ内の FontGallery 取扱説明（シンプルテキスト形式）

メモ　FontGallery 取扱説明書、FontComposer 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontGallery インストール

このボタンをクリックすると、FontGallery をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

メモ
- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- お使いのシステムが漢字Talk7リリース7.1の場合、和文フォントをインストールする際、システムフォルダに「Asian Font Arbitrator」もインストールしてください。ただし、すでにシステムフォルダに「Asian Font Arbitrator」がインストールされている場合は、「Asian Font Arbitrator」を重ねてインストールしないでください。インストールすると、フォント情報に悪影響を及ぼす可能性があります。お使いのシステムが漢字 Talk7.5 以降の場合は、「Asian Font Arbitrator」は必要ありませんので、インストールしないでください。詳しくは、CD-ROM に付属の取扱説明書を参照してください。

■ FontComposer インストール

このボタンをクリックすると、FontComposer をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

重要　FontComposer を使用するには、約 10 〜 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本 FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置 1 台のみに 1 コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

(1) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンマーケティングジャパンといいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンに請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

組み合わせ	見本
平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体 ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体 ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

メモ

- Windowsをお使いの場合は、FontComposerを使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

書体	見本
American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
* Cataneo Light Swash	ABCDEF a de 12345
* Cataneo Regular Swash	ABCDEF a de 12345
* Cataneo Bold Swash	**ABCDEF a de 12345**
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	± °′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

* 「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Dutch 801 Extra Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Goudy Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Goudy Oldstyle Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Poster Bodoni Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Ribbon 131 Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Ribbon 131 Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Roundhand Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Black	***ABCDEF abcdef 12345***
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Serifa Black	**ABCDEF abcdef 12345**

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold Condensed Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ *αβχδεφ* 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Zapf Humanist 601 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Zapf Humanist 601 Ultra	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	***ABCDEF abcdef 12345***

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

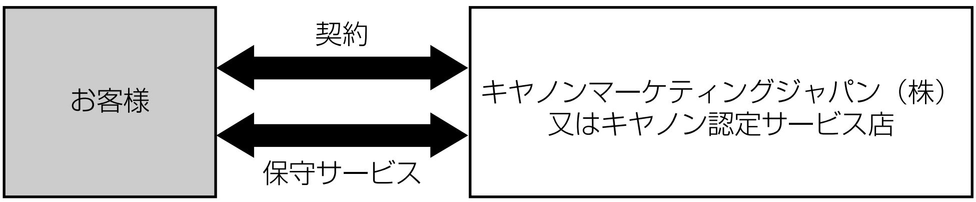
保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。



キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ **簡単登録**

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ **電話一本**

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ **固定料金**

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

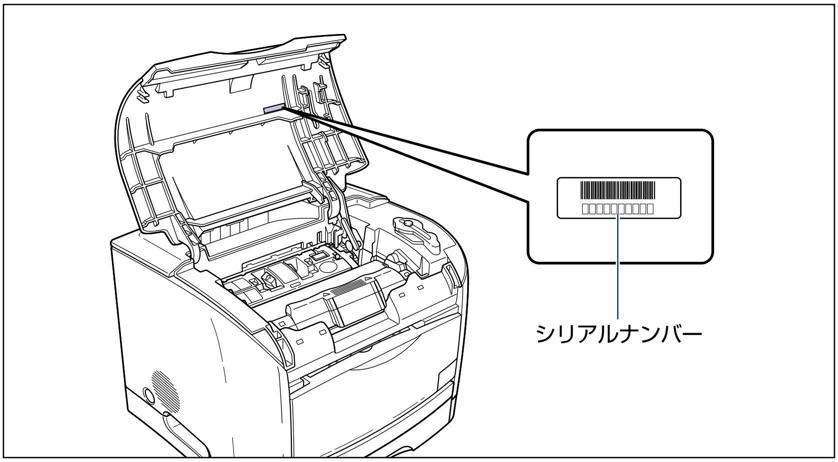
- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

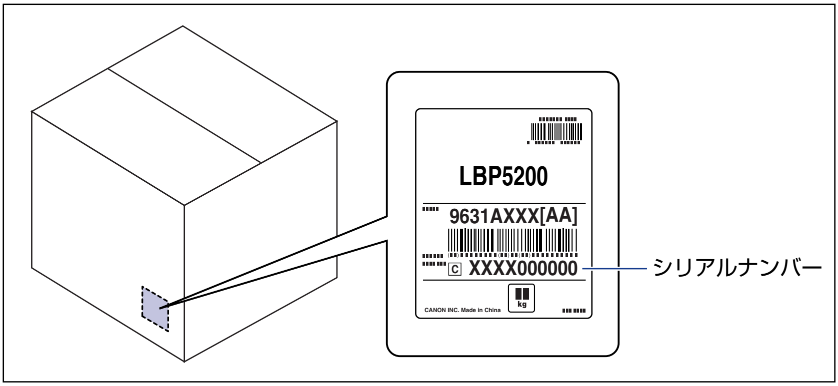
シリアルナンバー（Serial No.）は、4 文字のアルファベットと 6 桁の数字で構成されています。

重要　ラベルはサービスや保守の際に、サービスマンがシリアルナンバーを確認するために必要です。絶対にはがさないでください。

■ フロントカバー内部



■ 梱包箱（側面）



8
付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。
ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　　LBP5200
　　　本体機番　　LLEA000001
　　　（保証書および本体背面、梱包箱外側に記載されています。）

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

R-IJ-1238AC